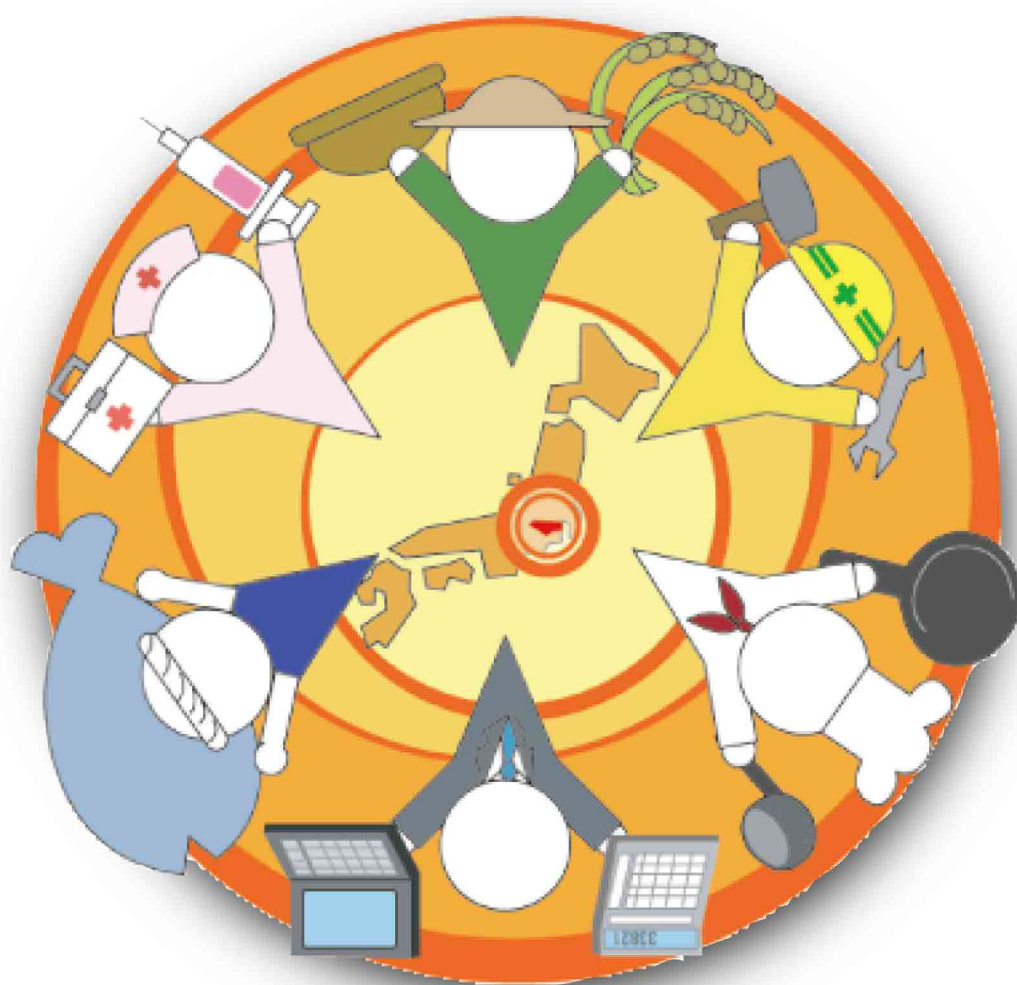


東京の産業教育

特集 新しい時代の産業を担う人材育成
—各校・各学科の取組—



平成 30 年度 第 56 号
東京都産業教育振興会

日本ウェルネススポーツ大学との併修システムで、
大学学位の取得も可能です



**スポーツに関わる各分野の
スペシャリストを目指します。**



日本ウェルネススポーツ専門学校

〒179-0071 東京都練馬区旭町 3-23-22

TEL:03-3938-2372 FAX:03-3938-9435

<https://www.nihonwellness-sport.jp/>

学校法人タイケン学園グループ

大学教育

日本ウェルネススポーツ大学

専門学校教育

日本ウェルネススポーツ専門学校広島校

日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校

日本ウェルネス歯科衛生専門学校

日本ウェルネス保育専門学校

日本ペット&アニマル専門学校

日本グローバル専門学校

日本グローバルビジネス専門学校 (4月開校)

保育園・こども教育

ウェルネス保育園

志木、成増、茅ヶ崎、佐倉、ユウカリが丘、矢本
東松山、レイクタウン越ヶ谷、茅ヶ崎

タイケンインターナショナルこども園 成増

タイケンスポーツ学校

高等学校教育

日本ウェルネス高等学校

東京、神田、松本、信州筑北、名古屋
今治、広島、北九州、沖縄

日本ウェルネス筑北高等学校

WELLNESS

東京の産業教育 第 56 号 目次

巻頭のことば 「これからの産業教育への期待に応えるために」

東京都教育庁教育監 増 淵 達 夫・・・ 1

特集 特色ある産業教育を目指して―各校・各学科の取組―

- 1 職業に関する教科における学習指導要領の改訂について―産業教育における資質・能力の育成― 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事 山 本 進 一・・・ 2
- 2 時代が求める、魅力ある農業教育の創造と人材育成
東京都立農産高等学校長 並 川 直 人・・・ 4
- 3 社会に貢献できる人材の育成～資格取得とものづくりを踏まえて～
東京都立荒川工業高等学校長 山 本 誠・・・ 6
- 4 地域活性化の取組み―模擬株式会社レガロ工房の挑戦―
東京都立荒川商業高等学校長 長 江 誠・・・ 8
- 5 新しい時代に向けた産業教育を目指して～地域での実習や連携を活かし
スペシャリストを育成する～ 東京都立大島高等学校長 皆 川 貢治郎・・・ 10
- 6 総合学科高校におけるキャリア教育の実践
東京都立東久留米総合高等学校 キャリアデザイン部 主任教諭 長谷川 裕・・・ 12
- 7 昭和第一学園高等学校工業科の現状と新たな取り組み
昭和第一学園高等学校副校長兼工業部長 江 川 夏 樹・・・ 14
- 8 生徒の進路実現を図る専門教育の取り組み
安部学院高等学校長 安 部 元 彦・・・ 16
- 9 通信制教育の可能性を探る取り組み
NHK 学園高等学校統括校長 賀 澤 恵 二・・・ 18
- 10 中学校技術・家庭科 技術分野の取組～自ら判断し最適化を目指す生徒の育成～
立川市立立川第七中学校長 大神田 佳 明・・・ 20
- 11 温室育ちの心優しき高価な雑草たち
鷗友学園女子中学高等学校長 大 井 正 智・・・ 22
- 12 学生満足度を最優先に、より質の高い高等教育機関へと邁進してまいります！
町田・デザイン専門学校理事長兼校長 井 上 博 行・・・ 24
- 13 産業技術高専の情報セキュリティ技術者育成プログラムについて
東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス教務主事 柴 崎 年 彦・・・ 26

東京の産業界

- 1 一こつこつと苦労を積み重ねて―社会の役に立つ組織、人様の役に立つ人づくり
ベストワールド株式会社代表取締役社長 八 尾 修 生・・・ 24
- 2 創業 73 年 地域の皆様に最も身近な広告を提供し続けてきました
日本広告株式会社取締役社長 浦 野 孝・・・ 26

情報スクエア

- 1 平成30年度「教員海外産業教育事情研修」報告
ースイス職業教育制度の現場視察調査研究ー
東京都立六郷工科高等学校長 佐々木 哲・・・32
- 2 平成29年度「キャリア教育優良学校」文部科学大臣表彰を受賞して
東京都立農芸高等学校長 小堀 紀明・・・34
- 3 第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会東京大会報告
東京都立忍岡高等学校長 岡島 まどか・・・36
- 4 第16回創造ものづくりフェア in TOKYO
東京都中学校技術・家庭科研究会事業部長 台東区立駒形中学校長 瀬川 眞也・・・38
- 5 第28回全国産業教育フェア山口大会「明治150年プロジェクト」さんフェア山口2018
事務局・・・40
- 6 第60回全国産業教育振興大会（山口大会）
事務局・・・41

報 告

- 1 平成30年度 総会・講演会報告 43
- 2 平成30年度 講演会・講演要旨
「情熱！古紙リサイクル授業一紙はゴミじゃない！」
明和製紙原料株式会社代表取締役会長 小六 信和氏・・・44
- 3 平成30年度 東京都産業教育振興会教育功労者表彰 56
- 4 平成30年度 東京都産業教育振興会後援事業 57
- 4 平成30年度 産学懇談会（第1回） 58
- 5 平成30年度 産学懇談会（第2回） 60
- 6 平成30年度 第29回東京都産業教育振興会作文コンクール
(1) 入選者一覧 62
(2) 最優秀作文 64
(3) 応募校一覧・応募数の推移・テーマ別応募数等 68

本会の概要

- 1 平成30年度 事業経過報告（平成31年2月20日現在） 72
- 2 平成29年度 決算 74
- 3 平成30年度 予算 75
- 4 平成30年度 役員、委員一覧 76
- 5 本会会則 78
- 6 平成30年度 会員名簿 80
- 7 入会案内・編集後記 100

広告目次 101

巻頭のことば

「これからの産業教育への期待に応えるために」

東京都教育庁教育監 増 淵 達 夫



今般告示された次期の学習指導要領では、社会とのつながりを重視しながら学校の特色づくりを推進していくことや、現実の社会との関わりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現していくことなど、「開かれた教育課程」が求められている。そのため、各教科等において、子供たちが学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう「どのように学ぶか」という学びの質を重視した授業改善が必要である。

現代の社会は、科学技術やグローバル化の進展、産業構造の変化等に伴い、必要とされる専門的な知識・技術が高度化している。こうした状況の中、産業教育においては、専門的な知識・技術の定着を図るとともに、多様な課題に対応できる課題解決能力を育成するため、地域や産業

界との連携の下、産業現場等における長期間の実習等の実践的な学習活動をより一層充実させていくことが求められている。

このような要請に対して、東京都教育委員会は、様々な施策に取り組んでいる。例えば、商業高校については、平成 30 年 7 月には、商業教育コンソーシアム東京を設置した。このコンソーシアムは、都立商業高校の生徒たちがビジネスを実地に学ぶことができるようにするために、企業や地域社会等と共同して、必要な授業支援を行う組織であり、企業や地域社会等と都立商業高校が円滑かつ継続的に連携するための橋渡しの役割を担っている。この組織を活用して、生徒たちは、企業の社員から商品価値を高める戦略や市場動向の分析手法等を学んだり、提示された課題を解決するための学習に取り組んだりしている。

工業高校については、学校と企業が連携して、企業での実地の職業訓練を行い、ものづくりの人材を育成することを目的とした教育システムであるデュアルシステム科を六郷工科高校に設置した。その成果を踏まえ、今年度から新たに葛西工業高校と多摩工業高校にも設置した。

農業高校については、高校生が食の安全や環境保全等を学ぶことを通して、より良い都市農業を担う人材を育成するとともに、各学校で生産した農産物を東京 2020 大会の食材として提供することを目指して、農産物の安全の証である T-GAP 認証の取得を進めている。

東京には、大学や研究施設、企業などが集まっている。こうした東京独自の環境を学校の教育活動に積極的に活用することにより、専門的な知識・技能の習得はもとより、職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、社会や産業における新たな課題の解決に向けて、多くの人と協力して挑戦する意欲・態度の育成が図られるものと確信している。

特 集



職業に関する教科における学習指導要領の改訂について —産業教育における資質・能力の育成—

東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事 山本 進一

1 はじめに

平成30年3月、新しい高等学校学習指導要領（以下、「本要領」と表記。）が公示された。今回の改訂は、平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえ、職業に関する教科においては、科学技術の進展、グローバル化、産業構造の変化等に伴い、職業に従事する上で必要とされる専門的な知識・技術の変化や高度化に対応することを目的として約10年ぶりの全面改訂となる。本稿では、平成30年7月に公示された高等学校学習指導要領解説の職業に関する教科について、改訂の基本的な考え方や育成を目指す資質・能力等について記述する。

2 改訂の考え方

本要領では、地域や社会の発展を担う職業人を育成するため、社会や産業の変化の状況等を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」を目指す理念としている。これは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携してその実現を図ることを意図している。よって、今回の改訂では「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」や、そのために「何を学ぶか」まで見通した改訂となった。

3 社会に開かれた教育課程

「何ができるようになるか」ということに関しては、育成を目指す資質・能力ごとに三つの柱で再整理された。職業教科の教科及び科目の目標は、以下の三つの柱を基本的な考え方として、それぞれの教科・科目の特性等を考慮して規定している。

①各職業分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける【知識及び技術】

②各職業分野に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う【思考力・判断力・表現力等】

③職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う【学びに向かう力、人間性等】

次に、「どのように学ぶか」については、指導計画の作成に当たっての配慮事項として、資質・能力の育成に向けて、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を図るよう明記された。職業教育においては、これまでも地域や産業界等と連携した実験・実習などの実践的・体験的な学習を重視しており、「主体的・対話的で深い学び」と関連が深い。社会や産業の具体的な課題に取り組む際に、教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、よりよい製品の製造等を目指す、といった課題の解決を図る学習や臨床の場での実践などは「深い学び」と関連が大きいと言える。

また、「何を学ぶか」については、産業界で必要とされる人材を踏まえ、持続可能な社会の構築、情報化の一層の進展、グローバル化などへの対応の視点から各教科の教育内容の改善・充実を図られた。

本要領の趣旨の実現のためには、これまでの学習活動を「主体的・対話的で深い学び」の視点から改めて確認しながら、不断の授業改善に取り組んでいくことが求められる。

4 「見方・考え方」について

「深い学び」の鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になる。各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と社会をつなぐものであることから、生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、教師の専門性が発揮されることが求められる。

産業教育の特質に応じた「見方・考え方」については、教科ならではの物事を捉える視点や考え方であり、前述した三つの柱で整理していく資質・能力を育むため、各教科に関連する職業を踏まえて、社会や産業に関する事象を、職業に関する各教科の本質に根ざした視点で捉え、人々の健康の保持増進や快適な生活の実現、社会の発展に寄与する生産物や製品、サービスの創造や質の向上等と関連付けることなどに整理した。

以下に、各教科の「見方・考え方」を示す。

1) 農業

農業や農業関連産業に関する事象を、安定的な食料生産と環境保全及び資源活用等の視点で捉え、持続可能で創造的な農業や地域振興と関連付けること。

2) 工業

ものづくりを、工業生産、生産工程の情報化、持続可能な社会の構築などに着目して捉え、新たな次代を切り拓く安全で安心な付加価値の高い創造的な製品や構造物などと関連付けること。

3) 商業

企業活動に関する事象を、企業の社会的責任に着目して捉え、ビジネスの適切な展開と関連付けること。

4) 水産

水産や海洋に関連する事象を、漁業生産や船舶運航、海洋工学、情報通信、資源増殖、水産食品の製造や流通、海洋の環境保全や活用などの視点で捉え、地域や社会の健全で持続的な発展と関連付けること。

5) 家庭

生活産業に関する事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の伝承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生活の質の向上や社会の発展と関連付けること。

6) 看護

健康に関する事象を当事者の考えや状況、疾患や障害とその治療等が生活に与える影響に着目して捉え、当事者による自己管理を目指して、適切かつ効果的な看護を関連付けること。

7) 情報

情報産業に関する事象を、情報技術を用いた問題解決の視点で捉え、情報の科学的理解に基づいた情報技術の適切かつ効果的な活用と関連付けること。

8) 福祉

生活に関する事象を、当事者の考えや状況、環境の継続性に着目して捉え、人間としての尊厳の保持と自立を目指して、適切かつ効果的な社会福祉と関連付けること。

5 まとめ

更なる「教育環境の充実」として、地域や産業界等との一層の連携や産業教育フェア等の取組によって、中学生の主体的な進路選択に資するよう、専門高校での学習に対する理解・関心を高めることも求められる。

また、教員の資質・能力を向上させるための研修の機会等の充実や大学が教育委員会等と連携した教員養成課程の充実、実務経験が豊富な社会人の活用、計画的な施設・設備の改善・充実・更新、生産や販売実習等の学習活動を円滑に実施することなども必要とされる。

都教育委員会と学校は、本要領の理念や内容等についての共通理解を図り、平成34年度からの円滑な実施に向けて取り組みたい。



時代が求める、魅力ある農業教育の創造と人材育成

東京都立農産高等学校長 並川 直人

1 はじめに

現行学習指導要領「農業」において、国際化や情報化、生産・流通・販売の多様化、技術の高度化や精密化、地球規模での環境保全の必要性の高まり、地域資源を活用したヒューマンサービスの拡大を受け、新たな時代の持続可能な農林業を支える人材を育成することが求められている。

また、新学習指導要領では、農業科の改訂の基本的な考え方として、安定的な食料生産の必要性や農業のグローバル化への対応など農業を取り巻く社会的環境の変化を踏まえ、農業や農業関連産業を通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するように学習内容の改善・充実として4つの柱が示された。

(1) 持続可能で多様な環境に対応した学習を充実、(2) 経営感覚の醸成を図る学習を充実、(3) 安全・安心な食料の持続的な生産と供給に対応した学習を一層充実、(4) 農業のもつ多面的な特質を学習内容とした地域資源に関する学習を充実することがあげられている。

2 安全・安心な食料の生産と供給への対応

上述した、(3)では、科目「農業と環境」「総合実習」「作物」「野菜」「果樹」「畜産」「食品製造」などの科目において、農業生産工程管理(GAP=Good Agricultural Practice)や危害分析・重要管理点(HACCP=Hazard Analysis and Critical Control Point)など、安全・安心な食料の持続的な生産と供給に対応した生産工程管理に関する内容を充実することが求められている。本校では、平成29年度の学校経営計画の重点目標と方策において、「実践的経営学習の推進とともに、日常の栽培指導や食品製造指導等において、

先進技術の習得や生産・製造工程管理の学習として、GAPやHACCPなどを取り入れる。施設設備などの環境整備とともに、取得可能な生産工程管理については取得を目指す」として、研究と実践を開始した。

平成30年度に入り、都立農業系高校全体で「GAPする(農業者がGAP活動又は取組を自ら実施すること。認証を取得しているかどうかは関係ない)」「GAPをとる(第三者機関の審査によりGAPが正しく実施されていることが確認された証明(認証)を受けること)」への機運が高まり、東京都公立高等学校長協会農業部会として、一層推進することになった。

小池百合子東京都知事は平成30年6月の第二回都議会定例会知事所信表明において、「都立の農業系高校におきましては、農産物の安全の証であるGAP認証の取得を進めてまいります。高校生が食の安全や環境保全等を学ぶことで、より良い都市農業を担う人材を育成するとともに、認証取得により、各校で生産した農産物を東京2020大会の食材として提供することも目指してまいります。」と述べられた。

本校では、校長自らがJGAP指導員、ASIA-GAP指導員の資格を取得し、方向性を示しながら、全日制園芸デザイン科、食品科、定時制農産科のすべての生徒がGAP認証農場における授業でGAP学習に取り組める環境を整備している。

この間、農林水産省環境情報分析官を講師に校内研修会、日本GAP協会アドバンス上級審査員・上級指導員を招へいしての公開研修会、JGAP認証農場の見学研修、生徒を対象にした、「大手流通グループにおけるGAPの取り組み」と題した講演会の実施などを行ってきた。

現在、都立農業系高校 8 校では、東京都 GAP の認証取得に向けて、各校で認証作物を選定し、農場の整理整頓、農業実習の「見える化」を行い、平成 31 年 3 月までの認証取得を目指している。

加えて本校では JGAP の認証取得も行い、農業や農業関連産業で求められる人材育成を行う。

2020 オリンピック・パラリンピック大会での食材については、持続可能性に配慮した調達基準が示されており、組織委員会が認める認証スキームとしても GAP は必須である。また、農業系高校生が栽培や加工した農産物等を食材として提供することは、生徒にとっても大きなレガシーとなる。

3 農業 ICT や IoT を活用したスマート農業

全国農業高等学校長協会がベジタリア株式会社、株式会社 N T T ドコモと連携し、農業 ICT 活用支援プロジェクトを立ち上げたので、本校は応募した。次世代農業の学習には、農業 ICT、IoT、AI、ビックデータなどを活用したスマート農業を実現できる教材開発と実践が有効である。

本校で利用している営農記録ツール「アグリノート」は、航空写真ベースでの視覚的な農場管理、簡単・シンプルな農作業記録、作成した記録の確認・自動集計、記録を、ネットワークを介して生徒や教員がリアルタイムで共有するなどの機能を有している。現在取り組んでいる、GAP での記録ツールとしての利用も有効である。今後は、農場におけるネットワーク環境の整備が進むと、授業場面での実践利用につながることが期待される。

また、経済産業省と EdTech 研究会が提唱し進めている「未来の教室」実証事業にも応募した。

第 4 次産業革命とか Society5.0 とばれる今日は、過去の成功体験が通用しない産業構造の変化の中で、「創造的な課題発見・解決能力」(チェンジメーカーの資質)を手にする機会が必要とされる。産業界と連携した STEM/STEAM(教科横断)プログラムとして、「農業高校で取り組むロボティクスと IoT/IPM 体験プログラム」での採択が決定した。

農業系高校はこれまでも地域の STEAM 学習のハブとなっており、産業界や地域と連携して、先端テクノロジーや科学的知見を学べる STEAM プログラムが提供される場であり、参画する生徒は、先端のテクノロジー等に対する関心を高め、チェンジメーカーの素質をもつ人材育成につながることが期待される。

本校が葛飾区や区内の諸団体と協働して取り組んできた、「フラワーメリーゴーランド」の研究を校内で発展させ、現在はセンサー情報をアナログで記録しているのを、農業 IoT センサーの設置とクラウド型電子百葉箱を制作し、プログラミング学習とも連動させる計画である。また、圃場に商用の農業用センサーを設置し、農業用センサーに関する学習を行う。また、LAMP 法による根こぶ病密度診断を用いた、科学的根拠に基づく IPM(Integrated Pest Management= 総合的病害虫・雑草管理)の学習とセンサーから得られたデータ解析を行い、栽培学習に生かしていく。このように産業界との相乗効果を生む本校での IoT、スマート農業の学習を通して、成長産業化が期待される農業分野で活躍できる人材の育成を図る。

4 まとめ

スマート農業は、農業構造の改革や若年農業者の技術習得が容易となり、新たな担い手の確保、販路拡大、新商品開発に取り組める環境の拡大、経営の多角化・発展、高品質で信頼される農産物の安定的生産、新たなビジネスの創出・展開などが期待される。これまで「勘と経験」を獲得するまでに時間を要していたスキームから、若い人材が活躍できる農業に転換していくことで、農業の伸びしろが大きくなり、競争力を有した農業の可能性に結びつく。そして、魅力ある農業教育の創造と人材育成を行うことで、東京都の農業系高校の新たな価値創造に結び付けていきたい。



社会に貢献できる人材の育成

～ 資格取得とものづくりを踏まえて ～

東京都立荒川工業高等学校長 山本 誠

1 はじめに

本校が位置する荒川区は、近くに隅田川が流れ、明治時代以降殖産興業政策が積極的に進められてきた地域である。煉瓦産業は特に有名で、製作された煉瓦は、瓦斯会社の製造工場、電力会社の発電所など、各地の著名な建造物に使用されてきた。現在では、ものづくり産業が広く存在し、「モノづくりの街」として、木工、鋳造、鍛金、刃物、車両、彫刻、和裁、洋裁、製靴・製鞆、食品製造など、多様で希少な「荒川ブランド」が存在する。

本校は、昭和23年東京都立上野新制高等学校三河島分校（定時制課程）として創立し、昭和38年東京都立荒川工業高等学校に校名変更された。全日制課程では、電気科、電子科、情報技術科、定時制課程では、電気科、電子科から構成され、電気系の学科のみで構成される工業高等学校としての特色をもち、一万名を超える卒業生を広く産業界に輩出してきた。校舎の敷地は、明治12年に設立された官立の毛織物工場である千住製絨所の跡地で、地元で製造された煉瓦を使用した塀が、史跡として学校の周囲に残っている。

2 教育目標と教育課程

(1) 教育目標

学校の教育目標は、①社会の変化に対応できる実践的な技術を習得させる、②基礎学力を身に付けさせ、応用・発展できる力と生涯学習の基礎を築く、③勤労と責任を重んじ、社会に貢献できる人間を育成する、④人権尊重の精神を養い、思いやりと規範意識のある人間を育成する、⑤家庭や地域と連携し、安全教育を行う、としている。

(2) 教育課程と資格取得

教育課程では、在学中及び卒業後の資格取得を踏まえ、工業科共通の専門科目として、「工業技術基礎」、「情報技術基礎」、「実習」、「課題研究」、電気系の基礎科目である「電気基礎」及び各科の専門科目を設置している。卒業後は、実務経験と併せて国家資格が得られたり、国家試験で一部の科目で試験の免除がある。

電気科では、専門科目「電気機器」、「電力技術」、「電子技術」を設置し、卒業後は第三種電気主任技術者の国家資格を取得できる。また、第二種電気工事士国家試験の一部の科目で免除がある。

電子科では、専門科目「電子回路」、「通信技術」、「電子情報技術」を設置し、卒業後は第3級陸上特殊無線技士の国家資格を取得できる。また、工事担任者DD3種国家試験の基礎科目免除がある。

情報技術科では、専門科目「ハードウェア技術」、「ソフトウェア技術」、「プログラミング技術」、「電子技術」を設置し、卒業後は工事担任者DD3種の国家試験で一部科目の免除がある。

全ての科で、放課後や長期休業期間を活用して、在学中に様々な資格を取得するための講習会を広く校内で実施し、実績を上げている。

(3) 新しい時代に向けた実習設備

電気系専門高校として、多様な実習設備が存在する。電気科では図1の各種シミュレーション機能を有する模擬送電線路実習装置、電子科では図2の地上デジタル放送技術実習システム、情報技術科では図3のレーザーを使用した3Dプリンタ実習装置などがある。これらの装置は、おもに第3学年の実習の授業で活用されている。

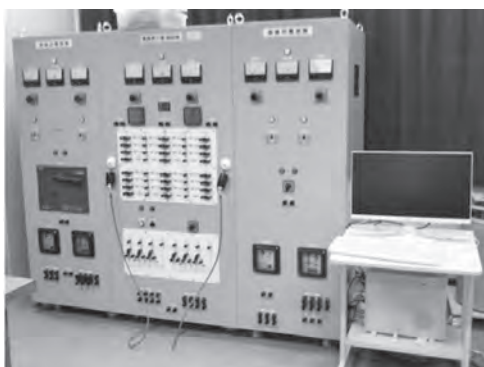


図1 模擬送電線路実習装置

図2 地上デジタル放送技術実習システム
(左上：空中線、光ファイバ、左下：接続装置)

図3 3Dプリンタ実習装置

3 研究校と推進校の取組

平成30年度より、学力向上研究校と安全教育推進校の2つの指定を受け、専門教科や資格取得と併せて指導内容の充実を図っている。

(1) 学力向上研究校（校内寺小屋事業）

基礎学力の定着が十分ではない生徒に対して、放課後等に学習の場を確保するとともに、外部人材を活用することにより、個に応じた学習を支援している。国語、数学、英語の三科目について、週1時間から2時間程度実施している。

(2) 安全教育推進校

学校において、幼児・児童・生徒に危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するため、効果的な安全教育を実践的に研究し、その成果を普及させることを目的としている。災害領域において電気系の専門科目と連携させ、充実した取組を目指している。

4 地域と連携した取組

(1) インターンシップ

これまでもインターンシップに取り組んでいるが、平成30年度から第2学年全員で実施し、進路選択に役立てている。

(2) 空飛ぶ車椅子

定時制課程では、不要になった車椅子を修理・整備し、アジア地域で必要とする子供達に提供する「空飛ぶ車椅子」事業に取り組んでいる。(図4)

(3) 小中学生向け IT 工作教室

毎年夏休み、地域の小中学生を対象に、ものづくりの楽しさや面白さを学ばせることを目的に、全日制と定時制課程が各々実施している。(図5)



図4 車椅子の修理



図5 中学生向け工作教室

5 むすびに

今日、高度情報通信社会が急速に発達し、IoT、ICT、AIと言われる技術が進歩し、併せて製造業全体では、グローバル化も進展している。技術が進歩し社会が大きく変化する中で、高い規範意識と正しい倫理観をもった技術者・技能者の育成は、非常に大切であると考えている。

本校では、資格取得とものづくりを踏まえて、技術・技能の習得や向上のみならず、挨拶の励行や服装指導等を通じて、技術者・技能者として規範意識や倫理観を実践的に指導し育成している。



地域活性化の取組み

—模擬株式会社レガロ工房の挑戦—

東京都立荒川商業高等学校長 長江 誠

1 はじめに

本校全日制の模擬株式会社「レガロ工房」は、平成29年度の第6回高校生夕張キャンプ選抜大会第I期で「〇（まる）でつながる夕張市」というタイトルで、夕張を野球大会で盛り上げようという主旨の発表をしたところ、優秀賞に選ばれ夕張市訪問の機会をいただいた。現地では、発表したことについて調査・研究を行いながら、自分たちの企画が実現可能かどうかを確認した。帰京後は、日頃からお世話になっている学校近隣の方々と意見交換するうちに、この企画を何としても実現させようという強い意志が芽生えてきた。幸いにも、荒川区内の草野球チームの皆様が野球大会に参加してくださるというお話があり、いよいよ野球大会実現に向けて具体的な活動が始まった。

2 夕張メロンカップの概要

- (1) 大会名 第1回夕張メロンカップ
- (2) 開催期日 7月21日（土）～22日（日）
- (3) 開催場所 北海道夕張市
サングリンススポーツヴィレッジ
（夕張市平和運動公園）
- (4) 宿舎 合宿の宿「ひまわり」
- (5) 参加者

夕張市住民	25名
夕張高校教員生徒	2名
荒川区住民	20名
協力者（MC・動画編集）	5名
八丈高校教員・生徒	3名
レガロ工房卒業生	8名
レガロ工房生徒	5名
荒川商業高校教員	2名
試合観戦者	約50～60名

(6) プログラム

①親善試合

第1日目の午後に野球場に到着し荒川区の野球チームと夕張市の野球チームで親善試合を行う。東京メンバーには家族に参加していただき、夕張の現状や自然の素晴らしさを堪能してもらいながら、家族の絆や愛情を確かめてもらう場とする。本事業をきっかけに、夕張の方々と親戚付き合いのできる関係を作ってもらおう。



図1 マウンド付近で集合写真

②スターナイトパーティ

試合後に夕食を兼ねて開催し、選手同士がお互いの健闘を称えあい親睦を図る目的で開催する。相互理解を深め、お互いの絆を構築する。

③夕張市内見学

第2日目の午前中に市内を見学する。炭鉱から出た選炭後の廃棄物の山（ズリ山）から市内を一望し、夕張の立地や自然を理解していただく。その後は石炭博物館へ行き、夕張における石炭の歴史や経済や人口の流動について理解していただく。

④動画記録（DVD）の作成

動画で記録し、協力者や関係者各位に配布することで、本取組に対する理解と今後の支援につなげる。

3 大会開催までの課題と克服

本大会を開催するにあたり、さまざまな課題が生じた。

最初に東京から夕張まで行ってくれる野球チームが見つかるかという心配があった。レガロ工房は日頃から学校周辺の商店街や区役所等と連携しながら、ポスター・フラッグ・ホームページの作成や販売活動の企画・協力をさせていただいている。こうしたつながりから、地域のスポーツ店のご紹介でメロンカップに興味を示してくれる草野球チームが見つかった。

次に遠征及び諸経費に必要な費用をどのように捻出するかというたいへん大きな課題があった。様々な方面に支援依頼をしたが、お金を出していただけたところは簡単には見つからなかった。レガロ工房の生徒たちは地域の方々に相談したところ、NPO 法人の代表をされておられる方からのご助言を参考にさせていただき「クラウド・ファンディング」に挑戦することとした。協力してくださる会社が見つかり12月から約1か月間をかけて、目標額100万円で始めることとした。しかし、日数が経過してもなかなか目標額には到達せず実現不可能の可能性が高まってきた。そこでレガロ工房はビラ配りに取り組むこととした。夕張メロンカップの主旨とクラウド・ファンディングの案内を書き込んだビラを作成し、学校最寄りの複数の駅で日数をかけてビラ配りを行ったところ、徐々に賛同者が増え、締切数日前に目標額に到達した。しかし、資金はまだ不足していたため学校周辺の商店街で開催されるイベントに参加して販売活動を行い、その売り上げを資金源に加えた。さらに同窓会に依頼し理解と賛同を得て支援を頂戴した。

次の大きな課題は夕張の皆様の理解と参加がい

ただけるかどうかということであった。平成29年度に夕張を訪問した際に、市内を案内していただいた市役所の関係者らと連絡をとらせていただき協力を願った。当初は実現可能かどうか心配する様子があったものの、協議していくうちに夕張市役所のご協力を得られるようになってきた。さらに、夕張市民で大会の趣旨に賛同していただける方が集まりだし、夕張市内の見学に際し案内役を担っていただける方が現れるようになった。また、2日間の様子を動画で撮影し編集してくださる方や、北海道新聞の関係者でこのイベントを紹介してくださる方等の協力がいただけることになった。多くの課題を克服していく過程で、様々な立場の人とつながりがもてるようになった。

4 まとめ

レガロ工房で企画した野球大会が、本当に夕張で開催できるかどうか疑心暗鬼であった。しかし、レガロ工房の社長や役員である生徒たちは、協力者の助言を参考にしながら、自ら発案し行動して企画を進め、1年をかけて実現したことは大きな自信になったに違いない。また、この取組みに対して、内閣府、夕張市、荒川区、足立区から後援をいただいたことも心強い支えとなった。参加してくださった夕張市の皆様、荒川区の皆様、相談やお願いに理解や協力をしてくださった皆様、ありがとうございました。



図2 レガロ工房生徒と卒業生



新しい時代に向けた産業教育を目指して ～地域での実習や連携を活かしスペシャリスト を育成する～

東京都立大島高等学校長 皆川 貢治郎

1 はじめに

本校は創立75年を迎え、普通科2学級・併合科（農林科・家政科）1学級の各学年3学級、生徒数は全校132名、小規模ながら地域に根差した学校である。開校当初は水産科の設置や新島分校など、現在では他校として分離したものもあるが、昭和46年4月に現在の大島高校のかたちとして学校の土台が固まった。大島は東京から約120Km離れた伊豆諸島最大の島であり、本校は島の西側に立地している。校内には伊豆大島の象徴であるツバキ、その園芸品種を蒐集した椿園があり、2年前に「国際優秀つばき園」に認定された。

併合科においては、都立校屈指の面積を有し広大な農場を設置していることもあり、農林科に注目が集まりがちであるが、ここでは、本校家政科の地域と密接に連携した教育実践活動と、スペシャリストを養成していくきめの細かい教育活動を通じた生徒の成長の様子を報告させていただく。

2 家政科の基本方針、教育課程等について

(1) 基本方針

家政科の基本方針は“生活産業スペシャリストの育成を目指した教育活動を推進する”である。本校には教育方針の礎となっている五訓がある。“誠実 敬愛 勇気 自尊 自主”の五つである。家政科の基本方針もこの五訓を活かし、産業界で飛躍し、活躍する生徒の育成をこれまで実践してきた。特に校内外での実習をふんだんに取り入れ、専門的技術や知識を習得させること。また、地域の産業や福祉の現場と積極的に連携し社会性を育み、職業観を形成していくこと。授業においては調査・研究、発表等を取り入れ、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を育むことである。家政科はこの他、検定、資格取得にも積極的に取り組み職業人の育成を実践している。

ン能力、プレゼンテーション能力等を育むことである。家政科はこの他、検定、資格取得にも積極的に取り組み職業人の育成を実践している。

(2) 家政科の教育課程

下表は本校家政科で設置している科目である。本校は他の多くの科が実施している類型を取り入れていない。生徒は入学後、家庭科の科目を食物、被服、保育、福祉等すべての分野を学んでいる。密接に関連している科目の基礎を1年次に学び、2年次に応用し、3年次には課題研究における研究を目途として、知識、技術を進化させることを目標としているからである。将来の産業人を担ううえでのオールランウンダーを育成している。

(平成30年度入学生)

科目	1年	2年	3年
家庭基礎	2		
生活産業基礎	2		
課題研究			4
生活産業情報		2	
子どもの発達と保育			2
生活と福祉		2	
服飾文化		2□	
ファッション造形基礎	2		
ファッション造形		2	
服飾手芸		2●	
フードデザイン	2		2★
食文化		2□	
総合実習	2		
調理		2	

※ 表中の数字は単位数

※ 表中の記号

□科内選択 ●他教科との選択 ★自由選択

3 家政科の教育実践について

本校の進路指導、そしてキャリア教育を進めていくうえで、“希望進路実現 100%”が目標としている。しかし、このことを達成していくには、1年次からの計画的な教育活動が求められる。また、座学だけでは培うことはできず、実習、調査・研究、発表等をバランスよく学ぶ必要がある。

大島町内には都内とは異なり、大規模な事業所はないものの、特色ある地場の事業所が存在している。また、都内他より専門的な職業人を講師として派遣依頼し実践的な活動を行っている。

(1) 実践的な教育～1 学年

1 学年は、「家庭基礎」、「生活産業基礎」、「ファッション造形基礎」、「フードデザイン」等を履修し、将来の産業界で活躍する資質の基礎を固めていく学年である。また、多様な校外実習活動を実施している。連携先は「大島町役場」「大島牛乳他各種企業」で“町の魅力を伝える”、“製造法を学ぶ”など大島の魅力を深めるための基礎学習を地域と密着し実施している。



(2) 実践的な教育～2 学年

2 学年では、基礎から応用へと移行していく学年である。被服、食品それぞれについて発展的に学習し、資格取得を交え、知識・技術を確かなものとしている。また、科内選択として「服飾文化」「食文化」を希望に応じ選択する。この他、年度末に実施する併合科学習発表会では、「被服」などテーマを各自決め、成果を発表している。

(3) 実践的な教育～3 学年

3 学年は家政科の学習の総仕上げの学年である。これまで学習してきた知識・技術を用い、研究発表に取り組む。「課題研究」は学習の集大成であり、生徒一人ひとりが研究テーマを設定し、2月の研究発表会に臨む。生徒の多くは、夏休み中も研究活動に励んでいる。なお、“ウェディングドレスの制作”“穀物の研究”など多岐にわたり、この研究を通じ、プレゼンテーション能力を身に付けていくことにつながる。



(4) 実践的な教育～特色ある活動

大島高校の都道を挟み向かい側には、大島高校より歴史のある藤倉学園の建物がみえる。毎年6月の藤倉学園の創立記念日には本校家政科の生徒がボランティア活動を行い、感謝の言葉を頂戴している。また、島内の保育園でのボランティアなど各種の活動に積極的に参加している。この他、夏には特別講座として、都内の専門学校よりマイスターを招き、洋菓子作りの実習を行っている。プロの技術の目の当たりにし、生徒は各自の技術の向上を図っている。

4 まとめ

家政科に入学してくる生徒はそれぞれが、将来に向けての強い夢や希望をもち、また目的意識と誇りを持ち卒業していく。島には上級学校や大企業は展開していない。そのため、卒業とともに島を離れる生徒が多いことも事実であるが、今後も大島高校の生徒が世界中どこにおいても活躍できるように、4名の家政科の教職員とともに生徒の夢を叶えていきたい。そして、家政科の活動が大島の地域住民や関係機関等から評価され、生徒が自信を持ち主体的、意欲的に活動するよう教育活動を維持、発展させていく。



総合学科高校におけるキャリア教育の実践

東京都立東久留米総合高等学校
キャリアデザイン部 主任教諭 長谷川 裕

1 はじめに

本校は平成19年度(2007年度)、東京都では6番目の総合学科高等学校として開校した。

総合学科として多様な進路に対応した教育課程を組んでいるが、卒業時の進路はほとんどの生徒が進学を希望している。また、授業の内容も基礎学力を確実に身につけさせるよう工夫を行っている。しかし、単に進学の為の学力形成だけではなく、将来の就業や自己実現などに益する「キャリア教育」の充実が総合学科としての本校の特色である。

現在、本校は東京都から「スポーツ特別強化校」「文化部推進校」「海外姉妹校推進指定校」などの指定を受け、授業などの学習活動ばかりではなく、部活動・国際交流などにも力を入れた活動を行っている。

2 キャリア教育のコンセプト

本校のキャリア教育のコンセプトは「25歳の自分創り」である。卒業後すぐに就業する生徒は少ないが、やがて社会人となる生徒に、「基礎的・汎用的能力」や「社会人基礎力」に掲げられた能力を25歳の自分を一つの視座として考えさせる取り組みを行っている。

1年次の「産業社会と人間」、2年次の「人間と社会」、3年次の「課題研究」を通して、自己のあり方・生き方についての考え方を深められるようになっている。

3 産業社会と人間(1年次 2単位)

本校の「産業社会と人間」は「脱中学生」を果たし、高校生として自分なりの考え方や、その背

景となる基礎的・汎用的な能力を得ることを目標としている。

代表的な活動は次の通りである。

①構成的グループエンカウンター

入学後のアイスブレイクや自己理解のきっかけとなるよう、ノンバーバルコミュニケーションのワークなどを実施。

②KJ方による自己理解・職業理解

片野(2008)によるKJ法を利用したワークを行い職業に対する視野を広げ、自己理解を深める。

③マインドマップ

年間2~3回実施。1回は自己紹介、他は教科学習等に活用できるまとめ型マインドマップ。

④夢ナビシート

関心ワードについての大学教員からの夢ナビ講義シートを使用して1分間スピーチを実施。

⑤紙上サバイバル



サバイバル想定場面での協働学習、自己理解・他者理解ワーク。

⑥オープンキャンパス参加

夏季課題として大学等のオープンキャンパスに参加し、在学生へのインタビューを行う。また、その成果を1分間スピーチで発表する。

⑦ドリームプラン・プレゼンテーション

1人2分間で『25歳の自分創り』についてプレゼンテーションを行う。外部講師によるクラスごとのプレゼンテーション指導も行う。

⑧双六トーク

双六をやりながら、出た目に書いてあるテーマについてショートスピーチを行う。

⑨進路適性検査

進路適性検査の結果について講演会を実施し、結果の理解や今後の進路を考える際のヒントを学ぶ。

⑩1分間スピーチ『今年の漢字1字』

1年次を振り返り、漢字1文字にまとめ1分間スピーチを行う。



総合学科教育活動成果発表会における発表

その他 PRPG－H を実施し、リテラシー・コンピテンシーの評価を行い、ジェネリックスキルの涵養を図っている。

4 人間と社会（2年次 1単位）

1年次の産業社会と人間を敷衍させる形で、進路についての理解・考え方や自己理解・他者理解を更に深めることを目標としている。

①職業人インタビュー

各分野で活躍されている方に直接グループインタビューを行い、職業意識を深める。

②社会人講話

卒業生による講話を伺う。

③国際理解教育・留学生講話

姉妹校となったソウル市立登村高等学校との交流活動、外国人留学生の方の講話を実施。

④地域連携・体験活動

旧「奉仕」の頃からの地元との結びつきを深め、

清瀬夏祭りや地域清掃に参加し、ボランティア精神や地域の社会人との交流を深める。

⑤防災館体験活動

池袋防災館での体験活動を行い、防災や地域連携のあり方を学ぶ。

⑥模擬投票（主権者教育）

選挙年齢が引き下げられ、選挙への教育・意識付けが高校にも求められている。本校では、東久留米市青年会議所とタイアップして模擬投票の授業を行っている。

⑦課題研究プレ研究

3年次で行う課題研究の準備学習を行う。

5 課題研究（3年次 2単位）

高校三年間の総括として、また「25歳の自分創り」の中間地点として、担当教員の指導の下に研究を行う。

①キャリア計画の作成

これからの自分のキャリア計画を作成し、今後の課題を探る。

②上級学校研究

進学志望の学校について、進学後の学習内容や入試・学費・奨学金などについて研究を行う。

③卒業研究・卒業論文

自分で選んだテーマについて研究を行い、論文にまとめる。

④卒業研究プレゼンテーション

卒業研究について、中間発表2回、最終発表会を行う。

6 おわりに

高等学校の3カ年を見通したキャリア教育を行えることが、総合学科高校の強みの一つである。この強みを生かすべく、毎年内容の見直し改訂を行っており、今後さらなる充実を図りたい。



昭和第一学園高等学校 工業科の 現状と新たな取り組み

昭和第一学園高等学校 副校長兼工業部長 江川 夏樹

1 はじめに

本校は昭和15年、創立者比留間安治先生により昭和第一工業学校（機械科・電気科・航空機科）として東京都立川市に設立されました。以来約80年の長きにわたり多摩地区において、私立の工業高校として多くの卒業生を輩出して来ました。

また、昭和50年から普通科の募集を本格的に再開し、平成元年には校名を昭和第一学園高等学校に改称しました。その後も男子校から男女共学校とするなど幾多の学校改革をしてまいりました。

平成に入ってから、普通科に特進クラスを新設するなどして大学進学にも力を入れたこともあり、工業科との入学者の割合が徐々に変化し始め、現在の募集定員は工業科が3クラス（120名）・普通科が12クラス（456名）となり、30年前の平成元年とくらべて両科の定員割合は完全に逆転しました。

工業科は平成29年度入学生から募集定員を240名から120名へ学則変更し、またそれに伴いこれまで行っていた、機械コース・電子情報コース・建築デザインコース・総合工学コースの4コース制を廃止し、4つのコースを一本化した統合型カリキュラムで、新工学科としてスタートを切りました。

2 「デジタルなものづくり」

ここ数年、工業科生徒の卒業後の進路先内訳は、大学・短大が約40%、専門学校が約50%、就職が約10%という状況が続いています。そして、平成29年度卒業生に至っては就職者が10%を下回っており、就職者の減少は一過性のものではなく、常態化したものとなっています。そのような現状の中で新しいカリキュラムを編成するにあた

り、これからの本校工業科の入学生のニーズを満たすものにするため、工業科に所属する教員が話し合いを繰り返し、つくり上げたカリキュラムが現在の工学科カリキュラムです。

これからの社会で活躍するのは「新しいものを生み出す力」を持つ人であり、NC加工機やデジタル加工機を扱う技術を身につけることにより、様々な分野で活躍できる可能性を拡げることを実現できるカリキュラムとなることを目標とし、「デジタルなものづくり」という言葉をキーワードとして専門教科の編成にあたりました。

また、前述したように、卒業生の進路の85%以上が進学するという現実に対応するため、専門教科の割合を最低限まで少なくし、工学系大学進学や工業分野の専門学校進学に対応したカリキュラム編成とすることも重要でした。

3 専門教科（26～28単位）

【1年次】（9単位）

工業技術基礎（3単位）

機械、電気、建築の3分野における基礎的技術を実習授業で学ぶ。

情報数理基礎（3単位）

工業数理基礎（3単位）

【2年次】（9単位）

工学概論（3単位）：学校設定科目

工業数理分野の応用を学び知識の定着を図る。
工業製品に関わる各種材料の性質について学ぶ。

実習（3単位）

デジタル加工に必須な3D CAD、及びArduinoを利用したマイコンボードの制御の基礎を習得。
さらに、工業で必要性の高い溶接技術の習得。

製 図 (3 単位)

ドラフターによる製図、及び 2D CAD

【 3 年次 】 (9 ～ 11 単位)**工学概論** (3 単位) : 学校設定科目

数値処理に関する更なる応用と課題解決能力を養う。

2 年次に引き続き材料の性質について学習。

実 習 (3 単位)

2 年実習で学んだ知識や技術の応用を学び、それを基に、PC やデジタル加工機を使った「ものづくり」の、技術と知識を習得。

課題研究 (3 単位)

自ら設定したテーマ毎にチームを組み、今までに学んだ知識を活用し、研究・製作を行う。

応用工学 (必修選択 : 2 単位)

課題研究とは異なり、提示されたテーマに対応した研究や政策を行う。

資格取得 (必修選択 : 2 単位)

電気工事士、危険物取扱者などの資格取得を目的とする。

4 一般教科 (63 ～ 68 単位)**【 国 語 】**

国語総合 (4 単位)、現代文 B (6 単位)

【 地理歴史・公民 】

地理 A (2 単位)、世界史 A (2 単位)

現代社会 (2 単位)

【 数 学 】

数学 I (3 単位)、数学 A (2 単位)

数学 II (4 単位)、数学 B (2 単位)

数学 III (必修選択 5 単位) 3 年次

数学研究 (必修選択 2 単位) 3 年次

【 理 科 】

科学と人間生活 (3 単位)、物理基礎 (2 単位)

化学基礎 (2 単位)、

物理・化学 (4 単位) 3 年次 1 科目選択

【 保健体育 】

体育 (7 単位〈柔道 2〉)、保健 (2 単位) 年

【 芸 術 】

音楽 I ・工芸 I (2 単位) 2 年次 1 科目選択

美術演習 (必修選択 2 単位) 3 年次

音楽基礎 (必修選択 2 単位) 3 年次

【 外国語 】

コミュニケーション英語 I (3 単位)、英語表現 I (2 単位)

コミュニケーション英語 II (4 単位)、英語演習 (3 単位)

英語研究 (必修選択 3 単位) 3 年次

英語会話 (必修選択 2 単位) 3 年次

【 家 庭 】

家庭基礎 (2 単位)

食物演習 (必修選択 2 単位) 3 年次

【 総合的学習の時間 】

キャリアガイダンス (2 単位) 1 ・ 2 年次

5 検定・資格取得

- ・計算技術検定と情報技術検定は 1 年次に全員が 3 級を受験し、その後各自上級へチャレンジ。
- ・安全教育・技能講習は 2 年次から夏期と冬期に講習期間を設け (小型クレーン、小型フォークリフト、玉掛け、高所作業車、小型建設車両、ガス溶接) 資格取得にチャレンジ。
- ・英検準 2 級取得を目標に、年 3 回の試験に連動した講習会を開講。

6 進学講習・校内模試など

- ・夏期・冬期休業中に進学講習会を開講。
- ・3 年夏期までに 5 回の基礎力・実力判定模試、3 回の小論文模試を開催。

7 高大専連携

- ・応用工学の授業を利用し、日本工学院八王子専門学校の設備を使用し、より発展的な内容を受講。

8 ジュニアマイスター顕彰

- ・統合カリキュラムであるが故に、取得できる資格は以前に比べ限定されたものになったが、新設のブロンズも含めチャレンジを継続。

○以上紹介した内容を、平成 29 年度入学生から実施しています。工業科の運営は逆風にさらされていますが、生徒たちの成長を喜びとして「ものづくり教育」を進めてゆきたいと思います。



生徒の進路実現を図る専門教育の取り組み

安部学院高等学校長 安部 元彦

1 はじめに

東京都北区にあります安部学院高等学校です。本校は、昭和15(1940)年4月に「滝野川第一商業女学校」として、安部元章により創立されました。

昭和19(1944)年に「滝野川女子商業学校」と改称しました。

昭和25(1950)年9月に、現在の北区栄町35-4へ移転し、「安部学院高等学校」と改称。現在に至ります。

平成30年度に創立満78年となり、平成30年3月の時点での卒業生は、14,989名を数えます。



2 挨拶の励行

初代校長・安部元章、二代校長・安部恵一は、「学業成績は悪いよりは良い方が良いに決まっている。でも、社会に出たら、学校での成績よりも、気持ちの良い挨拶を出来ることが大切になる。」

と、常日頃から言っていました。

私立学校はそれぞれに建学の精神を持っていますが、本校では「5つの挨拶」を人間教育の中に取り入れています。

＊「おはようございます」

＊「さようなら」

＊「有り難うございます」

＊「ごめんなさい」

＊名前を呼ばれたら、「はい」という返事

この「5つの挨拶」は簡単なことのように思えますが、実際に声に出してみようということは意外と難しいようです。

本校でも、教職員一丸となって挨拶の指導に力を入れています。3年かけて何とか「挨拶の出来る生徒」を育てたいと願っています。

相手に対して挨拶がきちんと出来ると、挨拶をした自分も気持ち良くなるもので、生徒にはこのことを体験して欲しいとも願っています。

3 資格の取得

本校は商業高校ですので、他の商業高校と同じように必然的に「検定・資格の取得」という目標が出てきます。

本校へ入学してくる生徒の多くは、学業面での苦手意識・コンプレックスを持っています。

初代も二代目も「評定2という成績は、勉強が出来ないのではなく、やっていないだけ。やれば、

理解できるし、成績もきちんと取れる。」とよく言っていました。

そこで、先ず基礎的な部分を復習し、苦手意識を無くすようにしています。その中から「やれば出来る」という気持ちが生まれてきます。

そして、簿記・電卓などの公の検定を取れるようになると、生徒は「やれば出来る」という自信を強く持つことが出来るようになります。

せっかく商業科の学校へ入学したのですから、

- * 1つでも多くの資格を取ること
- * 1つでも上の級の資格を取ること
- * 1人でも多くの生徒が合格すること

を目標として、資格の取得について頑張らせたいと願っています。

実施している検定試験は下記の通りで、在校生には、「資格の取得」ということを通して、大きな自信を持ってもらいたいと願っています。

- * 商業科目…簿記、電卓、パソコン入力
- * 一般教科…英語、ペン字
- * その他……秘書、サービス接遇

4 進路指導

現在、本校に於いても、就職希望者よりも進学希望者が多い状況になっています。

大雑把な内訳は、就職；16%、進学；70%、その他・未定；14%となります。

昭和から平成に移り変わる頃は、就職希望者が90%以上を占め、進学希望者は殆どいなかったの、様子は大きく変わりました。

卒業後の進路への意識付けは、以前は2・3年生で校内・校外での進路説明会へ行かせるようにしていましたが、現在は1年生の段階から行っています。

民間の教育支援の会社を通じて、企業や学校が

一堂に会しての進路ガイダンスの場を設けたり、作文の添削をして頂いたり、外部講師の方による就職内定者へ事前の心構えの講話をして頂いたり、地元の産業教育振興会を通じても面接練習をして頂いています。

3年生の卒業試験が終わった後の2月中旬に「3年生からの進路報告会」を実施しています。

これは、就職や進学を決めた3年生が、進路決定に至るまでに経験したことを、2年生へ伝えるもので、成功談だけでなく、失敗談や反省点も含めて、次に控える下級生たちへアドバイスします。

2年生の年度末には「適性検査」も行い、検査結果を通じて、生徒本人だけでなく、保護者の方にも子どもの適性・特徴を知って頂きます。

最近は携帯電話・スマートフォンやパソコン等の影響か、コミュニケーションを苦手にする生徒、漢字の読み書きや一般常識が低下していることといった課題が、見受けられます。

5 最後に

本校は、決して規模は大きくない、こじんまりとした学校です。

創立者の思いを引き継いで、社会で役立ち活躍する人材を1人でも多く育てていきたいと願っています。

最後になりますが、東京都産業教育振興会、そして関係する企業・団体・学校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



通信制教育の可能性を探る取り組み

NHK 学園高等学校統括校長
(全国高等学校通信制教育研究会会長) 賀澤 恵二

1 はじめに

2年半前、三重県伊賀市の「ウィッツ青山高校」の不適切な教育が発覚した。私たち、通信制高校における教育関係者の衝撃は国、文科省も含め極めて深刻であった。私自身、伊賀市教育委員会の卒業認定委員会に出席させていただき、深刻な状況を目の当たりにしたが、果たして、このような状況にある通信制は、ここだけなのか？という疑問を持ったところである。

2 通信制高校の現状

高校における通信制課程は、戦後、働き学ぶ生徒が多くを占め、多くの生徒はその学びを基礎に、社会における有為な人材として活躍をしてきた。時代の流れの中で、多様な生徒に多様な学びの場として拡大をしてきたところである。

当然ながら、高校における通信制課程は、高校教育の場であるとともに、学校教育法、通信教育規程、学習指導要領等法令の規定を受ける。その意味では、全日制課程や定時制課程と何らそん色のない後期中等教育機関である。今年度の学校基本調査によれば、18万6千人の生徒が通信制課程における学びを受けている。この数字は、全定の生徒数が大きな減少傾向にある中で、微増化状況にある。

先日、私の所属する「全国高等学校通信制教育研究会」の九州地区大会が開かれた。分科会の中で、「読み書き障害」を持つ生徒についての報告があった。発表高校の先生方が、書字障害を抱える生徒に、「特別な配慮」をもって多様な学びを実現するまでのレポートであった。例えば、書字

障害の生徒が通常の筆記方式で答案を作成することが困難な中で、教員相互の話し合いをもとに、パソコンで回答できるようにしたり、授業にパソコンそのものを持ち込んでノートをとること等に配慮をした報告は、胸を打つものがあった。

前述したとおり、通信制には多様な生徒が多様な教育手法の中で学びを続けている。

3 NHK 学園の取り組み

本校は、広域通信制の草分けとして、NHKの高校講座の視聴を前提とした高校通信制教育を展開してきた。従来、働きながら学ぶ生徒中心の教育展開であったが、不登校経験者、高校中退者、家庭の事情等、まさに多様な生徒の入学がある。これらの生徒に即した教育を展開することこそ本校の存在意義と考える。本校のこれまでの取り組みを紹介したい。

(1) 「ベーシックコース」

本校開闢以来、基本とした学びのスタイルである。放送視聴（NHKETV 高校講座）を前提に、高等学校通信教育規程で決められた面接指導（スクーリング）を行い、必要とされるレポートを提出し、教員の添削を通じて理解を進めることになる。高校講座を視聴したかどうかは、レポートの中に放送視聴課題を設け確認することができる。これらの学習結果を年2回の試験で確認される。

(2) 「Do it コース」

不登校の経験者が、初年度からスクーリングに参加することが困難な状況で、特に彼らが苦手とする実技科目の履修を、より上の学年で行い、教員の指導の下、テーマに沿った家庭における学習

を行い、レポートのやり取りをし、一部科目を単位として認定していくものである。当然ながら、三年間で学ぶ学習量は、ベーシックコースと変わりはない。

(3)「海外ネット学習コース」

家庭の事情で、海外の日本人学校に学ぶ生徒がいる。ただ、日本の高校教育を受けるために、多くの生徒は、日本に帰国することになる。もし、海外在住のまま日本の高校教育を学ぶことができれば、両親と一緒に生活することができる。学びの質と量は、ベーシックコースと変わりはない。

これらの取り組みのすべては、「多様な視点から、どのような方法を用いることで生徒が高校教育の学びを継続できるか？」の一点にある。しかしながら、その前提がある。法令、規則を厳格に守り、学習の過程において、全日制や定時制と変わらないという教育の質、そして高校教育にふさわしい学習量が問われることになる。このことを無視した高校教育はあり得ない。冒頭に示した、教育の姿の見えない高校であってはならないと考える。

(4)「スクールカウンセラー (SC)、スクールソーシャルワーカー (SSW) の配置」

多様な生徒が学びを継続するために、SC を配置することは当然といえるが、学びにくい生徒にどのようにかわるか？も大きな教育課題といえる。

特に、スクールソーシャルワーカーについては、必要な資格取得までの費用を学校が負担をして資格取得を促進している。その必要性が極めて大きいことからの施策である。

4 通信制教育の一層の充実・発展のために

戦後、高校教育に通信制課程が発足すると同時に、全国各地に通信制教育研究会が発足した。その連合組織が、全国高等学校教育研究会（全通研）である。

この間の不適切な教育を指摘し、その改革に組織として取り組んできた。一部通信制高校の不適

切な運営等を改革するために、次の2つのことを提案している。

(1) 通信制高校における質の向上を図るための校内研修の一層の充実に向けた取り組み

自校の教育課題を明確にし、その課題解決に向けた取り組みを、全通研の組織を挙げて取り組むものである。幸い、全通研には、この10年間に限っても、全国・地区合わせて700本の研究レポートがある。これをデータベース化し、各通信制高校が必要とされる自校の教育課題に即して、レポートともに、その提案者を校内研修の講師として派遣する。

(2) 通信制高校における第三者評価機構の設置

不適切な教育運営を指摘するのはやさしい。問題は、その学校の教育運営、内容等が法令、規則に沿うのかどうか？また、教育の展開上における改善事項があるのであれば、その筋道を示し、当該校の一層の充実発展を支援するためのものである。既に、「通信制高校第三者評価研究会」が発足し、研究を重ねてきた。評価の視点や評価基準等の整理が終了し、試験的に第三者評価を実施可能な段階まできている。

5 最後に

全通研は、昨年度、発足70周年を迎え、それを契機として、「通信制教育宣言」を発した。我々の通信制教育にかける思いを理解いただければ幸いである。

「私たち全通研は、学びは希望そのものであるという理念を改めて確認し、先達が灯し続けて来たその希望の光を、学びを求める全ての人々に届けられるよう高等学校通信制教育の充実に邁進してまいります。」



中学校技術・家庭科 技術分野の取組 ～自ら判断し最適化を目指す生徒の育成～

立川市立立川第七中学校長 大神田 佳明

1 はじめに

平成30年度より新学習指導要領の移行に入り各学校では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進められている。今後の社会を担う子供たちは、グローバル化、少子高齢化、絶え間ない技術革新など、持続可能な社会の構築等の現代的な諸課題を適切に解決し、広い視野と人間らしい感性を働かせながら、よりよい社会の実現のために貢献できる力が求められる。

技術・家庭科の目標は、生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、社会や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造する資質・能力の育成を目指している。

技術分野の改訂では、生徒が3年間で「技術による問題の解決」ができるようになることが重視されている。それは、身近な生活だけでなく、社会、産業、環境などにおける技術的な問題に着目して、技術（technology など）によって解決する力の育成が求められている。また、資質・能力の育成では、技術についての基礎的な知識や技能、技術によって問題を解決する力、適正かつ誠実に工夫し創造しようとする実践的な態度の育成が示されている。

さらに、技術による問題の解決では、生活や社会における問題を見出した後、授業で個人課題を設定し、その解決に適した設計・計画を具体化する学習が重視されている。今後は、問題を見だし、設計や製作を通して、技術を最適化しようとする力を問題解決学習を通して育てることが技術分野の役割として重要になってくる。

2 技術分野の内容構成

技術分野では、現代社会で活用されている多様な技術を「A 材料と加工の技術」「B 生物育成の技術」「C エネルギー変換の技術」「D 情報の技術」の四つに整理し、全ての生徒に履修させる。各内容の指導学年などの規定はないが、内容Aで扱う材料に応じた加工方法の知識・技能、ものづくりの基本的な手順や工程などは、3年間の基礎をなすものであるため、1年前期での実施が想定されている。

3 「A 材料と加工に関する技術」の学習

材料と加工の学習内容は、材料の知識や、材料に応じた加工方法、ものづくりの基本的な手順や工程など、内容B～Dで設計・計画を進めるための基礎となる。さらに、生活や社会の中から材料と加工に関わる問題を見いだして課題を設定する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。材料と加工の「技術の見方・考え方」は、生活や社会における事象を、材料と加工の技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、生産から使用・廃棄までの安全性、耐久性、環境への負荷、経済性等に着目し、材料の組織、特性、構造、加工の特性にも配慮し、製造方法や形状・寸法への形成方法等を最適化することなどが考えられる。

4 材料と加工に関する技術の指導事例

本研究では、協働学習による対話的な学びを通して、生徒にとって身近な問題を解決できる題材を設定し、問題の発見、課題解決、構想・設計・

製作等を計画的に行わせることで、自ら判断し最適化を目指す生徒の育成を図った。

(1) 授業改善の視点

自ら判断し最適化を目指す生徒の育成を図るために、次の様な授業改善の視点を踏まえて授業を行った。また、生徒の主体性を育むために、教師が準備した製作過程を生徒がトレースするのではなく、生徒は「小さなエンジニア」として活動し、友達と協力して、自分なりに工夫・創造し、製品等を開発するプロセスを疑似的に体験する学習活動を行った。

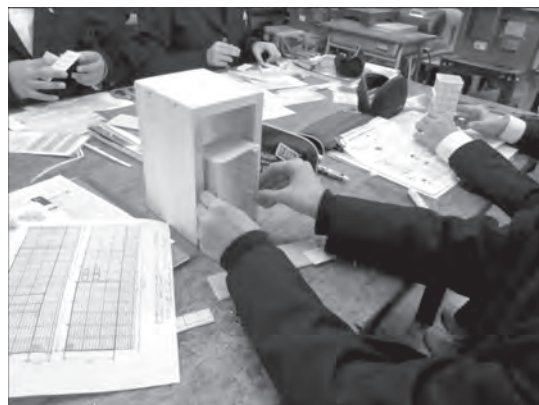
- ①ユーザーの視点から、新たな問題に気付く課題を設定する。
- ②トレードオフを踏まえて、改善策を見いだす。
制約条件下で、優先事項を考えて取捨選択の意思決定を行う。
- ③生徒相互の技術競争（コンペティション）を通して、考え方の違いに気付く、改良・応用のあり方を考える。
- ④自分の考えを修正し、試作・評価する。（設計時の仕様が実現されているか評価する）
- ⑤設計・計画を改良し製作する。

(2) 授業実践「ロッカー箱の整理」

協働学習による対話的な学びの場面を、構想から設計に設定し、生徒に技術競争をさせる授業研究を行った。題材として、教室ロッカーの整理ができるものを班で企画させた。はじめに、自分のロッカーの不便さを考えさせ、班で意見を集約して、問題発見から課題設定、解決する方法を班で議論させた。課題設定を「ロッカーを整理整頓でき使いやすくする」として、授業では、構想を文章や図でワークシートに記入させ、試作品を製作した。製作した試作品をもとに、より課題を解決できる形や機能についての討論を行い、班での企画を決定し、クラス全体で検討結果の発表を行った。

さらに、発表後は、他の班の意見を参考に試作品の修正を行った。授業では、設計場面の構想・試作などの指導計画とワークシートを体系化することにより、学んだ知識や技能をもとに、開発者の工夫やねらいに気付くとともに、話し合いや発

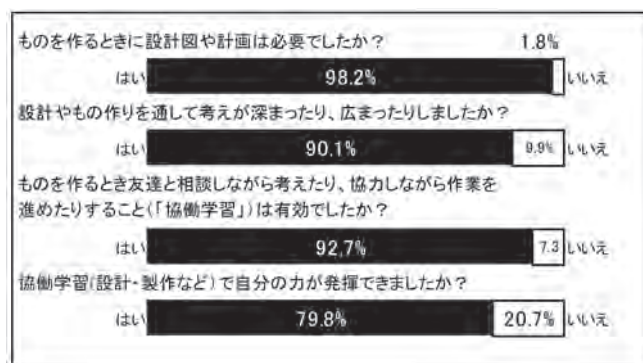
表を通して、自分だけでは考え付かなかったことに気付く、よりよい設計につなげることができた。



ロッカー箱の試作による設計と検討

(3) 事後アンケートから

授業後の事後アンケートから、協働学習による対話的な学びを実践し、成功体験を積み重ねることが重要であることが分かった。今後は、3年間で生徒の発達段階に応じた、協働学習による対話的な学習場面を効果的に配置し、PDCAを繰り返すことで、生徒が主体的・対話的で深い学びが醸成される指導方法、学習評価の改善を図る必要がある。



事後アンケート結果

5 おわりに

技術・家庭科の学習を通して、生徒が自ら社会の諸問題や身近な生活での問題に気付く、課題を設定し、主体的・対話的で深い学びによって、問題を解決する学習の充実を図るとともに、自ら判断し、最適化を目指す生徒の育成を図りたい。

さらに、技術の発達を支え、技術革新を牽引することができる資質・能力を育み、新しい時代の産業を担う人材の育成を目指していきたい。



温室育ちの心優しき高価な雑草たち

鷗友学園女子中学高等学校長 大井 正智

1 はじめに

鷗友学園は1935年（昭和10年）に誕生した私立の女子校です。学園は世間でも珍しい誕生をしました。東京府立第一高等女学校（現在の白鷗高校付属中学校）の同窓会が母校の創立50周年を記念して作った学校です。公立の高等女学校の同窓会が私立の学校を作ったのです。なぜ私立の学校を作る動きが起きたのでしょうか。当時の校長は「全国高等女学校長協会」の理事長であった市川源三でした。日本の女子教育の指導者的立場の人物です。市川源三は第一高女の生徒に「あなたたちは女性です。でもその前に一人の人間です。人間として社会貢献できる人になりなさい」と教えました。鷗友学園が創立したのは1935年。男尊女卑、良妻賢母の時代です。卒業生たちはこの先生のもとで我が子も教育を受けさせたいと考えたのです。こうして作られたのが鷗友学園です。

市川源三の教えとしては「学習者中心主義」「自動創造」「全人教育」などをあげることができます。

「学習者中心主義」「自動創造」は今まさに教育界で大きな流行となっている「アクティブラーニング」の考え方です。また、鷗友学園には「主要科目」という考え方はありません。学校で学ぶ（いわゆる勉強以外も含め）ことはすべて大切だと考えています。まさに「全人教育」です。このような考え方は創立当初から大切にしてきた教育方法です。

2 雑草魂

さて、このような教えを受けた生徒たちはどのように成長していくのでしょうか。その様子を表すのに題名にもした「温室育ちの心優しき高価な雑草たち」ということについて説明します。

鷗友学園の創立記念日は登校して全員で学園の

誕生日をお祝います。その会の中で卒業生にもお話をしてもらいます。今年のお話で卒業生は鷗友生のことを「鷗友生は鷗友学園という温室に守られながら各自が自由に強く育ち、社会という温室の外に出ても強く空に伸び続ける」と話してくれました。温室育ちの高価な花は、手厚い保護がないと温室を出されるとすぐにしおれてしまいます。鷗友生は温室を出た後も元気に活躍する雑草だという思いからの発言でした。また、「生徒一人ひとりと向き合い、しっかりと人生を切り開く基礎を作ってくれるから。没個性とは逆の、芯をもった人間になれる学習環境」がある学校だから「温室」と表現したとも語ってくれています。

この言葉は鷗友生のことを見事に言い表していると思います。生徒は学園の中では暖かく幸せに生活していると思います。そして、学園を卒業した後の鷗友生は社会の中でも堂々と活躍してくれている話をよく聞きます。

他日、ある女性が（その人は鷗友出身ではないですが、鷗友のことをよく知ってくださっている方）「鷗友出身者は雰囲気でわかる。自分は鷗友出身者を見分ける自信がある」とおっしゃっていました。内に秘めた「ちょっとやそっとではへこたれないぞ」という思いを体から発散しているのでしょう。

3 思いやり

そして鷗友生のもう一つの特色は「優しさ」だと思っています。「優しさ」という簡単な言葉では表すことができないような素晴らしい気持ちを生徒たちは持っています。それは相手を大切にする気持ちです。一つの例として私が中学1年生の担任をしていた時のことを書きます。

中1の生活ももうすぐ終わる2月の終礼の時

した。さよならの挨拶が終わり掃除になる時でした。級長、副級長の二人が私の所に来て「先生。今一番欲しいものは何？」と聞いてきました。私はかっこつけてしまい「時間だな」と答えました。その時の会話はそのまま終わったと思います。その後、後期の終業式後のクラスの HR。私は最後の挨拶をクラスの生徒にしました。「皆さんは今のクラスがよかったと言ってくれます。それはとても嬉しいです。だからこそ、来年のクラスを今年以上の、もっといいクラスにしようと考えてください。また、新しいクラスになって、もしかして寂しそうにしている人がいたら皆さんは積極的に声をかけてください。その思いがよりよいクラスをつくる出発点になると思います。それでは元気に最後の挨拶をしましょう」と話したとき、級長、副級長が「待ってください！」と言って前に出て来ました。「これはクラスの皆からのプレゼントです」と言って箱を差し出してきました。その場で開けると置時計が入っていました。クラスの生徒から置き時計のプレゼントを受けたのです。プレゼントを受けると同時に、以前の級長、副級長からの質問の意味が分かりました。中学1年生に「時間が欲しい」とかっこつけた答えをしたために、彼女たちは悩んでしまったと思います。「どうすれば担任に時間をあげることができるか」きっと考えてしまったと思います。その結果「置時計だ」となったのでしょう。時計をもらう以上に彼女たちの相手に対する思い、相手を大切にしようとする気持ちが本当にうれしかったです。その時計はすでに壊れてしまいましたが、今でも大切に校長室の机の上に置いてあります。

鷗友生からこのような、優しい思いを受けた人はとても多いと思います。相手を思いやる気持ちを鷗友生は持っています。そのような鷗友生は私にとって誇りです。つまり、鷗友生は私にとって高価な雑草なのです。鷗友での生活は6年間です。毎年、卒業生が旅立ち、新しい仲間が入学してきます。でも、いつも変わることなく、毎年このような生徒達が活動しているのが鷗友学園です。様々な地から入学してくれる新入生。その人たちがいつの間にか鷗友生にしてくれる力がこの世田

谷区宮坂の地にあるのでしょうか。いつの時でも鷗友生は「高価な雑草」です。

このような生徒達に囲まれた鷗友学園は現代の進むべき学校の姿を現していると感じています。

4 新しい取り組み

では実際に鷗友学園が今年から取り組んでいる「BYOD」(Bring Your Own Device) について説明してこの文を終えることにします。

生徒が自分で持っている ICT 機器をそのまま学校に持ち込んで学習を進めていくというスタイルを鷗友学園では始めました。大学生や社会人では当たり前の、自分の ICT 機器を使うという活動を高校教育に入れました。これは自分で新たな学習の幅を広げるばかりではなく、大学入試に取り入れられる「ポートフォリオ」対策にも通じるものです。PC などを使って、自分が経験したことを記録する。それを溜めるのが「ポートフォリオ」になります。ただ、これも大学入試のためだけではもったいない。自分の人生の中で自分の経験を振り返ることで自分の未来を見つめる。そのためにも PC を使いポートフォリオに記録として残すのは大切なことと考えました。

ICT 機器を学校でそろえて生徒に与えるという考え方もあります。しかし、それでは生徒は教員を越えられない。教員の指示によってしか先に進めないのでは困る。そう考え、自分が持っている ICT 機器を学校に持ち込んでもらうという選択を我々は取りました。

この動きを知った生徒会は「私たちも全校生徒に SNS 利用の注意をしたい」と伝えてきてくれました。そして 2018 年度の始業の後、スライドを準備して全校生徒に伝えてくれたのです。例えば「自分の写真が SNS 上に出されて嫌だった」とか「スマホを持っている人と持っていない人での情報量の偏りに注意」など自分たちが困ったことを全校生徒に伝えてくれました。このことは鷗友学園の良さを再確認できたエピソードでした。

このように生徒と教員と保護者とが力を合わせてよりよくしていく学校が鷗友学園です。



学生満足度を最優先に、
より質の高い高等教育機関へと邁進してまいります！

町田・デザイン専門学校理事長兼校長 井上 博行

1 はじめに

本校は1978年に開校。デザイン分野における数多くの卒業生を業界へ輩出してまいりました。「ものづくり教育」のコンセプトには、町田・デザイン専門学校を卒業した学生は世の中の人々に幸せと生活を提供する技能者になる意識を持っています。

- 一、時代に適応する確かな専門技術の基礎を教育する
- 一、個性と創造性を発揮し生涯を通して人間性豊かに生きる人材を育成する
- 一、育成された技能者の活動を通して地域の産業と文化の発展に寄与する

上記三つの建学の精神と校訓として「感動・奮起・向上」をかかげ、教育を行っています。

国を挙げた教育改革の歩みが加速していく中、本校では色々な課題に対して仲間同士で創造力を開発しあう「ピアカウンセリング (Peer.C)」教育を実践しております。仲間意識を通じて「思考力」と「人間力」を高め、時代に適応した教育の歩みは停滞することなく、2018年に創立40年を迎えました。

2 本校の学科・コース

本校は3学群9学科を設置しています。

〈建築学群〉建築デザイン科、インテリアデザイン科、雑貨・プロダクトデザイン科、二級建築士受験科（通信制）

〈ビジュアル学群〉グラフィックデザイン科、イラストレーション科、Web・CGアニメーション科

〈コミック学群〉まんが科、コミックイラスト科
本校では一人ひとりの個性を大切に「少人数・担任制」を導入しています。自分のスタイルに合わせて、無理なく、無駄なく、プロになる力を身につけます。

3 本校の特色ある教育

本校では次のような教育の取り組みを行っています。

(1) ステップアップ方式

入学する学生の97%はデザインを学ぶことが初めてです。基礎から応用まで無理なく進めていくステップアップ方式で入学から就職・プロデビューまで、丁寧にサポートしています。

(2) 仲間とともに成長できる環境「ピア教育」

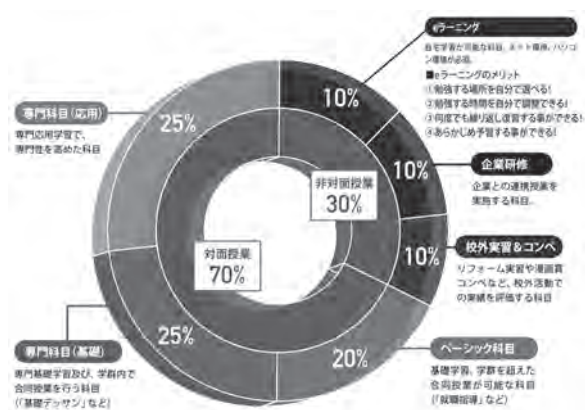
ピアとは仲間、同僚という意味があり、本校ではグループ学習等を通して、学生同士がふれあい、学びあう「仲間教育」を積極的に進めています。お互いの個性を認めながら、共同して物を創る。このお互いに育ちあう教育で「思考力」と「人間力」を育み、社会が必要としている人材を育成します。



授業内の様子

(3) 時間を有効活用できる「eラーニング」

本校では教室での先生による「通常授業」+自宅のパソコンを通じた「eラーニング」の2つを組み合わせたブレンド型授業を導入したことにより、学生が、好きな場所、好きな時間に何度でも学ぶことが可能になりました。また、自宅で創作活動の際も、先生からアドバイスを受けることもでき、リアルタイムで作品制作のスピードアップが図れます。これにより学生は好きな場所、好きな時間に何度でも学ぶことが可能になりました。



(4) 実学実習の強み

学校の所在地である「町田」で近隣の企業とコラボした実学実習が充実しています。リサーチや企画、プレゼンテーション、制作まで一貫して行うことで、学生のうちから現場で必要な知識や技術をリアルに肌で感じ、学ぶことができます。教室や工房の中だけでなく、学外での経験が学生の自信と、幅広い「デザイン力」に繋がり、就職に結びつきます。



実学実習：商業施設でのフォトスポット

4 東京都初

二級建築士受験資格が取れる通信制

2013年3月に「専修学校設置基準」が改正され、「社会人等の多様な学習者のライフスタイルに即した教育環境」を提供することを目的として、専門学校でも大学や短大と同様に通信教育課程を置くことが認められました。

本学の通信教育では二級建築士の受験資格に必要な指定科目を受講者が効率よく学習できるよう、eラーニングを主体として、繰り返し学習が可能な仕組みを用意しました。

仕事をしながら、大学や短大に通いながらも二級建築士の受験資格を取得したい、自分のペースで学習を進めたい…本学ではこれらのニーズに応えられるような通信教育を提供しています。

5 教育を通じた学生の変容

本学では学生が学んだことを発表する場として「産学ネットワーク展」を毎年開催しています。学生たちによる作品展示から販売、模擬店等自分達の手で作り上げ、わかりやすく伝えるためのデザインとは何か、空間を共有できる楽しさ等様々な発見ができる学びの場としています。日々の授業や学外での実習、産学展等の行事を経て学生たちは主体的に取り組む「自主性」、誇りと自信を持ってプレゼンテーションやイベント運営を行う「行動力」を身につけ成長しています。学生が自信を持ちさらに意欲的に活動することで、学校の活性化と地域産業の促進、これからの未来に繋がると考えています。



産学ネットワーク展の様子



産業技術高専の情報セキュリティ技術者 育成プログラムについて

東京都立産業技術高等専門学校
品川キャンパス 教務主事 柴崎 年彦

1 はじめに

2014年の独立行政法人情報処理推進機構における「情報セキュリティ人材の育成に関する基礎調査」によれば、国内の従業員100人以上の企業において情報セキュリティに従事する技術者は約23万人、また不足人材数は約2.2万人と推計されている。このような状況の中で、産業技術高専では、「産業界及び社会ニーズを踏まえた情報セキュリティ分野の実践的な教育プログラムを提供することにより、多くの人・企業・情報が集まる首都東京の情報セキュリティを担う人材を育成すること」を目的として、2016年度より情報セキュリティ技術者育成プログラムを始動した。

2 情報セキュリティ技術者育成プログラム

産業技術高専は5年間の本科と、それに接続した2年間の専攻科からなっている。品川キャンパス本科には4つの専門コースがあり、このうち電子情報工学（他、機械システム工学、生産システム工学、電気電子工学）コースに情報セキュリティ技術者育成プログラムが設けられている。プログラムの具体的な目標としては、「学生の多様な機会を創出することと、社会の高い要望に応えるべくセキュリティ技術者を輩出すること」で、学生の多様な機会の創出に関しては、(a)就業先の業種の多様性を創出すること、(b)就業の職域の多様性を創出すること、(c)進学先の多様性を創出することを目指している。これを達成するための技術者育成指針は、(1)倫理観・使命感・責任感の醸成、(2)主体的かつ継続的学習能力の育

成、(3)コンピュータサイエンスの基礎知識の習得、(4)セキュリティ演習による実践力の育成、(5)チーム力の育成、の5つの柱からなり、これら指針に基づき、3つの実習科目『情報セキュリティ実習Ⅰ（3年生通年90時間）、同実習Ⅱ（4年生通年90時間）、同実習Ⅲ（5年生通年45時間）』を通常のカリキュラムに加えて学習する教育プログラムとなっている。

3 “はじめの一步”

2016年3月、電子情報工学コースより選抜された情報セキュリティ技術者育成プログラム履修第一期生16名と教員3名が東京弁護士会館前に集合し、東京弁護士会の協力のもと弁護士の方と東京高等裁判所で裁判傍聴を行なった。裁判傍聴は本校情報セキュリティ技術者育成プログラムの“はじめの一步”であり、セキュリティ技術者としての倫理観・使命感・責任感を育む目的で行われている。

4 サイバー演習教育システムと関連事業

実習では、国内の教育機関では3番目に導入したサイバー演習教育システムを活用し、実践力育成に注力している。この演習システムはセキュリティ学習のために個別に設計・開発・実装されたもので、本プログラムの履修生のためだけに運用している。しかし、関連分野の進歩は非常に速くシステムを導入し実習しているだけでは不十分で、関連技術者のコミュニティと積極的に協働し、技術者育成の要求を常にキャッチアップする必要

がある。そのため現在までに、13 社、1 大学院、1 大学と連携協定を締結（表 1.）し、警察庁、警視庁、(独)情報処理推進機構などとも交流を行っている。

表 1. 本プログラムの連携先

企業 (13 社)	シマンテック株式会社 富士通株式会社 富士電機 IT ソリューション株式会社 株式会社ラック 株式会社オプティム 株式会社シーアイエー 大日本印刷株式会社 株式会社インフォセック 株式会社ディーゴ 株式会社サイバーディフェンス研究所 株式会社 FFRI パナソニック株式会社 株式会社ハートビーツ
教育 機関	国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 公立大学法人 長崎県立大学



図 1. サイバー演習教育システムによる実習

さらに 2017 年度からは、中学生向け情報セキュリティ勉強会「サイバーセキュリティ TOKYO for Junior（略称 CST）」を開催している。CST の目的は、「中学生に情報セキュリティの学習の機会を提供することと、プログラム履修生が社会貢献をすること」で、企画・勉強会の教材作成・システム開発・講師師役等のすべてを、本プログラムの履修生が実施している。これらの体験を通して、履修生の (1) 倫理観・使命感・責任感、(2) チーム力、(3) コミュニケーション力、(4) システ

ム開発力、を育てている。履修生の活動は、様々な省庁、協会、企業に認知され、2018 年度の「サイバーセキュリティ TOKYO for Junior」に後援して頂いた組織は、東京都、警視庁、独立行政法人情報処理推進機構、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会および 22 企業となった。



図 2. CST で履修生が講師を行なっている様子

この他、中小企業向けの「実体験型サイバーセキュリティセミナー in 東京都立産業技術高等専門学校」、一般技術者向けの「TMCIT × 大和セキュリティ勉強会 DFIR 忍者チャレンジ」など、社会貢献を目的とした情報セキュリティ関連のイベントを随時開催している。

5 むすび

2016 年 3 月の“はじめの一步”から 3 年が経ち、2019 年 3 月には情報セキュリティ技術者育成プログラムを履修した第一期生 12 名が卒業する予定である。第一期修了生 12 名の内 8 名が情報セキュリティ技術関連の企業に就職し、内 4 名が専攻科に進学し本校でセキュリティの学習を継続する予定となっている。今後は、本科での技術者育成プログラムに加え、専攻科においてより高度な情報セキュリティ技術者育成プログラムを構築していく予定である。



——こつこつと苦勞を積み重ねて——
社会の役に立つ組織、人様の役に立つ人づくり

ベストワールド株式会社代表取締役社長 八尾 修生

1 会社概要

昭和34年（1959年）戦後の我が国では、外貨保有高が現在の様に潤沢ではなかった為、外貨使用は厳重な制限下にありました。公的海外出張を除き、海外旅行は一般の人にとっては全く無縁のことで、ましてや海外旅行などは、誰にも夢のまた夢の時代でした。

この様な状態の中、旧陸軍士官学校58期で卒業しました前社長の本名は、当時、連合国軍最高司令室総司令部（GHQ）の総司令官として日本の統治再建に当たっていたマッカーサー元帥の命により、戦争に従軍した者は、一切の公職から追放となりました。

海外旅行に必要な外貨もままにならないかかる折に私共の前社長本名は海外という「未知への憧れ」と熱意で、多くの賛同される方々、約30名様の参加を得て、多くの障害を乗り越えて遂に我が国に於いては戦後最初で最大の飛行機を利用した「45日間世界一周旅行」が実現したのです。

当時、海外渡航業務取扱業者は10社にも満たぬ有様で、外務省旅券課は現・財務省（旧大蔵省）の2階に間借りしている状態でした。

この翼を持った海外への「観光団」は、我が国歴史始まって以来のことであり、我が国海外渡航史の扉を開くことになりましたし、一般には全く縁の無かった我が国海外旅行の始まりとして、大きな意義が残りました。以来50年、この道一筋に至っておりますが、その間に社名変更及び、現在ベストワールド株式会社として研修旅行、視察旅行を専門に社員一同、業務に精励しております。

2 経営の理念として

鉄鉱石や石油などの資源を有しない我が国として、「もの作り」世界に類を見ない優秀かつ高性能の製品を世に送り出し、就中、海外へ輸出を鋭意進める事により、国の存立をはかる事になります。

この為、海外から幅広く情報を収集し、それ等情報をそれぞれの各業界に提供して向後の発展に少しなりとも寄与出来る事を旨として日夜励んでおります。

会社の基本理念としての社訓は下記三条項であります。

1. 出合いを大切にしよう（出会う事により、ご縁が生まれます）
2. 人に会う喜びを持とう（人様に会う事により、望みを伺う事が出来る）
3. 人様の役に立とう（伺ったご希望を基にお役に立たなければ、社会の中で存立する意味がありません）

3 特色

恐らく他に類を見ないほど、お世話申し上げてる業種は多岐に亘っております。

会社は社会の公器であります。一般的な考え方として株式会社は、有志が集い、資本を拠出してその資を本に個有の物とし、思い込み活動する傾向が多い様に思いますが、私共は株式会社は天下の公器であり、社会の中に在って、社会に役立つものであると考えます。

社会のお役に立つ事を念じての活動、社会のお

役に立てば立てる程、その活動に比例して会社に利益をもたらす事になると思います。

何等社会のお役に立つ事がない組織は存立の意義すらその組織自体保ち得ない事になります。

この宇宙は止む事のない生成でありますから、社会は動流してます。それに呼応する為にも日夜、うむ事なく、あむ事なく、日夜に勉強しなくてはなりません。今の世相は利己主義、刹那主義、唯物主義的享楽主義者が多く見られますが、以前はあるにあっても、昨今の様にはあまりにも多くはありませんでした。これ等の主義は私共の会社としては与みしないところであります。

この他、文字活字支援機構にもご協賛申し上げパソコンなどに依る変換を頼りに、あまりにも書くこともなく、また本を読む事から遥かに縁遠くなり、これでは日本古来の文字の意味も解せなくなるのではと危惧しておる次第です。

お世話申し上げてる分野は列举しますと防衛産業、医療業界、農林水産業界、食品業界、教育界、工業業界（特に工作機械業界）、印刷業界、紙製品（紙業、販売）、自動車工業界、航空業界、玩具業界、消防協会、その他、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、防衛省、自治体関係、総務省、出版業界、広告業界など相当の分野、多岐に亘っております。

4 人材育成

今の若者は、忍耐する、努力する、勉強する事に飽き、目先の事のみに興味を持ち、将来に亘り、10年先を見据えた努力をしない様に見受けられます。この為、私共の会社は、会社は道場であり、特に男子には起居振舞い、所作動作は厳しく指導しております。

この他、日々反省する事を求めています。今日一日の過し方はどうであったか、中国の曾子曰く、「吾日に吾が身を三省す」。これは人の為になる事でもある事から、三省を少くともする様に指導しております。

それと声は大きくする。大きな声を出す事は腹筋にも良く、営業の上にも信頼につながる為に、声をのどから出すのではなく、腹から出す様に指導しております。

5 青年へのメッセージ

今の青年に求める事として、忘国。日本の国があって、自分達が生きて、生活出来てる事を忘れてる。

それと先公後私。どういう事から個人情報、個人優先の制度が生まれたかは分からないが、国の為にも、まず国が大事と捉えるべき。国が無くなったら、日本人はどこへ行く事になるかをよくよく考えるべき。

若者達が全員、自分を愛すことに始まって、国の事を忘れて自分の我意を1,000万人、2,000万人が主張したら国はどこへ行くのだろうかを考え、或る程度の我慢はするべきだ。

6 産業教育

危険、汚い、根気のいる事は敬遠するが、これ等が一番大事な事だと思う。これらの仕事に従事するのではなく、キレイな仕事ばかりを求める。これは大きな間違い。

やはり、青年は特に専門職の学校を選んで貰いたい。下世話に言われる通り「手に職」すなわち専門的な仕事に従事すれば、老いてもその専門職で老後を楽しむ事が出来る。今は100歳の時代を間違いなく迎える事になる。そうすると今この時に専門職、専門的な事を身につける、腕につけることは創造性を育む事も出来るし、どの場合、どの様な立ち場に立ち至るとも心臆することなく生きて行くことが出来る。



創業73年 地域の皆様に最も身近な広告を提供し続けてきました

日本広告株式会社 取締役社長 浦野 孝

1 会社概要

当社は、終戦間もない昭和20（1945）年12月、初代社長和田鉄之助によって、「宝商事」の名で創立されました。昭和26年に現在の社名になり、第2代社長和田守雄（昭和51年～平成9年）、第3代社長浦野陽（平成9年～平成20年）の時代を経て、今日まで電柱広告、鉄道広告をはじめとする屋外広告物の販売代理店として、お得意先様、そして関係者の皆様に支えられて着実に歩み続けてきました。

近年では、ほかに豊島区や北区などの案内掲示板、街区案内図などへの広告も取り扱っております。

2 経営理念

日本経済の長い低迷期、国際的な金融不安、東日本大震災など、厳しい販売環境の中でも収益の増減こそあれ、着実に経営し、事業を継続してこられたのは、

- ① 他の広告媒体と比べ、安価な電柱広告および駅看板を扱う会社として、地域の個々の顧客と長期間にわたり密接に結びつき、その信用を勝ち得てきた。
- ② 電柱や駅などの媒体管理会社、同業他社、製品製作工場、広告取り付け工事会社、その他関連会社等と良好な関係を築き、共存共栄を期することができた。
- ③ 社員1人1人が永年にわたり築いてきた、業務実績やお客様からの信頼、広告に対する情熱が、着実に引き継がれてきた。

ことが、最大の要因だと考えています。

時代、社会の変化が激しく、速くなり、厳しい

経済環境が続く中ではありますが、以下の3点を我が社のモットーとして、より安定的に成長していこうと考えています。

I. 顧客第一

お客様から、『日本広告でよかった』という満足感を持っていただけるよう、会社全体で取り組んでいきます。

II. 社員第一

我が社の最大の（唯一の）財産は、「社員」です。会社からはもちろん、社員同士もお互いに思いやり、尊重しあうことを心がけています。

III. 誠実第一

1枚の伝票、1通の書類、1回の挨拶、1本の電話を丁寧に、誠実に行うことこそ、我が社の社



風であり、誇るべき伝統です。

3 特色

日頃、人々の毎日の生活の場にある公道に建てられた電柱、毎日のようにご利用される駅構内、そういった場所の広告を販売し、掲出する仕事を永年続けております。

マスメディアを使った広告・宣伝・コマーシャルと違い、本当にその地域に暮らしている方々の近くで、その方々のお店と地域が発展し、活性化されることを願って、マスメディア広告と比較してはるかに安価な費用で、広告をご提供させていただいております。

特に、電柱広告は、

- ① 景観や街並みにも配慮したデザイン。
- ② 外国人の方々など、その地域を来訪される方々にもわかりやすく便利な、住所表示や道路名表示。
- ③ 常に美しい状態に保つために、定期的に新しい看板に無料で作り直すサービス。

などにも取り組んでおります。

また、近年は23区の多くと締結を結び、電柱広告を掲出されるお客様が、広告面の一部に『避

難場所への誘導』『災害時の想定浸水深』『安全、マナー等の注意喚起』などを載せることにより、地域貢献に寄与できるお手伝いもさせていただいております。

4 人材育成

私は、当社に入る前は東京都の公立中学校で19年間教員を務めてまいりました。周囲からは、「180度違う業種だね。」とよく言われましたが、実際にやってみると、どちらも“人を育てる”ことが最も大切で、そして最も難しい仕事だと実感しております。両方の職場で繰り返し言ってきたことは、自分で『目標・計画を立て』『とにかく実行し』『結果を分析・反省して』『次の計画に生かす』ということです。1人1人個性があり、得意不得意があり、好き嫌いがあるのですから、みんな一律に同じことをさせても、同じような結果が得られるとは限りません。最低限のルールやマニュアルは必要ですし、全員従ってもらわなくては困りますが、あとは自分で自分を磨く努力をしていくことが、自分を成長させる唯一の方法だと思います。そういった環境を作り、1人1人の成長を見守ることが、私の仕事だと思っています。

5 青年へのメッセージ

IT技術が進歩し、様々なバーチャル世界が周囲にあふれています。ソーシャルメディアを利用して不特定多数の人と24時間情報交換ができ、オンラインショッピングで家にいながら物を手に入れることもできます

こういった技術革新による便利さを享受できるのは大変素晴らしいことだと思います。と同時に忘れていけないのは、「リアル」な世界に触れることです。美しい景色に触れる、さわやかな風を感じる、友と一緒に汗や涙を流す、お互いの唾が届く距離で激論を交わす、そんな「本当の」体験を数多く積んでいってください。





平成30年度「教員海外産業教育事情研修」報告 —スイス職業教育制度の現場視察調査研究—

東京都立六郷工科高等学校長 佐々木 哲

1 はじめに

平成30年11月4日から10日までの7日間、公益社団法人産業教育振興中央会主催の平成30年度「教員海外産業教育事情研修」としてスイスチューリッヒを訪問した。この研修は全国の農工商家庭水産福祉の専門教科教員が海外研修を通して産業教育の充実に寄与することを目的としたもので、今年度は全国から9名が参加した。そこで我々はスイスの職業教育制度の中核を成すデュアルシステムについて理解を深めることとした。



2 訪問先の状況

スイスは連邦国家であり、ドイツ語、フランス語、イタリア語の言語圏が重なり合いながら存在し、州（カントン）政府が教育行政の権限を有するが、さまざまな全国的調整機関が設置され、州の間における教育指導計画に著しい差が生じないよう、また越境した生徒や学生が不自由しないような仕組みづくりに、長年かけて取り組んできた歴史がある。また、教育機関の95%は公立であり、地域における言語、民族、文化の異なる生徒が同じ学校に通うことで国家の社会的統合が図られ、職業との連結においても、資源に乏しい小国スイスの内需を支え得る人材育成のために、国内企業が教育界と協力して職業教育訓練の仕組みづくりに取り組んでいる。

3 研修日程及び概要

- ・11月4日（日） 結団式（成田空港）
- ・11月5日（月） 行政機関 訪問
スイス連邦職業教育訓練研究所 訪問
チューリッヒ市キャリアセンター 訪問
- ・11月6日（火） 学校訪問
ギムナジウム
Kantonsschule Zurich Nord 訪問
ギムナジウムと中等職業専門校
Berufsfachschule Uster
Wirtschaft und Technik 訪問
- ・11月7日（水） 企業訪問
デュアルシステム見学
REISHAUER 社（機械メーカー） 訪問
KUKA SWISSLOG 社（物流ロボ） 訪問
- ・11月8日（木） 学校訪問
中等職業専門校
Berufsfachschule BBB 訪問
- ・11月9日（金）～10日（土） 解団式（成田空港）

4 スイスの教育制度概観

スイスでは、6歳から7歳のほとんどの生徒が、1～2年間の幼児教育の後に小学校に入学する。

スイスの学校教育は、全国に26あるカントン（州／準州）が所管するため、一つの国に26の異なる教育制度がある。義務教育機関や学制についても州ごとに異なる。例えば義務教育期間は、ベルン州では9年間、チューリッヒ州やバーゼル・シュタット準州では11年間となっている。また、スイスは多言語国家であることから、ベルン州では5年次からフランス語、7年次から英語の学習が始まり、チューリッヒ州では2年次から英語、5年次からフランス語の教育が始まる。スイス、

フランス、ドイツ三国の国境が接するバーゼル・シュタット準州では、フランス語と英語の教育は、言語圏により開始時期が異なる。このようなカントン間の教育制度の違いは見直されつつあり、現在、多数の州政府が、教育制度の共通化に取り組んでいる。一般の生徒は普通中学校に進学し、小学校での成績が非常に良い生徒向けに高等学校準備コースが設けられている。一方で、勉強が非常に不得意な生徒向けには実務中学校と呼ばれる職業訓練に進むことを前提とした前期中等教育機関を設けている州もある。大別すると、中学校または実務中学校を卒業した生徒の約2割は、大学進学を目的とする Gymnasium と呼ばれる普通高等学校に進学するが、大多数は、2～4年間の見習い訓練を含む職業訓練学校か、または中等職業専門校の何れかに進学する。職業訓練学校と中等職業専門校では入学後ただちに職業選択準備が始まり、それぞれの職業内容に沿った授業を行い、保護者と職業カウンセラーを交えて進路を決定していく。Gymnasium において、大学入学資格マトゥーラ（Matura; Gymnasium 卒業試験合格証）を取得した生徒には、一般大学、専門大学、高等職業教育など高等教育への道が開かれる。

5 職業教育制度の中核であるデュアルシステム

後期中等教育段階の職業教育は、職業訓練学校で行う見習い訓練（デュアルシステム）、中等職業専門校でおこなわれる教育の二つの形態に分類することができる。職業教育の大部分を占めるのはデュアルシステムで、ほぼ全職業分野で訓練形態の核となっている。義務教育終了後、職業の道を進むことを選んだ生徒は、希望の職種を決めなければならない。職種を選んだ後に、訓練席の確保、訓練契約と進むがこれには一定の時間を要する。中学校卒業の2年前から職業に関するガイダンスが始まり、保護者会、懇談会、個人訪問などを通じて職業選択が行われていく。また学校外では、公私によって運営される職業カウンセリングが、職業選択や継続教育に関する支援を幅広く行っている。連邦の規定により、各カントンには職業教育行政部門が存在しており、職業訓練に関

する情報の提供や指導者コースの開催などを取り仕切っている。様々な情報を通して進路を決定した生徒は、希望の職種を扱う事業体に願書を提出する。この時期が大体、卒業から1年前となる。

訓練期間は職種に応じて3年から4年におよび、事業所における実習と職業訓練学校での座学から成っている。課程修了時には見習い訓練先企業及び学校の両方で試験が行われ、この試験に合格すると連邦能力取得証明書（EFZ: Eidgenössische Fähigkeitszeugnis）及び成績表、ならびに訓練期間中の職務証明書（Arbeitszeugnis）が授与される。なお、職業訓練学校を2年で修了する基礎的な職業能力を身につけるためのコースもあり、2年で修了して審査（一般的に試験ではない）に合格した者には連邦基礎訓練修了証明書（EBA: Eidgenössische Berufsattest）が授与される。この2年のコースにおける見習い訓練では企業と訓練生との契約はなく、非正規の見習い訓練と位置付けられている。もう一つの訓練形態である中等職業専門校（FMS: Fachmittelschule）は学校で実習と座学が行われる形態である。

6 まとめ

スイスの人口は830万人、資源に乏しい小国スイスの内需を支え得る人材育成は国の最重要課題である。そのために、国内企業が教育界と協力して職業教育訓練の仕組みづくりに取り組み確固とした職業教育制度が確立している。

訪問先企業であるREISHAUER社のRaymond氏によれば、見習い訓練（デュアルシステム）の4年間は約600CHF（7～8万円）の月給を支払い、5年目で正社員になれば月給は一気に5000CHF以上、10000CHF（120万円）を超える20歳代の職人も珍しくないという。その為技術・技能の向上も早く、見習い訓練2年目位から一部製品を任せられるようになるため売り上げが訓練費用を上回るという。加えて見習い訓練生が正社員として残る歩留りは90%以上である。ものづくり企業の人材確保策としてデュアルシステムが十分に機能していることが分かる。今後、東京版デュアルシステムの更なる発展に活用する。



平成29年度「キャリア教育優良学校」 文部科学大臣表彰を受賞して

東京都立農芸高等学校長 小堀 紀明

1 はじめに

本校は明治33年に中野町他13ヶ村組合立農業補習学校として設立された。昭和25年に東京都立農芸高等学校と校名を変更し今年で開校118年を迎える都内で最も歴史ある農業の専門高校である。現在は、全日制課程に園芸科学科3学級、食品科学科6学級、緑地環境科3学級、定時制課程に農芸科4学級の合計16学級を設置している。

生徒の現状として①大学等上級学校への進学希望者が年々増加している。②クラス・校内での人間関係を構築することはできるが、積極的に人間関係を築いたり外部との交流を図ったりする生徒は少ないことが挙げられる。

この現状を踏まえて、①基本的な生活態度、基礎学力を身に付けさせる。②基礎学力の向上を図る。③実行力、適応力、コミュニケーション能力を育成する。④職業観、勤労意欲、向上心を育成するの4点をキャリア教育の目標として教育活動を行っている。

今回は、学校経営計画の中で、目指す学校像を「農業・食料・環境に関する教育を通じて、地域や社会に貢献する」と位置づけ、専門的技術と科学的態度を身に付けた明るい社会づくりに貢献できる人材の育成に取り組んだ。これらの取組が評価され、平成29年度キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰を受賞したので報告する。

2 取組内容

キャリア教育の取組の具体例を紹介する。

(1)「理数研究校」としての取組

東京都では、理数に興味・関心をもつ生徒の裾野を拡大するとともに、優れた素質をもつ生徒の発掘とその才能を伸ばすため理数研究校として

24校指定し、東京都の理数教育の更なる充実を図っている。本校は、平成27年度から平成29年度の3年間指定を受け特徴ある取組を行った。

平成29年度は「ムラサキソウの研究」成果について発表した。

園芸科学科で、平成27年度から地域の方と連携してムラサキソウの復活プロジェクトに取り組んでいる。ムラサキソウは、本校のある杉並区や三鷹市周辺で自生し染料として利用されてきた植物である。しか

し、化学染料の開発普及に伴いムラサキソウの染料としての価値は薄れ絶滅危惧種に指定されるまでの希少植物となった。ムラサキソウ復活プロジェクトでは、本校の特徴を生かしてムラサキソウの栽培方法の研究を重ね、発芽試験や筒栽培に加え昔ながらの紫根染に取り組むことで、探求心や科学的思考の育成を図った。平成30年度も理数研究校の指定を受けている。

(2)「土曜日の教育支援体制等構築事業」の活用



和菓子技術講座

「土曜日の教育支援体制等構築事業」として平成28年度から3年間継続の指定を受けている。取組内容としては、平成28年度に馬術体験講座とバイオテクノロジー講座、平成29年度に和菓子技術講座を実施した。これらは、各自の知識技術の深化を図るとともに、その道のスペシャリストから直接学ぶことで職業としてのイメージを具体



科学の祭典

化させることに有効である。平成30年度は製パン技術講座を実施している。

(3) 進路指導の充実

生徒が自分の希望する進路が実現できるよう、2年次までに夏季休業日を活用して専門分野でのインターンシップを実施している。3年次では、就職試験や進学に向けて全教員が分担しての面接指導を実施するとともに特別講座を開講している。各学科の日頃の学習成果の達成度を確認するために資格取得の推奨をしている。資格取得についても、土曜・長期休業日に資格取得のための特別講座を開講している。平成29年度は特別講座を38講座開講した。

(4) 特色ある学校設定教科・科目の設置

科目「国際農業」は、英語科の教員が担当し、開発途上国などの農業事情、援助など生徒に新たな視点で農業を考える指導を行っている。

また、本校は都立高校で唯一の馬術部があり、東京都教育委員会からスポーツ特別強化校の指定を受けている。これらを活用して馬の飼育・管理を通して、生命の関わりや馬術競技の方法などを体験的に学習する、科目「馬術文化」を開講している。さらに、「馬術文化」を学習している生徒が中心となって地域の小学校と馬のふれあい事業を行っている。



「馬術文化」の授業風景

これらの取組は、生徒の視野を広げることにつながっている。

(5) 幅広い活動におけるキャリア教育への取組

本校緑地環境科は、3年間の集大成として、クラス全員で3年の4月から11月の文化祭までに卒業庭園を制作している。設計、施工、完成までの経過をまとめたものを東京都建設系高校生作品コンペティションに出展している。平成27年度は、東京都建設系高校生作品コンペティション2015会長賞を受賞している。平成28年度は第27回全日本高等学校馬術選手権大会優勝（馬術部）、第67回日本学校農業クラブ全国大会農業鑑定競

技会優秀賞（食品科学科）、第44回毎日農業記録賞優良賞受賞（園芸科学科）等の実績を挙げた。

(6) 日常の活動の充実

全日制では、地域との交流活動や社会貢献活動として、阿佐ヶ谷駅前花壇の制作、介護老人施設でのボランティア活動、井草中学校区連携事業（小学生）、都民広場前花壇制作、地元小学生馬とのふれあい体験等の活動を通年で実施している。

定時制では、点字図書館の見学や視覚障がい者の方々との交流、講師を招いての手話教室など障がいのある方の理解について学ぶ機会を作っている。定時制の生徒は、野外での活動に消極的な生徒も多いが、ボランティア活動に取り組む中で、成長が感じられる。

様々な人との交流をとおして互いに認め合い、社会で共生していくことの大切さを指導している。

3 成果と課題

今回の取組の成果としての第一は、生徒を育てるにあたって、「生徒に何を体験させるか」、「生徒は何ができるようになったのか」、「生徒の達成感はどうか」など、常に生徒が主体的に活動できるよう生徒へのフィードバックを考えながら指導することの重要性の共通理解が教員に深まったことである。

第二は、教職員が「オール農芸」を意識して取り組むことでそれぞれの取組が相乗効果を生み、結果として生徒一人一人が自分のキャリアについて考えることにつながったことである。

第三に、学校経営計画にキャリア教育の取組を位置付け、継続的かつ重点的に取り組んできた取組が外部から認められ、このような賞を受賞できたことである。外部からの評価は、日頃の教育活動の自信につながった。

今後の課題としては、現在の本校における教育活動を平成30年3月に告示された新学習指導要領の内容に沿った指導に改善し、AIやスマート農業、外部認証等に対応できる「新しい農業」及び「新しい農業関連分野」において活躍できる生徒を育成することだと考えている。



第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 東京大会報告

東京都立忍岡高等学校長 岡島 まどか

1 はじめに

第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会が、平成30年7月26日(木)・27日(金)、文京シビック大ホールにおいて、延べ2786名の参加者を迎えて盛大に開催されました。東京での開催は、前回の昭和40年以来53年ぶり、5回目の開催となりました。

全国高等学校家庭クラブ連盟は、家庭科を学ぶ高校生(クラブ員)を会員として、1425校約24万2千名が加盟している教育組織です。クラブ員は、家庭科で学んだ知識・技術を生かしながら、家庭や学校、地域社会の生活の充実向上を図る様々な活動に取り組んでおり、その活動は各方面から高く評価されています。

本大会は、全国の高等学校家庭クラブを代表するクラブ員、管理職、教員、指導主事等が参加し、日頃の研究や実践活動の成果を発表するとともに、情報交換などを通してクラブ員相互の交流を深め、家庭科教育を一層推進することを目的として毎年開催されています。また、開催地の生徒たちが主体となって運営されることも大きな特徴です。



開会式

2 大会運営方針と実行委員会

大会の運営に当たっては、3年前より東京大会実行委員会を立ち上げ、全16回の委員会を重ねました。まず、研究発表大会における研究活動の発表、及び連盟総会を円滑に運営し、大会を成功させるため、次の運営方針を定めました。

- (1)「創造・勤労・愛情・奉仕」の家庭クラブ精神を柱として、クラブ員の自主性を生かした、クラブ員相互の交流の場となる大会運営を目指す。
- (2)クラブ員の意識高揚を図るとともに、地域社会との連携や協力を深め、家庭クラブ活動の活性化と充実向上につながる大会となるよう努める。
- (3)各専門部会は綿密な計画を立て、クラブ員と顧問教師が一致団結し、大会を円滑に運営できるよう万全を尽くす。

組織作りにあたっては、東京都高等学校家庭クラブ連盟主催、東京都教育委員会共催、各教育団体が後援となり、都立専門高校の協力と産業界の支援も得ながらオール家庭科体制を作り上げることができました。

3 日 程

- (1) 役員会 小ホール

平成30年7月26日(木)

- (2) 研究発表大会及び総会 大ホール

【第1日】平成30年7月26日(木)

オープニング 都立新宿高校ファミリーデイング部
開 会 式

研究発表「ホームプロジェクト」7校
生徒交流会 オリパラ音頭2020

【第2日】平成30年7月27日(金)

総 会

研究発表「学校家庭クラブ活動」7校

アトラクション 都立白鷗高校和太鼓部
F H J スカラシップ留学生報告
全国連盟事業報告
講 評、審査結果発表、表彰
閉 会 式



ポスターセッション(ホワイエ展示)

4 スローガンとポスターの東京大会への思い

スローガン「東京発 希望の切符を携えて 夢に向かって走り出せ」

東京は日本の首都であり、世界でも有数の都市です。更に先人から伝わる日本文化と多くの技術革新とが融合された都市でもあります。このスローガンには、次世代を担う私達一人ひとりが希望という切符を持って、将来の進路に向かって皆で一緒に頑張っていこうという願いを込めました。

(東京都立白鷗高等学校 柴田 紗苗)

ポスター原画 最先端

の高層ビル群の間に東京の代表的な建築物である東京タワーや東京スカイツリー、そして江戸の文化を伝える浅草雷門などを描きました。東京の賑やかで洗練された雰囲気を出すために全体的にカラフルな色彩で、スタイリッシュに仕上げました。新幹線がたくさんの希望を寄せ、未来に向けて東京を出発しているイメージを表現しました。

(東京都立工芸高等学校 若林 真由)



5 生徒実行委員会と生徒交流会

東京大会の運営を担う生徒実行委員会は、3年前の夏から結成され、H28 福島大会、H29 長崎大会の視察による各県連生徒の素晴らしい対応と心のこもったもてなしの態度から、東京大会においても「東京らしいおもてなし」を合言葉に、マナー講座や会場準備を行い、2日間で1247名が参加しました。生徒交流会では、2年後のオリンピック・パラリンピックの開催をふまえ「オリパラ音頭 2020」を全国のクラブ員と共に踊り、オリパラ教育の成果を全国に発信することができました。



生徒交流会「オリパラ音頭 2020」

6 まとめ

多くの準備を重ね、生徒と共に作り上げてきた東京大会は、大きな感動と充実した内容の中で、盛会のうちに終了することができました。

今大会は、前回を上回る規模となり、さらに、教育委員会、教育団体、教育関係企業から約150名の来賓がありました。このことは、本大会への期待と注目を感じるとともに、その成果を広く発信し、活動への理解を深める機会となりました。

これからも学校家庭クラブ活動をますます推進し、全国大会における優れた研究成果の共有を通して、主体性をもって人生を切り開いていく力や問題を発見し、答えを生み出し、新たな価値を創造していくための資質・能力の育成に取り組んでまいります。

最後に、本大会にご支援ご協力をいただきましたすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。



第16回 創造ものづくりフェア in TOKYO

東京都中学校技術・家庭科研究会事業部長

台東区立駒形中学校長 瀬川 真也

創造ものづくりフェア in TOKYO は、東京都内の中学校に通う生徒が、技術・家庭科の学習で身につけた、ものづくりの技や知識を競い合い、ものづくりの意義を理解するとともに、互いの創造性を伸ばす場として開催している。その概要は、以下のとおりである。

1 主催 東京都中学校技術・家庭科研究会

2 後援 東京都教育委員会

東京都産業教育振興会

東京都中学校長会

3 日時 平成30年11月10日(土)

平成30年11月24日(土) 食部門

4 場所 台東区立駒形中学校

女子栄養大学(食部門)

5 対象者 東京都内中学校に通学する中学生

6 内容

(1) 全国中学生創造アイデアロボットコンテスト東京地区予選(基礎部門・活用部門・応用部門)

(2) 「木工チャレンジコンテスト」東京予選

(3) 「豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール」東京地区予選

(4) 「あなたのためのおべんとうコンクール」東京地区予選

(5) 生徒作品コンクール東京地区予選

(6) 東京都中学校ロボットコンテスト(二足歩行ロボット格闘部門)

7 開催へ向けて

創造ものづくりフェア in TOKYO も16回を数え、常連校が定着すると同時に新たな参加校も

あり、裾の広がりを感じる。毎年ながら会場校の校長先生をはじめ先生方には多大なるご理解とご支援をいただいていた開催である。今年度は昨年度同様に主開催会場を台東区立駒形中学校として実施された。駒形中学校会場は、立地の良さと関係する教員の実績と経験が活かされ、会場への機材搬入等準備を順調に進めることができた。また、作品展の事前搬入や当日の会場準備にも会場校との事前打ち合わせを重ね、スムーズに開催へ向けての準備が進められた。今年度も会場日程調整の結果、食部門と日程を分けての開催となった。

生徒作品コンクールは、各地区で選ばれた作品が会場校へ送られてきている。当日持参分も含めて完成度の高い作品100点が展示され、会場を多いに賑わせていた。

なお大会運営は、東京都中学校技術・家庭科研



生徒作品展

究会事業部を中心に駒形中学校会場40名、女子栄養大会場で20名の体制で進められた。

8 開催結果

今年の参加者は、見学の保護者を含めると両会場併せて500名を超えた。その内訳と各部門の内容は次のとおりである。



調理風景(女子栄養大)



＜関東甲信越大会に向けての予選大会＞

○「創造アイデアロボットコンテスト」

基礎部門：中学校技術・家庭科の授業においてカム・リンク機構を利用した歩行型ロボット（キットを改良したロボットでも参加できる）を題材とし



て学習を履修した作品部門である。授業での取り組みを想定して、モータ2個3Vまで使用したロボットで、制限時間内に与えられた課題を解決する対戦型の競技である。タイトルは「BASIC DIVISION 2018」、25チームの生徒達が参加した。活用部門：中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を組み合わせる製作された生徒作品の部門である。モータは4個3Vまで使用でき、制限時間内に7箇所の突起物にブロックを入れあう競技である。タイトルは「Pile up a Block」、36チームが参加した。

応用部門：教科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されるロボットの部門で、競技内容はコート中央にばらまかれたアイテムを自陣ゴールに集める競技である。センサなどを利用したロボットによる1対1の対戦型競技で、モータは6個6Vまで使用可能である。タイトルは「復興への願い」、5チームが参加した。

○当日示された設計図により、決められた大工道具や木工機械を正しく使用し、寸法通り正確に作品をつくる「木工チャレンジコンテスト」には各地区から選ばれた13名が参加した。



○「生徒作品コンクール」には、各地区で選ばれた技術分野と家庭分野で、授業内・授業外部部門の合計100の作品が参加した。今年度も力作・大作が数多く出品された。

○「あなたのためのおべんとうコンクール」は、レポートと写真の応募作品57チームが事前の審査を経て、当日の本大会は20チームが参加した。○「豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール東京地区予選」では事前選考の4校19作品の参加であった。

＜東京都ロボットコンテスト＞

◇東京都独自として実施したロボットコンテストは、モータ2個を使った格闘型のロボットで、生徒の関心の最



も高い競技である。この競技は900mm×900mmのリングで2足歩行ロボット同士が相撲をとる競技である。86チームが参加した。

9 成果と課題

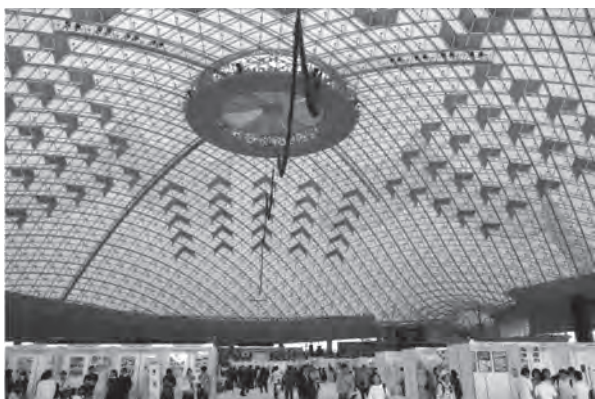
創造ものづくりフェア in TOKYO 全体としては、参加生徒もここ数年一定数おり、中学生の技術・家庭科に対する関心・意欲を喚起し、関係諸機関の認識も深められていると捉えている。参加生徒数は全体として昨年度と同程度であり、各校現指導要領下での指導計画・実践も定着してきたものと考察できる。しかし、部門によっては参加校や参加チームが減少しており、今後ルール等をさらに工夫改善して、ものづくりの楽しさや魅力をいかに実感させるかが課題である。来年度のものづくりフェアに向けて、さらに魅力的な事業となるよう授業時数を踏まえたルールや運営方法等を改善することにより、興味・関心・意欲を一層高め参加者を増やしていきたい。開催会場の台東区立駒形中学校、女子栄養大学のご理解、そして東京都教育委員会、東京都産業教育振興会、東京都中学校長会から表彰状をいただいたことは、フェアの盛り上がりと充実に結びついており感謝申し上げる。



第28回全国産業教育フェア山口大会「明治150年プロジェクト」 さんフェア山口2018

事務局

第28回全国産業教育フェア山口大会(さんフェア山口2018)は、10月20日(土)、21日(日)の両日、山口きらら博記念公園多目的ドームの他3会場で開催された。



1 基本理念

将来の社会や産業界を担う人材の育成と産業教育の一層の充実・発展に向けて、専門高校等の特色ある教育活動の魅力とともに生徒一人ひとりが活躍する姿を「明治維新胎動の地」山口県から全国に発信する。

2 基本方針

【立 志】

全国の専門高校生等が志を立て、目標に向かって主体的に学び続け、実践する力を育む。

【至 誠】

グローバル化、情報化が進展する中、全国に向けて、一人ひとりが真心をもって、産業教育の魅力伝える。

【先 駆】

地域、学校、産業界がつながりを大切にし、課題を解決しながら産業教育の未来を爽快に切り開く。

3 キャッチフレーズ

繋げよう 未来のかけ橋！ 維新の地 山口から

4 東京都産業教育振興会会員校の出席

【作品展示】

○都立田無工業高等学校：

パラリンピック種目「ボッチャ」競技用補助具(ランプ)製作の取組



写真は会場で説明にあたっていた田無工業高等学校の生徒である。自ら関わっていないとわからない細かな工夫や改良を丁寧にわかりやすく説明していた。まぎれもなく、技術屋さんである。

○都立芝商業高等学校：

模擬株式会社「芝翔」の取組

○都立荒川商業高等学校：

荒川商業模擬株式会社レガロ工房の広告企画

○都立新宿山吹高等学校：

新宿山吹—S T Project

【意見・体験発表】

○都立新宿山吹高等学校：

情報科の学びを通して

【スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業発表会】

○都立新宿山吹高等学校：ポスター展示

【専修学校ブース】

○日本工学院専門学校

5 参加を通して

会場内のどの学校の生徒も、同様に実践に裏付けられた自信ある顔つきで参加していたことが強く印象に残っている。

第 60 回 全国産業教育振興大会（山口大会）

期日：平成 30 年 10 月 20 日（土）

会場：ホテルかめ福「紅梅の間」

主催：全国産業教育振興会連絡協議会

公益財団法人産業教育振興中央会

次 第

- 1 開会の言葉
全国産業教育振興会連絡協議会常務理事
富岡 逸郎
- 2 国歌斉唱
- 3 挨拶
全国産業教育振興会連絡協議会副会長
杉江 和男
山口県産業教育振興会会長 安部 研一
- 4 来賓挨拶
参議院議員 自由民主党 赤池 誠章
文部科学省初等中等教育局長 永山 賀久
山口県教育委員会教育長 浅原 司
- 5 講演
演題「自分でやったからこそ見えた伝統産業の可能性」
講師 永山 貴博
(株式会社永山本家酒造 代表取締役兼杜氏)
- 6 大会決議文協議・採択
全国産業教育振興会連絡協議会理事長
西澤 宏繁
- 7 次期開催県挨拶
新潟県産業教育振興会常任理事 内野 信昭
- 8 閉会の言葉
山口県産業教育振興会理事 岩本 武久



講演



大会決議文協議・採択

【講演要旨】

講師は古くから続く山口の酒蔵の跡取りとして生まれ、若いころには日本酒の古臭いイメージから、酒造以外の道を探して海外へ留学した。その際に会った人々の教えから、「まずは自分がやらないと」を信念に、酒造の経営者でありながら日本酒の製造を学び、経営者自らが杜氏として酒造りにかかわることで「山口の日本酒ブランドの確立」を行っている。杜氏としては先代との葛藤、ものづくりに対するこだわりの違いを乗り越え、山口の酒造業界全体を巻き込んだ新たなブランディング戦略を確立した。

製造業における人材育成とは、「経営者・リーダーが自ら資格や勉強を通じて「やってみる」ことで、チームがついてくる」「背中で語れるようになる」という言葉が非常に印象的だった。

【大会決議文協議・採択】

新しい時代にふさわしい専門高校、産業教育の一層の充実・振興を期するための下記決議文のとおり、大会決議を行った。この決議文については、文部科学省をはじめ関係する機関等へ提出された。

【大会決議文】

決 議

農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）は、職業に必要とされる専門的な知識、技術・技能を身に付けた有為な人材を輩出することにより、我が国の社会や産業の発展に大きく貢献してきた。

今日、グローバル化の進展や技術革新が進む中、世界は大きく変化するとともに、産業の国際的な競争も激しくなっている。一方、国内にあっては、急速に進む少子高齢化による生産年齢人口の急減、深刻な人手不足、また、地方から大都市圏への人口流出による地域経済の縮小など、我が国の将来にとって大きな課題を抱えている。我が国が、世界と伍し、将来にわたって発展・繁栄し豊かな社会を築いていく上で、専門高校には重要な役割と大きな期待が寄せられている。

「全国産業教育振興会連絡協議会」では、全国の専門高校生による「第28回全国産業教育フェア山口大会」にあわせ、産業界と教育界の強い連携のもと、「第60回全国産業教育振興大会」を開催し、我が国が将来にわたって力強く成長・発展し、豊かな社会を築くため、専門高校のより一層の充実・発展に全力を傾け、次の事項の実現に向けて取り組むことを決議する。同時に、国及び地方公共団体等におかれては、我が国の持続的発展の基盤である専門高校の充実に格段の御理解と御支援をお願いする。

- 一、新学習指導要領の趣旨を実現するために欠かせない教育用施設・設備の計画的な整備と充実、少人数指導を可能とする教職員定数の改善、専門教科担当教職員の養成・採用・研修等の充実、社会人実務経験者の積極的な任用など、専門高校における教育実施体制の充実。
- 一、地域や企業、関係機関との連携などの特色ある教育活動、資格取得等のための検定試験、各種発表会やコンクールなど、専門高校生が取り組む活動への支援。
- 一、就職における採用枠の拡大、地元企業等への雇用機会の拡大、女子採用の促進など、専門高校生の就職への支援。
- 一、専門高校での学びを積極的に評価できる大学入学者選抜の実施・拡大、専門高校での学びを深化させるための専門職大学・短大の設置・促進、高等学校専攻科からの大学等への編入学の積極的受入など、専門高校生の進学機会の拡大。
- 一、高等学校専攻科生に対する奨学金制度の創設をはじめ、専門高校生の保護者の経済的負担軽減を図る就学支援の充実。
- 一、専門高校について理解・啓発を図る「全国産業教育フェア」等への支援、中学校における技術・家庭の免許を持った教員の配置、専門高校と小・中学校との連携した取組の推進とその支援。
- 一、小・中学校や高等学校における職場体験活動やインターンシップ活動等の体験活動を取り入れたキャリア教育の一層の推進とその支援。

以上決議する。

平成30年10月20日

第60回全国産業教育振興大会（山口大会）

報 告

平成 30 年度 総会・講演会 報 告

平成 29 年度総会・講演会を 6 月 28 日（木）午後 2 時から、全商会館 3 階中会議室において開催しました。

来賓として公益財団法人産業教育振興中央会専務理事富岡逸郎様、東京都公立高等学校長協会副会長の渡邊隆様（東京都立蔵前工業高等学校長）、東京都中学校長会会長の小澤雅人様（杉並区立阿佐ヶ谷中学校長）をお迎えし、出席者は 49 名でした。

開会にあたり、西澤宏繁会長、常任理事の江藤巧都立学校教育部長から挨拶がありました。

続いて、来賓の富岡逸郎様、高石公一様、小澤雅人様からご挨拶を頂きました。

次に西澤宏繁会長を議長として議事に入り、事務局から次の 9 件の議案を提案いたしました。

- ・報告事項 (1) 平成 30 年度 会長、副会長の選任結果について
- ・報告事項 (2) 平成 30 年度教育庁内の東京都産業教育振興会役員について
- ・報告事項 (3) 平成 30 年度産業界会員功労者（永年会員）の表彰について
- ・第 1 号議案 平成 29 年度事業報告（案）
- ・第 2 号議案 平成 29 年度決算書（案）
- ・第 3 号議案 平成 29 年度監査報告
- ・第 4 号議案 平成 30 年度東京都産業教育振興会役員（案）
- ・第 5 号議案 平成 30 年度事業計画（案）
- ・第 6 号議案 平成 30 年度予算書（案）

審議の結果、各議案とも原案通り承認されました。

総会資料は会員企業、学校等に配布済みです。

本年度の役員を紹介いたします。

会 長 西澤 宏繁（留任）

副 会 長 金子 昌男（留任）

同 小林 治彦（留任）

同 渡邊 隆（新任）

（東京都立蔵前工業高等学校長）

理 事 長 中井 敬三（留任）

常任理事 江藤 巧（新任）

同 星 政典（留任）



挨拶する西澤宏繁会長

議事終了後、産業界会員功労者（永年会員）の表彰式が行われました。本年度の表彰企業は次の 3 社でした。（五十音順）

浅地事務所

株式会社竹尾

株式会社日本化薬東京

当日ご出席いただきました浅地事務所代表の浅地正一様に、西澤会長から表彰状と記念品が手渡されました。浅地様からはお礼の言葉が述べられました。

表彰式終了後、講演会を開催いたしました。講師は明和製紙原料株式会社代表取締役会長の小六信和氏で、演題は「情熱！古紙リサイクル授業—紙はゴミじゃない！」でした。参加者は 49 名で、熱心に講演に聞き入っていました。（講演要旨は 44 ページから 55 ページに掲載）



講演会・講演要旨

情熱！古紙リサイクル授業—紙はゴミじゃない！

講師：小六 信和 氏

明和製紙原料株式会社代表取締役会長



ただいまご紹介をいただきました明和製紙原料株式会社の小六信和と申します。

今日は総会の後の講演会にお招きいただきまして、本当に光栄です。ありがとうございます。

今、司会の方からご紹介いただきましたけれども、私は小学校から中、高、大、あとは老人大学から公民館まで紙のリサイクル授業をさせていただいています。今日は学校関係者の皆さんの前で、素人が授業というのはおこがましいんですけども、実際に現場で授業をやらせていただいていますので、前半は高校にお邪魔したときに、生徒さんの前で実際に私が授業をさせていただく内容をそのまま再現をさせていただきます。そして最後の方で、なぜ私がこんなことを二十数年間やってきているのか、今後どういう方向を目指しているのかということを先生方にお聞きいただきたいと思います。ちょっと長丁場ですけど、よろしくお願いします。

それですね、小学校から高校までいろんなところに行きます。大体、私の名字が変わってしまって、小六と書いてコロクと申します。私、小学校1年生の入学式の日にはコロケというあだ名を

もらいました。だから、私、小学校や中学校にお邪魔しましても、コロケ先生と呼んでくださいねとお願いをします。ここからもう皆さん方は高校生の気分になっていただきます。

コロケ先生は岡山県岡山市からやってまいりました。新幹線に悠々と乗ってきたんですよ。コロケ先生は、自分で言うのも恥ずかしいんですけど、実は紙のリサイクルの仕事を35年もやっているんです。だから、紙のリサイクルのことでちょっとしたプロなんです。

コロケ先生が何を言いたいかというと、プロが皆さんに100分間、紙のリサイクルの話をしますから、100分後には君たちは間違いなくプロになることを保証しますということです。

ではね、これから紙のリサイクルの話をどんどんしていくけれども、皆さんに質問をします。ここに紙がある。では、紙はもともと一体何からつくられているか知っている人。

そうだね。木からできる。コロケ先生、今日、答えを持ってきた。木だ。



さて、しかし、君たちは今、紙は木からできると言った。でもこの子たち似ていますか。似ていないでしょう。色も形も硬さも全然違う。こっち

は頭を打ったらこぶができる。こっちは白くてぺらぺらです。全然似ていない。でも君たちは、紙は木からできると言った。よし、じゃ聞いてみよう。この中で木をどのようにして紙にするか。はい、知っている人って聞くと、ほとんど手が挙がらないんです。紙は木からできることは知識としては知っているんです。でも木をどのようにして紙にするかということを知っている児童・生徒の方はほとんどいない。公民館の大人の方のところに行っても大人の方もご存じでないです。

では、皆さん、この子、ガリガリバタンとぶった切って、このままではどうにもならない。じゃ、次にこの子をどうするかというと、実はチップという機械にゴロンと入れて、将棋の駒ぐらいの大きさに砕くんですよ。それをチップといいます。

次にチップをどうすると思いますか。煮るんです。大きなお鍋の中にざっと入れて、お湯をどぼどぼと入れて、おでんやカレーのようにコトコト煮るんです。チップを煮てやると、チップの中にお湯がずっと浸透して行って、皆さんの髪の毛と同じような細い繊維というものに分解される。

この繊維を取り出したものをパルプといいます。そしてパルプを水の中にドボンと入れ、がっとかきまぜるとパルプは水の中を泳ぐ。パルプが泳いでいる水を網の上にシャワーのように吹きつけてやりますと繊維は長さが長いので網の上に残ります。このように水だけ下から抜ける。次に、網の上に薄く広がって残った繊維をはがして、乾かすと紙になる。さっき紙は木からできていると言ったけれど、正確には木の繊維からできている。だから、この紙、薄くてのっぺらぼうでつるんとしているように見えるけど、実は繊維と繊維が絡まっている。電子顕微鏡で見ると繊維と繊維が絡まっているのが見えます。

電子顕微鏡がない人が調べたいと思ったら紙を破る。そして紙の破れ目をお日様にさらしてみると、紙の破り目に細い繊維が見えます。これが紙は木の繊維からできているという証拠です。紙は

木の繊維からできているということを覚えてください。

次の質問です。この地球の上に人間が一体何人住んでいるでしょうか。地球の人口は、大体73億、74億と言われています。その73億、74億の人間が毎日、大量に紙を使うんです。テスト用紙、教科書、画用紙、習字の半紙、プリント、お札、切符、トイレットペーパー、ティッシュペーパー。日本人が寝ているときは、地球の裏のアメリカ人、ブラジル人が使っている。この地球上で73億人の人間が毎日大量に紙を使うので、紙が必要だから木を切れ、ガリガリバタンとぶった切っていると、そのうち木がなくなってしまう。切った後、植えればいい、植林だと言うけれど、木は朝顔みたいに春に植えたら夏にぼんと咲くものじゃないのです。木は、速いものでも大きくなるのに10年、遅いものでスギとかマツだったら30年かかるんです。だから、幾ら植えても間に合わない。

でも紙は必要です。この地球上から万が一、木がなくなったらどうなるかみんな知っていますか。高校生だったら、木がなくなったら人類は滅びる、僕たちは呼吸ができなくなる、地球が温暖化するなど、いろんな答えが返ってきます。そうなのです。人間も豚もキリンもパンダもゾウも酸素を吸い込んで二酸化炭素を出している。ところが木は、人間や工場の煙突や自動車の排気ガス、吐き出した二酸化炭素を一生懸命吸い込んで人間や動物に必要な酸素をつくり出してくれる。

だから、人間が、紙が必要だから、お家を作るからと木をどんどん伐採して行ってしまったら木がなくなる。木がなくなるから、次に酸素がなくなる。酸素がなくなったらみんな死ぬ、これは紛れもない事実です。だから、僕たちは一生懸命木を残していかなければいけない。僕たちのためにも、君たちの子供たちのためにも、君たちの孫たちのためにも、この地球上の森林資源、木を何とか大事に残していかなければいけない。

ところが紙は必要なんです。何千年も前から紙

は必要だ。紙は必要だけど木は残したい。どうしようか人間は考えました。一度要らなくなった使い終わった紙を新しい紙に戻すことができれば、木が助かるんじゃないかと。そして人間はやってみました。奈良時代に紙が中国からやってきて、古紙のリサイクルは大昔の平安時代から始まっているんです。だから今、非常に森林資源が保護されるようになったわけです。

では、次の問題です。皆さん、樹齢30年、高さ20メートル、太さ25センチの立派な大人の木を1本助けるには古紙は一体どれくらい集めたらよいのでしょうか。実はそんなに要らないんです。正解は50キログラムです。樹齢30年の大木1本救うのに古紙はたった50キログラムでいいのです。50キログラムの古紙っていうと、ご自宅で古新聞とか古雑誌を束ねて、資源回収に出されますが、それを5個から7個集めていただいたら、樹齢30年の大人の木を1本救うことができるのです。

これは小六が作り話をしているのではなくて、日本製紙連合会の発表なんです。それぐらい古紙は木を守る、それぐらい古紙は森林を守る。ところが皆さんがご家庭でごみだってごみ箱にポイポイ捨ててしまったら、その古紙はごみ袋に入れられて焼却場へ行って火がつけられて灰になる。コロッケ先生は古紙のリサイクルのプロですが、一旦、火がつけられて、焼却場で灰になってしまった古紙を紙に戻すことは絶対にできません。だから、古紙を生かすか殺すかは、皆さんが使ったときに捨てるか集めるかにかかっています。ごみ箱にポイと行ったら死ぬ。みんながそれを集めてくれて、ひもで縛ってリサイクルに出してくれたら生まれてくる。君たちは今日から古紙リサイクルのプロだから、この数字を覚えて帰って、ご家族に教えてあげてください。古紙はたった50キログラムで木が1本助かります。

さて、これから実験をします。私が家から持ってきた古紙を使って、これから世界に1枚しかな

い手づくりのはがきをここでつくってみたいと思います。このはがきづくりの実験は、事務局長の多田さんにアシスタントをお願いしたいと思います。

では、コロッケ先生がこれから多田さんにいろんな古紙を渡します。多田さんは、手でそれを大体切手ぐらいの大きさにちぎってこのミキサーの中にどんどん入れてください。



次に、多田さんはミキサーの中に水道水を上から5センチぐらいまでどぼどぼって入れてください。上から5センチだけ空気を残します。ありがとうございます。

次に、多田さんはふたをして、コロッケ先生がスタートと言ったらボタンを押して30秒たったら指を離してください。このミキサーの中で紙がどう変化するか、よく見ておいてください。じゃあ多田さんスタート。はい、ストップ。



小学校ではおおっという感動が来ます。高校でもおおっで反応が来ます。さっきまで紙の形をしていましたが、このミキサーの中で30秒回すこ

とによって、紙は繊維に戻りました。1本1本、繊維に戻って、僕は自由になったと泳いでいるのです。

次に何をするかというと、ここにバケツを用意してもらっています。ここにはがきをつくる道具があるんです。こっちには網が張ってありますが、この網がみそです。そしてこっち側が問題。この何もない木の枠の内側がはがきの形になるんです。網の上にはがきの型枠を乗けて、バケツの上で多田さんに持ってもらいます。



私は水に溶けた繊維をはがきの型枠の中にじゃっと流し込んでいきます。そうすると、繊維は長いからこの網の上に引っかかって残り、水だけ下から抜けます。皆さん、水が落ちるところを見ていただきたい。



こうやって、コロッケ先生と多田さんは、手芸教室みたいなことをやっているけれども、実はこの机の上はミニチュア製紙工場なんです。やっていることは製紙工場さんと一緒です。ただし製紙工場のミキサーはこんなに小さくなく、大体直

径が4メートルから5メートルぐらいあります。でっかいミキサーでがっと古紙を溶かす、その後網に吹きつける、やっていることは全く一緒です。

さあ、コロッケ先生がしゃべっているうちにだんだん水が止まってきています。今繊維がどうなったか、ちょっとはがきの型枠をごそっと抜いてみます。見えますか。こうやって、ヨモギ餅みたいに繊維だけ残っているわけです。



さあ、製紙工場では次をどうするか、プレスバーといってぎゅっと圧縮してしぼります。ただ、今日はそういう機械がないので、タオルとタオルの間に挟んでしぼります。ただ、タオルを直接当てる前にホームセンターに行って網戸の網を買ってきた。網戸の網をまずはがきの上に載ける。そして網の上からタオルをそっと載ける。そして全体をひっくり返してまな板の上に載せる。まな板ごと持ち上げてコロッケ先生がぎゅっと押さえると繊維が残った水を出す。

今どうなったかということ、コロッケ先生に押されたからもうぺったんこ、大分はがきっぽくなってきたでしょう。そして反対側からもネットを置いて、反対側からもタオルを置いて、多田さん、両手を重ねて全体重をかけて押さえてください。

もっと、あちこち、ぎゅっとしっかりと押さえてください。そう上手。



さて、多田さんが力いっぱいしぼってくれたはがきが今どうなったか、途中経過を見てみますと、もう手で持てます。ちょっと持ってみて。少し濡れているでしょう。酒かすのような状態です。この子を最後、アイロンで乾かすんですけれども、アイロンを直接当ててしまうと焦げます。そこで、手拭いの間に挟んで当てていただく。手拭いをまず敷いて、はがきを載せて、上から手拭いをかけて、約2分、こっちの表を2分乾かす。2分経ったかなと思ったら、この手拭いをめくって、はがきだけひっくり返します。また手拭いをかけ、今度は裏を2分、また表に返して2分、そしてまた裏に返して2分、これをずっと繰り返していくわけです。そうすると15分から20分で全体が乾いてきて、全体がおせんべえみたいにかちんかちんになります。そうしたら完成です。最後にここにある郵便番号のハンコをぼんと押しで出来上がりです。



さあ、皆さん、私はこの実験を小学校から公民館や老人大学までどこでもやるんですけど、まず

面白かったのは紙が繊維に戻った、これが1つ目の「あれれ」なんです。今日この中に工業系、農業系の先生がおられればご存じかも知れませんが、今日は全商会館の水しか使っていない。このミキサーに入っているのは水オンリー、のりもボンドも薬品も何も入っていません。ところが、アイロンの下で1本1本ばらばらになっていた繊維が15、6分後にひっついちゃう。紙になる。なぜだ。これが面白いんですよ。木の繊維の物凄い面白い特徴なんです。水しか使っていないのに、15分、20分たって水分が乾いちゃったら、繊維と繊維がひっついて紙になる。

何で水しか使っていないのに乾いたら繊維と繊維がひっつくのか。ご存じの先生もあるかも知れませんが、高校生にはこの話をします。木の繊維は物凄い面白い性質がある。木の繊維だけじゃない、ケナフ、コウゾ、ミツマタ、昔の和紙の繊維だけけど、こういう植物繊維に物凄い面白い性質があって、のりもボンドも何も使わないのに乾いたら水分が蒸発して乾いちゃったら繊維と繊維がひっつくんだ。これ実は超難しい言葉なんですけど、水素結合と言います。多分先生方も耳になじみのある方もおられると思いますけど、多田さんのアイロンの下でこの子たちは木の繊維と繊維の表面の水素同士が握手しようとしているんです。のりづけでも何でもありません。繊維と繊維が絡むわけでもない。もちろん一部それもありますけど、繊維の表面のHとHが握手しようとしているんです。そして紙になった。ところがその紙の部分、 H_2O の中でぴゅっと回してやると、握手していたHとHが H_2O のほうに引っ張られて、HとHがさようならと離れてしまう。だから、水素結合が分離しちゃう。ところがまた水分を蒸発させると現金なもので、繊維の表面のHとHが握手する。だから紙になったり繊維になったり繰り返すことができる。これは木の持っているあるいはケナフの繊維の持っている最大の特徴なんです。皆さんの髪の毛も繊維だし、レーヨンやポ

リエステルも繊維だけど、乾いたらひっついて、ぬれたら離れてなんていう性質はない。

だから、もしこのミキサーの中に大量にドボドボとのりを入れて乾かしたら一度は紙になります。ところが、そのでき上がった紙をよしリサイクルしようということで、もう一遍ミキサーに入れて、水を入れてがっと回してもだめ。繊維と繊維がのりづけされているから溶けないんです。

皆さんの周りのよくのりづけされている紙は紙コップです。あの紙コップをつくるときに製紙工場さんは、大量にのりをドボドボと入れます。だから、紙コップのような紙はもう溶けないです。だから、リサイクルができない。お札もそうです。紙トレイもそうです。ティッシュペーパーもお鼻をちんとかむときに繊維と繊維が鼻の頭でばらばらになっちゃいけないから、ティッシュにもりが入っている。だから、駅のトイレに備えつけの紙以外流すなと書いてあるのは、ティッシュペーパーは水に溶けにくいので流されたら詰まる可能性があるからです。

でもほとんどの紙は水素結合なんです。のりづけされているもの以外、水素結合だから、紙になったり繊維になったりすることができるということなんです。高校生に話をしたらすごくびっくりするけれど、結構喜んでくれます。

ということで、木の繊維は水素結合している。だから、リサイクルができるということも覚えておいてください。

さあ、ここまでは理科の実験でした。これから社会科の授業に入ります。コロッケ先生、これから下手くそな絵を描くけど、何を描くかという、紙がどこでオギャーと生まれて、どう旅してどうなるかという紙の一生を描いてみる。これ一応、製紙工場。製紙工場には直径が大体4メートルぐらいある大きなミキサーがあって、そしてそこで古紙が溶かされて、薄く伸ばされて、乾かされて、紙になる。大体製紙工場で作れる紙は大きい。重さが大体約1トン、ゴジラのトイレット

ペーパーみたいなのができる。こんな紙が、次の工場へ行って、切ったり張ったり印刷されたりして、はがきになったり、ノートになったり、教科書になったり、新聞紙になったりする。そしてここにみんなが住んでいる。みんなのお家には、毎日毎日、学校からもらってくるプリント、ピザ屋さんから入るチラシ、新聞紙、御菓子の箱、おまんじゅうの包装紙、何やらかんやらでいっぱい紙が入ってくる。



ここで質問だ。みんながお家で使い終わって要らなくなった紙のことを古紙という。さあ古紙君の行き先2つわかる人という質問をします。すると、1つは捨てる、1つはリサイクルするという答えが返ってきます。そう1つは捨てる。捨てられたら焼却場へ行って灰になる。灰になってしまった古紙は紙に戻すことはできない。つまりこっちへ行っちゃったら、残念ながら紙には戻れない。

ところがもう1つの行き先の集める。例えば古新聞、段ボール、紙パック、そして雑誌。この子たちを集めてくれたら、古紙回収業のトラックに載っかってぐるっと旅をする。次にこの子たちはどこに行くかというと、古紙リサイクルセンターという工場があって、そこに持ち込まれます。コロッケ先生の会社はここです。古紙リサイクルセンターで、目と手で社員さんが2つの仕事をした古紙がやっと製紙会社のミキサーへ戻ってくる。

ここで皆さんに質問してみましよう。古紙リサイクルセンターでは2つの大切な仕事をしている

んですけど、一体何をしていますでしょう。

そうです。簡単にいうと分別のチェックをしています。皆さんが分けてくださったもののチェックをしています。しかし、分別のチェックをする前にどうしてもやらなきゃいけない仕事があります。これをやらないと製紙工場のミキサーの中へは入れられない。

皆様方からのご家庭から出てくる古紙はほとんどビニールひもで縛って、時にはスーパーのレジ袋に入っていたりする。だから、何をしているかというと、ごみのチェックをしています。そしてもちろん目に見えるひもや袋はとる。ひもと袋だけならまだ正面から見えるから取りやすい。時には、ノートとノートの間に忘れ去られた下敷きとか、鉛筆とか。それからひどいのは新聞紙と新聞紙の間に乾燥してミイラのようなバナナの皮とか、ミカンの皮、あるいは木くず、ガラスくず、プラスチックくずなど、古紙の中にはいろいろなものが入っている。引っ越しのときに取りに行く古紙ぐらい怖いものはない。段ボール箱をあけてみたら確かに本は入っているけど、スリッパは入っているわ、電話機は入っているわ、すし屋の桶は入っているわ。これは一部の方ですよ、もちろん。我々古紙リサイクルセンターでは、皆様方の職場や学校で集めてくださった古紙に一旦目を通して、ひもをとり、袋をとり、異物をとり、ごみのチェックをします。あったら目と手で取り除く。機械ではできないんです。どこにあるかわからないから、コンベアの上にはばっと流して、ごみがあったり金属があったら、目と手でとる。ごみを取り除いた後は、新聞は新聞になっているか、段ボールは段ボールになっているか、紙パックは紙パックになっているか、雑誌は雑誌だけになっているかということをチェックします。

では、なぜ古紙は分けなければならないのかをお尋ねします。集めていただいた古紙は、なぜか昔から分類しなきゃいけませんでした。古紙を分けなければならない本当の理由をご存じの方おら

れますか。新聞、雑誌、段ボール、紙パック、区や市の広報から古紙は分類して分けて出してくださいって必ず言うてくる。理由があるんです。どうして分けなければいけないか、わかりますか。色も若干違うけど、何かが違うんです。

そう、質。何の質が違うかというと、実は繊維の質が違うんです。この中には農業系の先生方もおられるかもわかりませんが、木には2種類あります。葉っぱの形によって針葉樹、広葉樹。マツとかスギとかが針葉樹、ブナとかユーカリが広葉樹、木には2種類ある。そして同じ木からパルプはとれるんですけど、針葉樹からとれるパルプと広葉樹からとれるパルプが微妙に違う。どう違うかというと、針葉樹からとれるパルプは、1本1本の長さが比較的長くて、太さが太い。その結果、針葉樹からは強度が強いパルプがとれます。

ところが広葉樹からは、長さ1本1本がやや短くて、太さが細くて、強度がきゃしゃでしなやかで弱い繊維がとれるんです。だから、長くて強くて太くて丈夫な針葉樹のパルプと細くて短くてきゃしゃで弱い広葉樹のパルプを製紙会社が2種類つくって、用途によって使い分けている。

じゃ、段ボール、重いものを入れますね。段ボール箱、ミカンやリンゴの箱、段ボール箱に求められるものは破れにくさ、強度なんです。破れちゃいけない、少々雨が降ってもしれっとなっちゃいけない。じゃ段ボール原紙にはどっちのパルプを使うかというと、絶対に針葉樹のパルプを使います。広葉樹のパルプで段ボール箱をつくったら使えないんです。すぐに破れる。水にぬれたらすぐペロンと落ちる。だから、段ボール原紙をつくる工場は針葉樹パルプしか使わないんです。

同じように、皆さん方の目の前にあるコピー用紙あるいはチラシ、こういうものは強度が要らないんです。字が読めればいい。できたら薄くて軽くて、表面が平らでインクがきれいに載ってしなやかであればいい。針葉樹のパルプみたいに長くて強くて太くてごつい紙でコピー用紙をつくった

ら、厚みばかり厚くなってごつごつになってインクが載りにくい。だから、新聞なんかにはどちらかというところ、広葉樹のパルプが使われているんです。

だから、結局、この子たちは繊維の性質が違うから、全部戻り紙の種類が違います。新聞は何に帰ると思いますか。古新聞はもう一度新しい新聞用紙に戻ります。だから新聞紙をつくっている製紙工場さんは新聞古紙が要るんです。

じゃ、段ボールは溶かされて何の紙に帰るでしょうか。そうです。段ボールは段ボールに戻るんです。やっぱり針葉樹で強くて太くて茶色い繊維は段ボールに戻したほうが効率がいい。

紙パックは何に帰るかご存じですか。紙パックはトイレットペーパーやティッシュペーパーに戻るんです。

そして最後に、雑誌。これは何に帰るかというところ、おまんじゅうの箱、それからクッキーの箱、チョークの箱、靴の箱などの紙箱用紙に戻ります。さて紙パックの裏を見てください。真っ白じゃないですか。この真っ白の繊維がトイレットペーパーやティッシュペーパーにぴったりなんです。だから、トイレットペーパーをつくっている製紙工場さんは、小六さん、うちはトイレットペーパーをつくっているんだから、紙パックしか要りませんよ。他の古紙が混ざっていたら返品しますよと、返されるんです。

同じ理由で段ボール原紙をつくっている製紙工場さんは、うちは段ボール原紙をつくっているんだから、段ボール古紙しか要りません。新聞なんかは繊維が短くてやわらかいからだめ、紙パックは真っ白でやわらかいからだめ、雑誌もだめ、うちは段ボール古紙しか要りませんよということで、他の古紙が混ざっていたら返品されます。行政が古紙を分けてください、分けて出してくださいというのは、結局、繊維の性質が全部違う、生まれ変わる紙の種類が全部違うからです。これも君たちは、今日からプロだから、覚えて帰ってください。

さあ、分類がチェックされて、ごみがチェックされて、きれいになって安心してミキサーに溶かされて、そして伸ばされて、乾かされて、紙製品となってみんなお家へ帰っていく。そしてまた、みんなが古紙を集めてくれたら、ごみ箱に行かずに、トラックに載っかって、古紙リサイクルセンターに帰って行って、ごみをチェックされて、製紙会社に戻る。こういうふうにごぐるぐる回る。コロッケ先生がホワイトボードに書いたぐるぐる回る黒い輪っかのことをリサイクルといいます。



でもこの仕事をやり始めて今日で35年間ずっと思い続けている1つの悩みがある。

コロッケ先生がこうやってホワイトボードに書いたこの黒いリサイクルの輪のある1カ所がしょっちゅう切れる。それも決まった1カ所だ。それがコロッケ先生は悔しくて仕方がない。だから、今日もこうやってみんなのところへやってきた。子供たちに、さあこの輪っかのどこが切れるか言える人と言うと、僕はここが切れると思いますという答えを100人が100人してくれます。みんなのお家で集めないで捨てられちゃう。うち1軒ぐらい捨てちゃっていい、環境、リサイクル、どうでもいい、面倒くさい、うちは捨てればいい、燃やしてしまうという家がいっぱいある。残念ながら。

環境省の統計に書いてあります。日本の燃えるごみ、日本の可燃ごみの中に、まだリサイクルできる古紙が大体20%から30%捨てられているんです。これが現実なんです、先生方。残念ですけど、我々業界もPRをもっとやっていかなきゃいけない。

だってこういうレシートやお菓子の箱や雑誌がリサイクルできることを皆さんご存じないんで、もっとPRをしていかなきゃいけないと思う。それが私悔しくて仕方ないんで、こうやって年中働き回っているわけなんです。だから皆さん今日から捨てないで、みんなの家のごみ箱をのぞいてみて、どうなっているか。ごみと紙が一緒になっていたら、今日からリサイクルボックス、リサイクル袋を置いてごみと紙を分けて、そして区や市の資源回収に出して、地域の子供会、老人会の資源回収に出して、あるいはリサイクル屋さんに持っていったらもらってください。ただ、絶対してもらっちゃいけないのは、君たちがくしゃくしゃにしてポイとごみ箱に捨てること。そうしたら燃やされて灰になる。集めてくれたら50キロで木が1本助かる。

だから、コロッケ先生が書いた紙の一生の中で、最も重要な役割をしているのはこの人だ。製紙会社の社長でもない、加工工場の社長でもない、リサイクルセンターの社長でもない。古紙のリサイクルで最も大事な役割をしているのはこの人、この人が集めてくれなければ、全て始まらないということをごんごんとみんなの前でお話しいたします。

ということで、コロッケ先生のリサイクル授業もそろそろまとめに入る。

コロッケ先生は今日皆さんにたった2つお願いがあった。それを今日みんなに覚えて帰ってもらいたい。

1つめのお願いは、古紙は捨てずに集めてください。これはもう授業の最初からずっとお願いしていました。古紙は捨てずに集めてください、これが1つめのお願いです。

それから、2つめのお願いは、トイレットペーパーに関係のあるお願いです。今日はコロッケ先生が皆様方にトイレットペーパーを1個ずつお土産に持ってきました。そしてこのトイレットペーパーは100%古紙です。

ところで、皆さんトイレットペーパーはリサイ



クルできますか、できませんよね。使い終わったトイレットペーパーを資源回収に出されてもちょっと困る。トイレットペーパーは、トイレで使われたら残念ながら下水へ一緒に流れちゃう。トイレットペーパーは使い捨てなんです。一度だけの命なんです。使い終わったトイレットペーパーをリサイクルするのは無理なんです。

それから、ティッシュペーパー。ティッシュペーパーはのりが入っているから溶けないんです。だから、ティッシュペーパーも使い捨て、一度だけの命なんです。

ところが残念なことに、ティッシュペーパーやトイレットペーパーをホームセンターやスーパーに買いに行ったときにちらっと袋を持ち上げて裏を見て欲しい。そうすると、はっきりわかることがある。「このトイレットペーパーは古紙100%です」と書いてあるトイレットペーパーと、「このトイレットペーパーはパルプ100%です」と書いてあるトイレットペーパーの2つにはっきり分かります。トイレットペーパーは使い捨てだから、一度っきりの命だから、古紙100%の方を使って欲しい。

だって木は大きくなるのに30年頑張っ、頑張っ大きくなって、ぶった切られて、チップになって、パルプになる。パルプにするのであれば、トイレットペーパーとかティッシュペーパーに使わずに、普通の紙、リサイクルできる紙に使って欲しい。そうすれば、さっきみたいにどんどん回ることができる。何度も何度も生まれ変わること

ができる。

公立の小学校、中学校は、トイレットペーパーはほぼ古紙ですよ。公立はほとんど古紙だ。東京都はまだ確認していないですけど、地方は公立のトイレットペーパーはほとんど古紙です。だから、みんな学校で使っている。今度はお家で使う時も、トイレットペーパーを買いに行く時も、パルプと書いてあったらストップしてください。

ということで、コロッケ先生の2つめのお願いは、トイレットペーパー、ティッシュペーパーは使い捨てだから、ぜひリサイクルされた紙を使ってくださいという、この2つめのお願いをよろしくお願いします。

授業は大体この辺にして、これからリサイクルクイズをやってみたいと思います。



このリサイクルクイズは、二十数年間このクイズしか出していない。クイズだから、必ず賞品を持ていきます。その賞品はここにありますが、古紙100%のティッシュです。

さあ、古紙100%のティッシュ争奪リサイクルチャンピオン決定クイズ大会をやるんですけど、今日、皆様方にお土産でお持ちしたトイレットペーパー、新品のとき長さを測ると55メートルぐらいです。さて、この55メートルのトイレットペーパーを1個作るのにこの1リットルの紙パックが何枚必要でしょうか。コロッケ先生、ここに答えを6つ書きます。6択問題です。

今日もおかげさまで正解の方がおられました。正解は6枚です。55メートルのトイレットペー

パー1個と1リットルの紙パック6枚はほぼ重さが一緒なんです。

私がリサイクル授業の最後に、このクイズを絶対にやるのは、かなり紙パックも捨てられているからなんです。今、日本で一番捨てられているのはざつ紙、次に捨てられているのは紙パックです。紙パックの回収率は今40%、6割が燃えるごみで捨てられる。

だから、君たちのお家の紙パックどうなっているかチェックして、もし万が一、ポイポイ捨てられていたら集めてください。この子が6枚でトイレットペーパーが1個できる。その話を今日お家の人にしてください。

ということで、今日はやりませんが、授業の一番最後に絶対やらせようセレモニーがあります。それは何かというと、コロッケ先生とみんなはもう一生会えないかもしれない。コロッケ先生の授業は忘れられても仕方がない、コロッケ先生の顔を忘れられても仕方がない。ただ、これからコロッケ先生がこのホワイトボードに書く一言、これはコロッケ先生とみんなの永遠の合い言葉、この合い言葉だけは絶対忘れないで欲しい。今日から君たちはコロッケ先生の弟子だから、この合い言葉だけは忘れないでねということで、ここに一言合い言葉を書くんです。「紙はゴミじゃない」と。その一言だけを忘れないでくれたら、君たちは今日から一生古紙を捨てないだろう、この一言だけ覚えておいてほしいということで、実は授業の最後に何をすると申しますと、コロッケ先生がセーノと言うから、思いっきり大きな声で「紙はゴミじゃない」と叫んでもらう。これで大体授業は終わりますね。

そこで最後に、もう一つだけプレゼントをします。先生方に配っていただいておりますが、本当に子供だましの修了証書というのが最後のプレゼントなんです。古紙のリサイクルのプロが君たちは今日からプロだよということを認定する修了証書で、こう書いてあります。

修了証書、あなたは今日から古紙リサイクルのプロになりました。一緒に頑張ろう。明和製紙原料株式会社代表取締役会長、小六信和。



ちょっと恥ずかしいけど、裏にはクロッケ先生の写真つき。この写真の横には演題言葉、紙はゴミじゃないと書いてある。だからこの修了証書は一生持っておいて欲しい。

さあ、残り5分となりました。こうやって実際にリサイクル授業をやらせていただいて、本当に長いこと聞いていただいてありがとうございます。

なぜ私がこんなことを20年以上もやっているのか、あるいはこれから死ぬまでやっていくのか、これは古紙屋だからやっているということもあるかもしれませんが、私には実は非常に物凄く強い強迫観念というか、危機感があります。どこの学校に行ってもよく先生方とお話をするんだけど、私はリサイクル屋なもので、今高校生が15歳としたら2050年になったら、48歳か50歳ぐらいになったら、この子たちは本当にこの星に生活できているんだろうかなということをすごく感じるんです。

このリサイクル授業の根底に流れているのは何かというと、まずごみを減らしたいということ。古紙だけじゃないんです。あらゆるごみを減らしたい。そしてもう一つは、あらゆる地球資源を長もちさせたい、全ての地球資源を長もちさせたいと切実に思っている。

高校に行くと紛れもない事実を1つ話をする。

この地球上にごみという物質はない。最初からごみと言われる物質はない。鉄とか銅とか水素とか酸素とかそういうものはある。つまりごみという物質をつくる生物はこの地球上で人間だけだ。豚もキリンもパンダもゾウもごみはつくらない。自分が死んでも死骸はほかの生物が食べる。それから尿やふんも他の生物が食べる。だから、人間以外の生物はごみという物質は絶対つくらない。この地球が45億年、一生懸命育んできた森林資源、地下資源を人間が切ったり掘ったりして、一生懸命、便利快適な生活をして、何やかんや加工して、いろんなものとひっつけて、使えない、もうリサイクルできないからごみだと出している。

2050年になったら地球上の人口が90億を超えと言われていています。90億を超える人間が欧米並みの日本人並みの便利快適な生活をしようとしたら、地球が2個要と言われてるんです。資源も食料もエネルギーも水も。だから、2050年になって今の高校生が本当に生きていけるんだろうか。特にこの国はご存じのとおり、エネルギー全部輸入、地下資源全部輸入、食料の自給率は半分もない、そんな国が世界中からエネルギーや資源や石油やボーキサイトを一生懸命買い込んでいろんなものをつくって、ごみだ、ごみだ。おかしいんじゃないかと。そんな生活をしたなら、この子たちの将来がどうなるんだろう。そういうことも含めてまずはごみを減らしたい。

そして私がもう一つ思っているのは、恐らく木が見直されます。地下資源は多分有限ですから、地球が45億年培ってきた天然ガス、シェールガス、ボーキサイト、鉄鉱石、何やかんや、これはすぐに作れるものじゃない。恐らく有限の物質だと私は思っています。ところが、地上資源である木は、上手に保護して、上手に古紙をリサイクルして、上手に残してやれば、ひょっとしたら2050年にはすごく見直されている時代が来るかもしれない。スーパーのレジ袋が昔のような紙袋に戻る時代が来るかもしれない、正直そう思って

います。

今先生方がご存じのように、海の中のプラスチックごみがすごい問題になっていますよね。ウミガメがそれを餌と思って食べる。イカと思って食べたらスーパーのレジ袋だった。あるいはクジラがそれを餌と思って食べる。クジラの中から廃棄物、プラスチック廃棄物が山のように出てくる。あちこちの港にペットボトルやプラスチックごみが分解されないで流れついている。そういう時代が起きちゃっているから、子供たちに何とかもったいたないから、ごみになるものを買わないで、ごみをつくらない、捨てない、ものを大事にする、リサイクルする、それをまず紙というところから切り口でいいんですけど、そういう話を子供たちに伝えたくて、伝えたくて仕方がない。そういう何か自分の熱意というか、すごく何とかしなきゃという思いがあります。



だから本当に江戸時代に戻れとまで申し上げませんが、木がすごく見直される時代が来るのかな、バイオマス発電も含めて。竹や木あたりを、これを上手に管理すれば、幾らかでもずっと永遠につながる資源だから、私は古紙屋として、古紙をリサイクルすることによって、この地上資源というのを守って行って、将来に役に立てることができんじゃないかなと思っています。だから高校にお邪魔すると、ドイツと日本の比較をしたりして、ドイツがどれだけリサイクルが進んでいるか、日本がどれだけ遅れているかということもお話をしたりします。

今日は時間がないので、その辺のお話はしませんが、もし先生方、よろしければ、学校に呼んでください。これが私の最後のお願いでございます。高校でも専門学校でも小学校でも中学校でも企業さんでもどこでもいいんです。ボランティアでお邪魔いたしますので、日時さえ合えば必ずお邪魔しますので、ぜひお電話をいただけるとありがたいと思います。

本当に長時間どうもご清聴ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。(拍手)

平成30年度 東京都産業教育振興会 教育功労者表彰

平成30年度公益財団法人産業教育振興中央会実施の「御下賜金記念産業教育功労者」及び本会実施の「中学校技術・家庭科教育功労者」「専修学校産業教育功労者」に対する表彰式を平成30年11月15日に全商会館3階中会議室で挙行了しました。

表彰式では、本会西澤宏繁会長から功労者に表彰状と記念品が手渡されました。西澤会長の祝辞に続いて、東京都教育委員会を代表して江藤巧都立学校教育部長が祝辞を述べました。続いて御来賓の公益財団法人産業教育振興中央会専務理事富岡逸郎様、東京都公立高等学校長協会商業部会長高石公一様、東京都中学校長会生徒指導部長臼倉孝弘様から御祝辞をいただきました。祝辞を受け、受賞者を代表して東京都立蔵前工業高等学校渡邊隆校長が謝辞を述べました。

表彰式の出席者は、「御下賜金記念産業教育功労者」31名中20名、「中学校技術・家庭科教育功労者」5名中3名、「専修学校産業教育功労者」5名中2名の計25名でした。

受賞者は次の方々です（順不同・敬称略）

I 御下賜金記念産業教育功労者（31名）

東京都立園芸高等学校	主 幹 教 諭	津 江 一 郎
東京都立園芸高等学校	教 諭	宮 地 亮 輔
東京都立農芸高等学校	主 幹 教 諭	三 木 一 成
東京都立農芸高等学校	専修実習助手	山 下 昇
東京都立農産高等学校	副 校 長	倉 本 晃
東京都立農業高等学校	専修実習助手	伊 東 孝 明
東京都立農業高等学校	専修実習助手	石 田 保 幸
東京都立砂川高等学校	副 校 長	重 中 由香里
東京都立総合工科高等学校	教 諭	辻 信 宏
東京都立蔵前工業高等学校	校 長	渡 邊 隆
東京都立荒川工業高等学校	校 長	山 本 誠
東京都立荒川工業高等学校	主 任 教 諭	田 口 英 雄
東京都立荒川工業高等学校	主 任 教 諭	小 池 章 友
東京都立足立工業高等学校	主 幹 教 諭	佐 藤 元 則
東京都立本所工業高等学校	主 幹 教 諭	津 村 雅 由
東京都立葛西工業高等学校	主 任 教 諭	飯 島 悟
東京都立科学技術高等学校	教 諭	大 野 恵 司
東京都立科学技術高等学校	専修実習助手	東 井 達 雄
東京都立六郷工科高等学校	主 任 教 諭	川 崎 雅 己
東京都立第一商業高等学校	主 幹 教 諭	田 沼 則 和
東京都立第四商業高等学校	主 幹 教 諭	長谷川 真 人
東京都立第四商業高等学校	教 諭	小 澤 一 成
東京都立赤羽商業高等学校	副 校 長	清 水 健 一
東京都立葛飾商業高等学校	主 任 教 諭	小 野 聡
東京都立葛飾商業高等学校	主 任 教 諭	酒 井 由紀夫
東京都立葛飾商業高等学校	主 幹 教 諭	柳 澤 直 明
東京都立江東商業高等学校	校 長	高 橋 進
東京都立第三商業高等学校	主 幹 教 諭	河原田 一 郎

東京都立五日市高等学校
東京都立つばさ総合高等学校
東京都立産業技術高等専門学校

主 任 教 諭 加 藤 孝 子
校 長 仁井田 孝 春
教 授 青 木 繁

Ⅱ 中学校技術・家庭科教育功労者（5名）

葛飾区立青葉中学校
足立区立蒲原中学校
八王子市立長房中学校
江東区立第二亀戸中学校
新宿区立新宿養護学校

主 任 教 諭 新 井 香 澄
主 幹 教 諭 梨 木 ゆかり
校 長 金 野 寛
校 長 長 南 良 子
校 長 寺 島 京 子

Ⅲ 専修学校産業教育功労者（5名）

国際理容美容専門学校
二葉栄養専門学校
日本ウェルネススポーツ専門学校
新東京歯科技工士学校
新東京歯科技工士学校

校 長 和 田 美 義
科 長 村 山 秀 樹
校 長 柴 岡 三千夫
専 任 教 員 田 村 睦
専 任 教 員 小 島 三知長



平成 30 年度 東京都産業教育振興会後援事業

下記の 8 事業に対し後援を行った。

- 1 第 66 回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会（東京大会）
- 2 商業高校フードグランプリ 2018
- 3 第 34 回葛飾区産業フェア 工業展・商業展・観光展・農業展・伝統産業展
- 4 第 16 回創造ものづくりフェア in TOKYO
- 5 第 19 回全国中学生創造ものづくり教育フェア
- 6 東京都立六郷工科高等学校他 3 校の企業連携教育成果発表会
- 7 第 6 回東京都立総合学科高等学校教育活動成果発表会
- 8 平成 30 年度第 25 回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表会

平成30年度 産学懇談会（第1回）

平成30年10月16日（金）14:00～17:00

二葉栄養専門学校・二葉ファッションアカデミー・専門学校二葉製菓学校

産学懇談会は専門高校等の教育に関する理解を深め、東京における産学連携の発展に寄与することを目的として、平成18年度から開催している産学交流事業である。平成28年度からは会場を専修学校と高等学校の年2回開催し、その定着・充実を図っている。

今回は当初、二葉栄養専門学校を見学するという計画であったが、古屋学園系列校である二葉ファッションアカデミーと専門学校二葉製菓学校の2校を加えた3校合同の産学懇談会へと広がった。

定められた時間内で3校の見学・懇談を計画すると、内容が形式的で消化不良になりがちだが、かえってそれぞれの学科の特徴が際立ち、同時に共通点が明確になった。会場となった3校の教職員の方々による事前の綿密な計画やシミュレーションに助けられ、校舎間の移動があるにもかかわらず、見学案内もスムーズに進み、懇談・意見交換の時間も確保することができた。

参加者は、会場校の学園理事長・校長・教職員、本会の役員・企画推進委員、企業・学校会員、教育庁指導部・都立学校教育委員等合わせて59名であり、過去最多の参加者数となった。

古屋学園は昨年、創立80周年を迎えた伝統ある学園である。建学の理念は、「涵養の精神と職業人としての自立」とし、各々の学校で具現化・実践している。

二葉栄養専門学校は、学園創立後、昭和43年二葉調理師専門学校を開校。昭和47年栄養士養成施設の指定を受け、昭和48年二葉栄養専門学校に改名し、平成14年管理栄養士学科開設し、現在に至っている。栄養専門課程管理栄養士学科、栄養専門課程栄養士科、調理専門課程調理実践科、調理専門課程調理師科の4学科を設置している。管理栄養士学科は、高度専門士となり、大学院への進学も可能である。管理栄養士学科・栄養士科・調理

実践科は、文部科学省より職業実践専門課程として認定されている。



二葉栄養専門学校

二葉ファッションアカデミーは、学園創立後、昭和51年専門学校制度により二葉服飾専門学校と校名変更し、平成5年現在の二葉ファッションアカデミーへと校名変更し、現在に至っている。設置学科は、昼間部にはファッション総合学科、ファッション専攻科、高等課程ファッションデザイン科の3学科、夜間部にはファッション本科、ファッション技術科の2学科を設置している。ファッション総合学科は、文部科学省より職業実践専門課程として認定されている。



二葉ファッションアカデミー

専門学校二葉製菓学校は、学園創立後、昭和62年開設し、製菓製パン科、パティスリーモダン科、パティスリーメティエ科の3学科を設置している。パティスリーモダン科、パティスリーメティエ科は、文部科学省より職業実践専門課程として認定されている。



専門学校二葉製菓学校

開会で西澤宏繁会長から、専修学校について私たちはさらに造詣を深めていかねばならない、存分に見学・討論して、見識を広げてほしいとの話があった。

手嶋達也理事長からは、学園中期経営計画のこれまでの進め方や地域との連携などについて、そしてこれからのセカンドステージの方向性について短時間で説明を受けた。本来であれば、じっくりとお話を伺いたいところではあったが、概要だけ何うだけの時間設定となってしまったのが残念である。

開会后、二葉栄養専門学校石原元也係長の説明により 2 班 4 コースに分かれ授業参観・校内見学を行った。

栄養校、製菓校とも実習室に入るため、シューズカバーと帽子が予め用意されており、スムーズに移動することが出来た。実習中の学生は誰もが真剣な態度で、技術を確実に身に付けようと熱心に取り組んでい



た。

ファッション校は栄養校の教室を借りてのプレゼンテーションの模擬授業であった。

授業参観、施設見学を行った後、懇談会を行った。二葉栄養専門学校小川万紀子校長、二葉ファッションアカデミー吉野たけし校長、専門学校二葉製菓学校大野龍雄校長から学校概要の説明と担当者によるプレゼンの後、意見交換を行った。



懇談会の様子

紙面の都合で以下、懇談の一部を紹介する。

質問 どんな生徒を望むか

栄養校校長

栄養士は文系ではなく、理系である。化学や数学は重要である。

質問 ものづくりでセンスを育てるには？

製菓学校校長

どういう環境で育ってきても、きれいなものはきれいであり、興味があるものは興味がある。ケーキの飾りであれば、花はどんなイメージの花が好きか、それをデフォルメしてお菓子にしてく。学生のイメージを広げてゆくことが大事である。

ファッション校校長

いろいろと見る事が大切である。判断基準を明確にすること。例えば、白と黒、どちらが好きか？判断を積み重ねさせることで、自分の価値観が生まれる。

意見交換の一部の紹介であるが、3校合同の懇親会ならではのやり取りである。会場校の皆様に深く感謝申し上げ、報告とする。

平成30年度 産学懇談会（第2回）

平成30年11月1日（木）14:00～17:00

東京都立第五商業高等学校

産学懇談会（第2回）は、東京都立第五商業高等学校を会場に、高等学校の商業教育に対する理解を深め、東京都における産学連携の推進と産業教育の発展に寄与することを目的として行った。今年度、東京都は都立商業高等学校7校の全日制課程の商業科をビジネス科へと改編した。

会場の東京都立第五商業高等学校は、地域のロータリークラブ、商工会、大学、NPO法人との連携を進めるなど、ビジネスを実地に学ぶ機会を積極的に設けている学校である。

授業参観に引き続き、会場校からの説明を受けることで新しい商業高校の方向を実感することができ、そのあとの懇談会も充実した。

参加者は、商業高校の教職員中心に企業・学校・個人会員、本会の役員・委員名、教育庁指導部・都立学校教育部職員等、合わせて49名であった。

校内施設見学を兼ね授業参観は以下の順番で行われた。各授業内容は以下のとおりである。

①1学年「ビジネス基礎」東京のビジネス

ワークブック「ケーザイへの3つのトビラ」（証券知識普及プロジェクト）を活用して、生徒自身がテーマパークを経営する取締役として、来期の事業計画案を作成し、話し合いや発表を通して株式会社のしくみとその役割を学ぶ。



②2学年「ビジネスアイデア」（視聴覚室）

一橋大学 鷲田祐一教授の講義の後、五商の教

員とNPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーション（KF）の学生TA（ティーチングアシスタント）の支援を受けて、国立駅・旧駅舎再建プロジェクトを題材としたテーマ別の調査研究を行う。



③3学年「総合実践」（総合実践室）

商業高校で学ぶ総まとめの学習として模擬実践の様子を見学してもらう。当日は、第3期の自由取引を行っており、後日の月末業務につなげていく。



懇談会では、まず会場校の石野隆副校長による学校の概要説明があった。その後、参加者の自己紹介を行い、意見交換に入った。西澤宏繁会長から「本日の生徒はグループワークによる議論、実践的でとてもよかった。社長の選び方、推薦の仕方、意見交換も活発であった。一方的ではなく、暗記型でもない、実践的で、仕事のイメージをさ

せ、働き方、ビジネスを体感していく授業である。」との話があり、続いて金子昌男副会長から「即戦力として育てたい生徒たちである。目的意識もっている。柔軟に対応できている。」との話があった。これらの感想を起点に「総合実践授業」「就職と高大接続」「中学校教育とのつながり」等、様々に展



左から石野副校長、佐藤校長、西澤会長、金子副会長

開し、専門高校の現状認識と意見交換が深まった。

企業会員からは「人手不足である。地元の生徒に就職してほしい。保護者も職住接近を希望している。インターンシップの希望が地元からある。」「中堅、中小企業は、人材を集めるのに苦労している。地域に根差した働き方が必要である。」等の声もでて、「産」と「学」の有意義な懇談が続いた。



会場校の佐藤俊一校長からは、「本校では、今年度 70 名が就職を希望している。また、卒業した生徒には将来起業することを目指す生徒もいる。中学生に対しては 9 教科の学びが大切であること、世の中の動きに結び付けてコメントできること、学校行事を含めて総合的な力を付けることが大切

である、と学校説明会で話している。

高大接続では、専門高校の強みである専門性（3 分の 1 の専門科目）を生かして進学や就職を実現している。高度資格に合格することは、相対的な力がついていると大学側も評価している。今後、大学の推薦入試でも共通テストの内容が取り入れられる。学校外でのボランティアや活動報告をどう作っていくか。本校では高校 1 年から学習履歴を蓄積している。そして、積極的主体的に取り組んでいくためノーチャイム制を導入し、学ぶ姿勢、タイムマネジメントを心がけさせている。」との第五商業高等学校の具体的な実践に基づいた説明を受けた。

中学校からの高校選び、高校から進学、就職まで見通した話題が上がるのは、会員に中学校を含めている「東京都産業教育振興会」の特徴であり、大切な視点である。

今回、初めて産学懇談会において、アンケートを実施した。以下にいくつかのご意見を紹介し、報告とする。

- ・授業参観（総合実践）がまさに実践であった点に強く印象を受けた。素晴らしいです。（産業界）
- ・「東京のビジネス」の授業での「テーマパーク経営」は、生徒がくいつきやすいテーマでとてもよかったと思います。（高校）
- ・佐藤校長先生の思いが感じとれ、勉強になりました。ありがとうございます。（高校）
- ・あきる野商工会の取り組みについてお聴きすることができて良かったです。（高校）
- ・校舎、授業見学の感想だけでなく、内容の濃いディスカッションがあってよかった。（専修学校）
- ・質の高い授業に驚きました。実践型の授業で、相手会社へ電話をかける生徒さんを拝見し、徹底されたビジネススキルと、スピードを求められる中でも、協調性を重んじたコミュニケーション力を目の当たりにして、専修学校として、授業の質改善の必要性を強く感じた。（専修学校）

平成30年度 第29回東京都産業教育振興会作文コンクール

(1) 入選者一覧

平成30年度の「作文コンクール」の応募作品数は、中学校の部では29校152作品、高等学校・専修学校の部では高等学校が23校147作品、専修学校が3校14作品で、全体総数では55校313作品でした。

昨年度（平成29年度）の応募作品数が、中学校の部では33校149作品、高等学校・専修学校の部では高等学校が18校115作品、専修学校が2校20作品で、全体総数では53校284作品でしたので、全体としては応募校、応募作品数ともに増加しました。

応募作品はそれぞれの部の選考委員による第一次選考、第二次選考を経て中学校の部では22作品（最優秀1、優秀3、佳作18）、高等学校・専修学校の部では高等学校が22作品（最優秀1、優秀3、佳作18）、専修学校が2作品（最優秀1、優秀1）、合計では46作品の入選作品を決定しました。

入選作品の題名及び入選者は以下のとおりです。

中学校の部

最優秀賞	夢のを見つけ方	大田区立大森第一中学校	2年	横尾祐乃
優秀賞	ものづくりとは	新宿区立西早稲田中学校	3年	飯塚奈津子
優秀賞	広島から学ぶ	大田区立大森第六中学校	3年	後藤健介
優秀賞	私とものづくり	東京都立桜修館中等教育学校	2年	堀美津季
佳作	将来の夢	愛国中学校	3年	齋藤絵舞
佳作	将来の夢	愛国中学校	3年	齋藤唯舞
佳作	将来の夢	愛国中学校	3年	三橋りお
佳作	一枚ののこぎりの刃	新宿区立西早稲田中学校	3年	宮内桜
佳作	職場体験から学んだこと	文京区立第九中学校	3年	安達公香
佳作	職場体験を通して	墨田区立本所中学校	2年	平川菜子
佳作	人のために	墨田区立吾嬬立花中学校	3年	大橋悠生
佳作	今の私にできること	墨田区立吾嬬立花中学校	3年	大津山祥
佳作	頑張ってこそ得られるもの	墨田区立寺島中学校	3年	平山萌歌
佳作	私とボランティア	大田区立大森第六中学校	3年	大沼実那子
佳作	Creation	大田区立大森第六中学校	1年	糸井主歩
佳作	形にならない「モノ」	北区立稲付中学校	3年	伊藤銀登
佳作	ボランティア活動の大切さ	葛飾区立四ツ木中学校	3年	笹木雛夏
佳作	男女の垣根を越えて	葛飾区立四ツ木中学校	3年	山口竜平
佳作	私とものづくり	江戸川区立松江第五中学校	3年	岩楯愛菜
佳作	ものづくりと夢	江戸川区立松江第五中学校	3年	高畠雅裕
佳作	ちいさな先生	東京都立大泉高等学校附属中学校	2年	牛島栞那
佳作	一つ一つを大切に	東京都立大泉高等学校附属中学校	2年	日野希美

高等学校の部

最優秀賞	誇りをもって	東京都立大島高等学校	3年	島村杏樹
優秀賞	コミュニケーションの大切さ	愛国高等学校	3年	佐藤未歩
優秀賞	樹木医を目指して	東京都立農芸高等学校	2年	大野千星織
優秀賞	東京しゃもから教わったこと	東京都立瑞穂農芸高等学校	3年	木村実佳子
佳作	未来へ導く仕事	愛国高等学校	3年	平野郁美
佳作	簿記と将来	愛国高等学校	3年	田中栞里
佳作	私の進む道	愛国高等学校	2年	渡部エマ
佳作	食べることは全ての人間に与えられた財産	蒲田女子高等学校	3年	池田彩乃
佳作	輝く medical technologist	日本工業大学駒場高等学校	2年	高橋桃葉
佳作	ものづくりを通して学んだこと	日本工業大学駒場高等学校	2年	堀内実柚
佳作	私の農業	東京都立農業高等学校	2年	吉田凧沙
佳作	伸びきった鼻	東京都立農業高等学校	2年	木村桃
佳作	課題研究で得たこと	東京都立農産高等学校	3年	金子優希
佳作	自分で考え、行動すること	東京都立農産高等学校	3年	角川美咲
佳作	食品添加物	東京都立農産高等学校	3年	松本遥花
佳作	おいしい野菜を食べて考えたこと	東京都立農産高等学校	1年	花輪隼聖
佳作	農業を職業にするために	東京都立農産高等学校	1年	神保光咲子
佳作	将来の夢	東京都立瑞穂農芸高等学校	1年	大塚涼楓
佳作	ブバルディアを通して気づいたこと	東京都立大島高等学校	3年	向山唯斗
佳作	私の進路、将来の夢	東京都立忍岡高等学校	3年	大川里穂
佳作	必要のないものの豊かさ	東京都立忍岡高等学校	3年	高橋瑞季
佳作	私を成長させる言葉	東京都立野津田高等学校	2年	白鳥稀凜

専修学校の部

最優秀賞	授業で学んだことと心構え	中央工学校	1年	飯田大貴
優秀賞	憧れから、夢へ。	青山製図専門学校	1年	野原るりか

イラスト賞

墨田区立竪川中学校	3年 仲宗根 ウララ
-----------	------------

(2) 最優秀作文

中学校の部 最優秀賞

夢の見つけ方

大田区立大森第一中学校 2年 横尾 祐乃

私には将来の夢がない。14年生きてきて、まだ見つからないのだから、この先も見つからない気がする。そもそも、夢ってなんだろう。本当に就きたい職業のことだろうか。私にとっての職業や、働くということは、家族や自分のためにお金を稼ぐという目的で行うことに過ぎない。職場体験を終えるまでは、ずっとそう思っていた。

体験先は理容室だった。どんなところかを知らなかった私は、まずはオーナーさんの仕事の様子を見るところから始まった。はじめは、仕事の内容を覚えることで精一杯だったけど、途中からあるものに惹きつけられた。それは、お客さんの表情だ。お店に来てから、笑顔が絶えない。その理由は一目瞭然だった。オーナーさんの笑顔が絶えないからだ。それだけでなく、楽しい話を提供している。だから、お客さんは楽しそうに髪を切ってもらっていた。

理容師になるためには、資格が必要で、特別な技能を持っている。そして、人を笑顔にする力も持っているのかもしれない。

私には、その力はあるだろうか。きっとオーナーさんは、理容師という仕事が大好きで、そして誇りを持っているような気がした。

先日、授業の中で、高校生でなりたいと思った職業に実際に就けた人は、全体の2%だと聞いた。また、多くの社会人の働く目的はお金を得るためだという調査もある。働いているすべての人に、「今の仕事は好きですか。」と聞いたら、いったい何人の人が「好き」と答えてくれるのだろうか。そして、私自身、好きな仕事に就けるのだろうか。職場体験後は、こんなことを考えるようになった。どうせやらなければいけないことならば、お世話になったオーナーさんのように自分の仕事を好きになったり、誇りに思えるようになりたいとも思った。そのためには、何が必要か。その答えを、私は知っていた。ただ、自覚していなかった。そして、この職場体験でそのことに気付いた。

私たちは普段の学校生活で、「ありがとう」の言葉を交わすことがある。「ありがとう」を言われたときは、言われて当然のことをしてあげたと思うときもある。逆に言われないと、どうして言わないのだろうかと思ってしまうときもある。感謝の気持ちが欲しくて、何かをしてあげたわけでもないのに、ちょっとしたイライラを感じてしまうのだ。ここで、考え方を転換した。その一言があったときは次の行動力の源にしたほうがいいのではないかと。職場体験では、そんなことも考えるようになった。オーナーさんがお客さんに対して、感謝の気持ちを表現する場面がたくさんあった。例えば、来店したとき。帰るとき。そして、お礼を言われたとき。その逆もたくさんあった。ドアを開けてあげたとき。髪の毛を洗ってあげたとき。そして、セットが終わったとき。そのたびに、笑顔の感染が起こった。言われた方だけでなく、言った方も笑顔になるのだ。きっと、この日だけではないはずだ。毎日毎日、たくさんの人に感謝し、感謝され、それがこの何年も繰り返されてきたのだ。どれだけたくさんの人と関わり、感謝の気持ちを交わすことができたかどうかで、仕事に対する姿勢が変わってくるのではないだろうか。はじめは好きになれなかった、お金のための仕事でも、自分の考え方や行動次第で、就きたかったわけではない仕事も、前向きに取り組めるようになれば、その仕事を好きになれるかもしれない。夢のない私には、

それが必要なのかもしれない。

14歳の私には、まだ夢はない。職場体験を終えても、いまだ夢には出会えていない。でも、一つだけ変わったのは、この先、私にも夢ができる気がする。それは、職場体験を通して、人と関わる仕事に就きたいと思えたからだ。人と関わることの楽しさや、働くことについて真剣に考えた三日間だった。この期間で、私にも夢ができる、いや、どんな仕事でも、感謝の気持ちを忘れず、前向きに取り組んでいけば、いつの日にか、自分がたまたま就いた仕事が、自分にとっての夢になるような気がする。

高等学校の部 最優秀賞

誇りをもって

東京都立大島高等学校 3年 島村 杏樹

「あっ！メジロがいる！」私はカメラを持ってそっと近づきましたが、枝や葉が茂りうまく撮れませんでした。

ここは、私の通う都立大島高等学校の椿園です。この椿園は2016年に教育機関として世界で初めて国際優秀つばき園に認定されました。開花期の冬には観光客が椿を見に来ます。特に私たち生徒が授業の一環で行う椿ガイドが人気で、これを目当てにされる方もいらっしゃいます。さらに大島高校の椿の魅力は、海外にまで広まり、フランスの画家が椿のスケッチをしに来ました。

二年生の夏休み、私は平成 25 年の土砂災害からの完全復興や 10 年間で 1000 人もの人口の減少に歯止めをかけ、5 年かけて 5 万人増えた来島者をさらに増加させたいという思いから、アサヒ若武者育成塾に参加しました。各地の課題を解決しようと集まった全国の高校生に対し安易に「私の目標は島外の人に椿園を通じ大島について知ってもらうことだ」と大島の特徴を伝えました。すると「すごいね」と予想以上の言葉が返ってきました。魅力に気付けていないのは自分だったと思い知らされた瞬間でした。

「大島高校の生徒さん？」ある日の下校中、年配の方に話しかけられ、返事をする。「今日、椿園を見に行んだけど花が全然咲いてなかったよ。もっと整備しなきゃだめ！」とお叱りを受けてしまいました。ショックでしたが、すごく楽しみにして椿園に来てくれたのかもしれない。期待を裏切ってしまったと気付きました。

「内側に伸びている枝を切る」、「影の色を均一にする」、「丸みを持たせる」、授業で教わったことを思い出し、剪定していくと手が入っておらず見えなかった花がスッと見え、キラキラしていました。きれいだな、色んな人に見てほしいな。そう強く感じることができました。初めは興味がなかった椿も、自分自身が積極的に活動することにより、魅力に気づくことができました。そして、私が味わった感動をもっとほかの人にも味わってもらいたい。伝えたい。と思うようになりました。

剪定をきっかけに、私は課題研究のテーマを「椿園を魅力的にしよう!」にし、整備を行っています。それは、私が率先し、手本となり農林科全体として積極的に椿園の活動をしていきたいと思ったからです。そして、今の自分にできることを考え、農業クラブの会長となり、皆を引っ張っていこうと決意しました。そのために、私は農業クラブの活動である意見発表会で大島高校の椿園について発表し、都予選会では最優秀賞、関東大会では優秀賞を頂くことができました。さらに、神戸で開催された観光甲子園では「東京の島 伊豆大島 T S U B A K I 三昧の旅」という椿をメインとした大島のツアーを提案し、全国 200 件以上のツアープランの中から金賞を頂くことができました。

先日、放置された椿林を整備する活動に参加しました。これまでも3回行いましたが、今まで農林科の皆は乗り気ではありませんでした。そこで今まで以上に呼びかけると「参加します」「部活で遅れま

すが途中から参加します」とやる気を見せてくれました。当日は「これ、切っていいかな」「あその、切ったほうがいいんじゃない？」と一人一人が考え、相談しながら積極的に動いており、「実際に行動することが大切だ」と改めて感じることができました。農林科を巻き込むことができたなら次は町の人を巻き込もう！そう思い、広報で呼びかけ、椿の挿し木教室を行いました。「葉を3枚残し半分に切ってください」「枝を側面から挿してください」と説明をしていくと「挿し木ってなんですか？」と興味を示してくれました。さらに今年は椿ガイドを行う回数を昨年よりも10回多い、22回行いました。ガイドでは380品種ある中からそれぞれ10品種選び、名前の由来や花の特徴を説明します。その結果、今までの3倍、合計300人を超える方々が来園しました。それにより交流が深まり、農林科の皆も詳しく調べるようになりました。

私は笑った顔が好きです。だからこそお客さんに「また来たい」「椿に興味を持った」そういって、笑顔で帰ってもらえる椿園にしたいのです。土砂災害で傷ついた大島を元気にしたいという思いで先輩方が取り組み、認定された国際優秀つばき園。次は私たちが受け継いだバトンを後輩に繋いでいく。これが使命です。島の資源を最大限に活用し、徹底的に磨き上げる、地域振興の活動に巻き込むことが、バトンを繋ぐことになると私は思います。

将来、私は大島で花卉農家として六次産業化を果たし、雇用を生み出します。大島の若者は仕事を求め島外に出ていくのが現状です。それでは地域振興どころかバトンすら繋げません。花を作って終わりではダメなのです。椿油とコラボレーションした化粧品の販売や地元洋菓子店と連携したエディブルフラワーケーキの製造など新たな取り組みが必要です。これから私は大島の農業を支えるリーダーとして雇用を生み、地域振興に若者を巻き込みます。「誇りをもって」これからの大島を支えていきます。

専修学校の部 最優秀賞

授業で学んだことと心構え

中央工学校 1 年 飯田 大貴

私は中央工学校に入学してまだ四ヶ月と短いですが、学び得た事は大きく分けて二つあります。一つは、作業や課題の確認作業を怠らずに習慣づけること。もう一つは、新しいことを学ぶことの楽しさです。

一つめの作業や課題の確認作業を習慣づけることですが、これは週に18時間ある製図の授業で学ぶことができたと思います。製図の授業では、課題図を見ながらの手描き製図やC A Dソフトを使って製図を行うのですが自分では何度か見直して間違いがないと思って図面を提出しても、先生に細かな間違いを指摘されることが多くありました。課題が進み図面が複雑になるにつれ、細かなミスが増え、図面を描き直すことが多くなり、その度に製図板から用紙を取り外したり、印刷した図面を取りに行ったり再提出したりとかなり時間をかけながら課題をこなしていききました。早く課題を終わらせようと確認作業を怠ると、後々何箇所も修正することになり余計に時間がかかってしまうということを、身をもって知る事ができたと思います。

そこで、いかに自分で小さなミスに気づき効率良く作業を終わらせられるか考えたのですが、課題図と自分が描いた図面をよく見比べることは勿論なのですが、まずは課題図をよく見て形を理解すること、それから図面の大きさや角度を変えてみたり、いろいろな視点から見ることで、そして自分で考えてもわからないと感じたときは、すぐに先生や周りの人に質問することがミスを減らし、効率よく作業を終わらせることに繋がるのではないだろうかと思いました。

これから就職して社会に出たときには、さらに作業の効率や、正確さを求められるようになると思う

ので、在学中にこの事を徹底し、就職したときに周りに迷惑をかけることなく、与えられた仕事を要領よくこなせるようになりたいと思います。これらのよく確認する、よく理解する、わからないところは質問するということは、仕事や課題に取り組む時だけでなく、人と関わる上でも重要なことなのではないだろうかと思いました。

二つめに学んだ新しく学ぶことの楽しさですが、これは中央工学校に入学し、機械設計の専門的な知識を学び始めたことが大きいと思います。高校までの学習では「こんな事を学んでも将来なんの役に立つのだろうか」と疑問に思い学習意欲が削がれ、授業に身が入らないことが多くありました。ですが、中央工学校での学習は、高校までの授業と違い、手描き製図やパソコンによる実習が多く、座学の授業も基礎製図法や工業材料など、今まで機械などの知識を学ぶことがなかった自分にとって、全く新しい内容を学ぶ機会が多かったのも、自然と学習する意欲が湧いてきたのだと思います。

専門的な知識を学ぶことで、将来自分の就きたい仕事を具体的にイメージすることができ、その仕事に対して少しずつ近付いているという実感が湧き、もっと知識を増やし、理解を深めようと思うことができるようになりました。それも、学ぶことが楽しいと感じるようになった要因の一つのように感じます。このような実感は高校までの学習内容では得られなかった感覚なので、なかなか新鮮で、自分の人生にとって良い経験になったと思います。

これらのことを踏まえて、私の学習に対する心構えは大きく変わりました。以前の学校生活では、自分の学びたいことは何なのか、今学んでいることが、将来自分が社会に出たときに役に立つのかなど、疑問に思うことが多くありました。ですが、今では自分の学んでいることが、将来自分の就職に直結しているという実感ができたので自然と学習に対して前向きに取り組めるようになりました。

これからの学習では、更に就職する上で重要なことを多く学ぶことになると思いますので、小さなミスでも見逃さないように細心の注意を払い、様々な視点から物事を見ることができるようにし、新しい発見や、新しいことを学んでいく楽しさを大切にしたいと思います。

(3) 応募校一覧・応募校の推移・テーマ別応募数等

< 中学校の部 >

番号	区・市名	学校名	応募 人数	入選 者数
1	港区	高陵中学校	2	
2	中央区	晴海中学校	2	
3	新宿区	西早稲田中学校	4	2
4	文京区	第九中学校	4	1
5		音羽中学校	10	
6	墨田区	吾嬬立花中学校	2	2
7		寺島中学校	10	1
8		本所中学校	5	1
9		文花中学校	3	
10		竪川中学校	9	
11		両国中学校	10	
12	江東区	第二砂町中学校	2	
13		深川第七中学校	1	
14	品川区	日野学園	3	
15	大田区	大森第一中学校	1	1
16		大森第六中学校	10	3
17	北区	滝野川紅葉中学校	1	
18		稲付中学校	10	1
19	荒川区	南千住第二中学校	5	
20	足立区	西新井中学校	8	
21		江南中学校	1	
22		第十中学校	3	
23	葛飾区	四ツ木中学校	10	2
24	江戸川区	松江第五中学校	2	2
25	調布市	第八中学校	8	
26	町田市	真光寺中学校	8	
27	東京都	東京都立大泉高等学校 附属中学校	10	2
28		東京都立桜修館 中等教育学校	3	1
29	私立	愛国中学校	5	3
合計			152	22

< 高等学校の部 >

番号	学校名	応募 人数	入選 者数
1	東京都立農芸高等学校(全)	1	1
2	東京都立農芸高等学校(定)	7	
3	東京都立農業高等学校	10	2
4	東京都立瑞穂農芸高等学校	10	2
5	東京都立農産高等学校(全)	10	4
6	東京都立農産高等学校(定)	2	1
7	東京都立園芸高等学校	10	
8	東京都立大島高等学校	7	2
9	東京都立小金井工業高等学校	2	
10	東京都立墨田工業高等学校	1	
11	東京都立総合工科高等学校	1	
12	東京都立赤羽商業高等学校	7	
13	東京都立葛飾商業高等学校	10	
14	東京都立第三商業高等学校	9	
15	東京都立荒川商業高等学校	10	
16	東京都立忍岡高等学校	10	2
17	東京都立野津田高等学校	3	1
18	東京都立大島海洋国際高等学校	1	
19	愛国高等学校	8	4
20	日本工業大学駒場高等学校	6	2
21	岩倉高等学校	2	
22	蒲田女子高等学校	10	1
23	国際理容美容専門学校(高等専修)	10	
小計		147	22

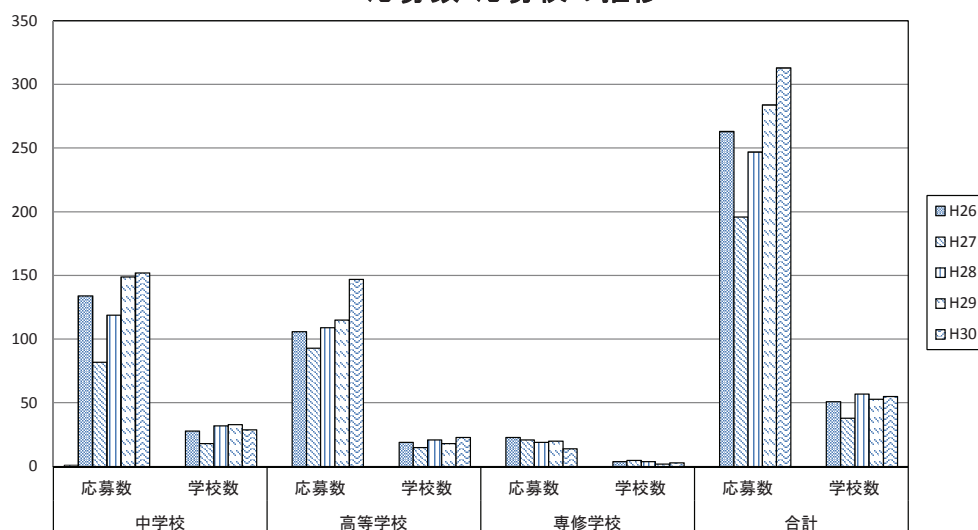
< 専修学校の部 >

番号	学校名	応募 人数	入選 者数
1	青山製図専門学校	7	1
2	東京エトラベル・ホテル専門学校	5	
3	中央工学校	2	1
		14	2

< まとめ >

区分	応募校数	応募人数	入選数
中学校	29	152	22
高等学校	23	147	22
専修学校	3	14	2
総計	55	313	46

応募数・応募校の推移



	中学校		高等学校		専修学校		合計	
	応募数	学校数	応募数	学校数	応募数	学校数	応募数	学校数
H26	134	28	106	19	23	4	263	51
H27	82	18	93	15	21	5	196	38
H28	119	32	109	21	19	4	247	57
H29	149	33	115	18	20	2	284	53
H30	152	29	147	23	14	3	313	55
平均	127	28	114	19	19	4	261	51

応募数の変化(前年度から見た変化)

校種	平成26年度(2014)		平成27年度(2015)		平成28年度(2016)		平成29年度(2017)		平成30年度(2018)		平均 応募数
	応募数	増減	応募数	増減	応募数	増減	応募数	増減	応募数	増減	
中学校	159⇒179	13%増	134⇒82	39%減	82⇒119	45%増	119⇒149	25%増	149⇒152	2%増	127
高等学校	94⇒93	1%減	106⇒93	12%減	93⇒109	17%増	109⇒115	6%増	115⇒147	28%増	114
専修学校	21⇒8	62%減	23⇒21	9%減	21⇒19	11%減	19⇒20	5%増	20⇒14	30%減	19
総数	274⇒280	2%増	263⇒196	25%減	196⇒247	26%増	247⇒284	15%増	284⇒313	7%増	261

作文コンクール 入選数の集計

校種	平成26年度(2014)			平成27年度(2015)			平成28年度(2016)			平成29年度(2017)			平成30年度(2018)			平均%
	応募数	入選数	%	応募数	入選数	%	応募数	入選数	%	応募数	入選数	%	応募数	入選数	%	
中学校	134	19	14	82	13	16	119	18	15	149	23	15	149	23	15	15
高等学校	106	16	15	93	14	15	109	17	16	115	18	16	115	18	16	15
専修学校	23	5	22	21	3	14	19	3	16	20	4	20	20	4	20	18
総数	263	40	15	196	30	15	247	38	15	284	45	16	284	45	16	16
参考	選考要領は15%程度			選考要領は15%程度			選考要領は15%程度			選考要領は15%程度			選考要領は15%程度			

作文のテーマ別応募数一覧

【作文の内容】

次に示す学習を通して体験したことを踏まえて、そこから得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの。

- ・中学校における技術・家庭科の学習
- ・高等学校、専修学校、高等専門学校又は短期大学における専門教科の学習
- ・勤労に関わる体験的な学習

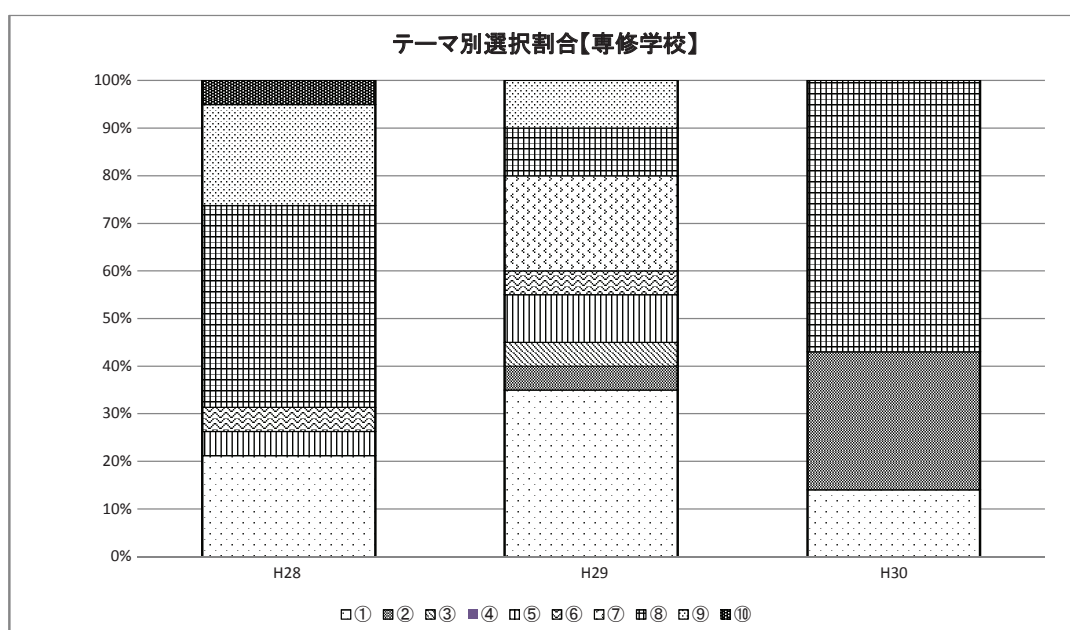
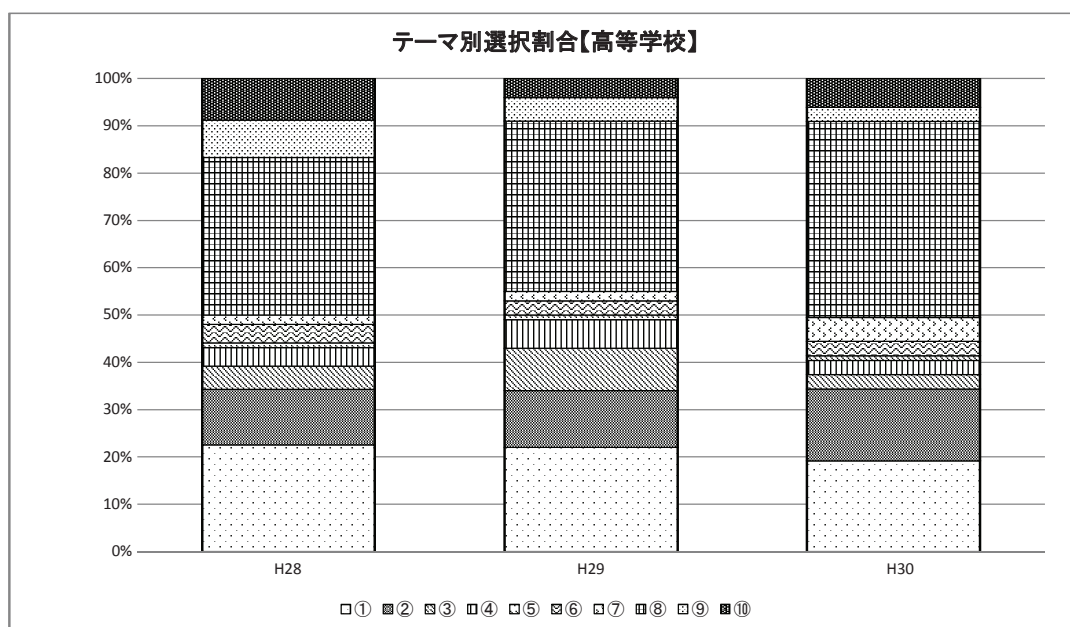
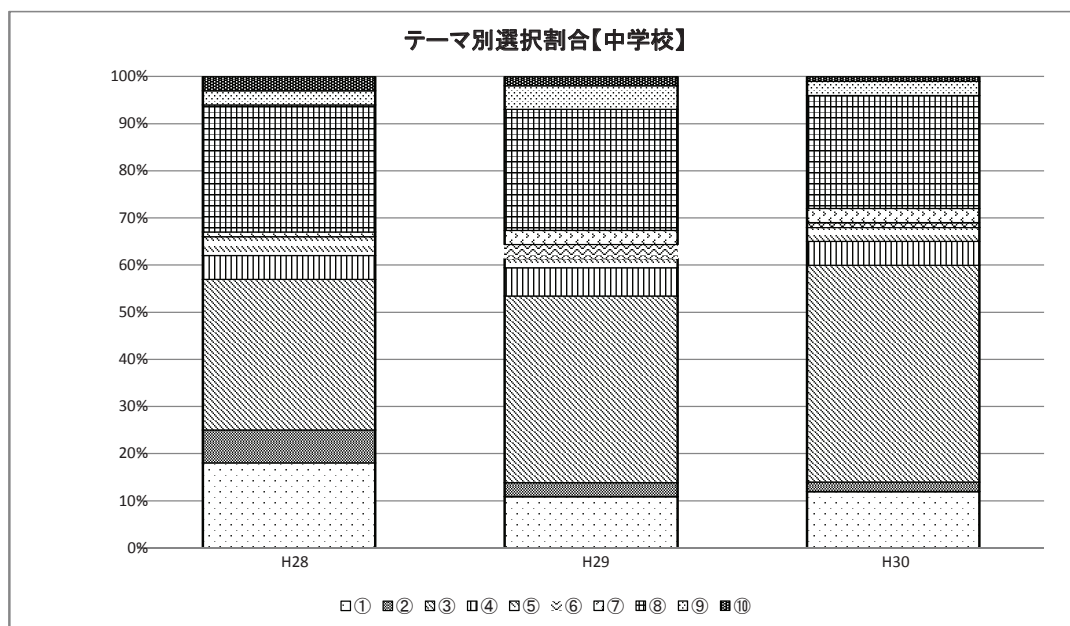
【テーマ】

作文の内容について、次のテーマ番号（①～⑩）から関係するものを選択して応募票の欄に記入する。

- ①授業等を通して学び得たこと
- ②インターンシップ（就業体験）や現場実習等によって学び得たこと
- ③職場体験やボランティア活動等によって学び得たこと
- ④つくることの喜び、ものづくりの喜び
- ⑤働くことの喜び
- ⑥学習に対する心構え
- ⑦私の生きがい
- ⑧私の進路、将来の夢
- ⑨私の職業観
- ⑩その他

テーマ別選択肢とその割合

テーマ 番号	中学校の部						高等学校の部						専修学校の部					
	H28		H29		H30		H28		H29		H30		H28		H29		H30	
	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%	選択肢	割合%
①	21	18	17	11	19	13	25	23	26	22	29	19	4	21	7	35	2	14
②	8	7	4	3	4	3	13	12	14	12	23	15	0	0	1	5	4	29
③	38	32	63	40	70	47	5	5	11	9	5	3	0	0	1	5	0	0
④	6	5	9	6	7	5	4	4	7	6	5	3	0	0	0	0	0	0
⑤	5	4	3	2		0	1	1	1	1	1	1	1	5	2	10	0	0
⑥	0	0	4	3	1	1	4	4	4	3	5	3	1	5	1	5	0	0
⑦	1	1	4	3	5	3	2	2	2	2	7	5	0	0	4	20	0	0
⑧	32	27	41	26	36	24	38	34	43	36	61	41	8	42	2	10	8	57
⑨	4	3	8	5	5	3	9	7	6	5	4	2	4	17	2	9	0	0
⑩	4	3	3	2	2	1	10	9	5	4	9	6	1	5	0	0	0	0
合計	119	100	156	100	149	100	111	99	119	100	149	100	19	96	20	99	14	100



本会の概要

平成30年度 事業経過報告

(平成31年2月20日現在)

1 会計監査

4月13日(金) 午後3時～5時 都庁第一本庁舎39階北側39階会議室を会場として、常任監事及び監事2名による各種帳簿類等の監査を実施(本会事務局長立会い)

2 理事会

5月10日(木) 午後3時～5時 都庁第二本庁舎10階215会議室で開催
出席者17名

3 総会・講演会

6月28日(木) 午後2時～4時50分 全商会館3階中会議室で開催

・総会 出席者49名

・講演会 出席者49名

演題 「情熱! 古紙リサイクル授業一紙はゴミじゃない!」

講師 明和製紙原料株式会社代表取締役会長 小六 信和 氏

※総会・講演会の報告は本誌に掲載しております。(本誌 P 43～55)

4 委員会

(1) 企画推進委員会 7月5日(木) 都庁第一本庁舎39階北側 打合せコーナーAで開催
12月27日(木) 都庁第一本庁舎16階 特別会議室S4で開催

(2) 中学校技術・家庭科教育功労者選考委員会

9月20日(木) 都庁第一本庁舎42階北側 特別会議室Dで開催

(3) 作文選考委員会 5月18日(金) 全体会 都庁第一本庁舎37階北側 教育委員会室で開催
10月23日(火) 分科会(中学校の部)

都庁第一本庁舎42階北側 特別会議室Dで開催

10月25日(木) 分科会(高等学校・専修学校の部)

都庁第一本庁舎16階 特別会議室S4で開催

5 振興奨励事業

(1) 教育功労者表彰: 11月15日(木) 午後3時から全商会館3階中会議室において、御下賜金記念産業教育功労者(31名)、中学校技術・家庭科教育功労者(5名)、専修学校産業教育功労者(5名)の表彰式を挙行了。本会より表彰状の授与と記念品贈呈を行い、記念撮影をした。(本誌 P 56～57)

(2) 研究団体助成: 産業教育関係の教育団体に対する奨励助成として、農業、工業、家庭、総合学科、定時制・通信制、中学校技術・家庭科の各研究会に対し、研究資料作成など事業活動費の一部を助成した。

(3) 作文コンクール: 中学生、高校生、高専生、専修学校生、短大生に対する作文募集を行い、応募総数は313点であった。その中から最優秀賞3名(中学校1名、高校1名、専修学校1名)、優秀賞7名(中学校3名、高校3名、専修学校1名)、佳作36名(中学校18名、高校18名、専修学校0名)計46名の入選者を選定した。

12月13日(木) 全商会館3階中会議室において「作文コンクール表彰式」を行い、入選者及び「明日に生きる 第29号 ー作文コンクール入選作品集ー」の表紙デザイン作成者に賞状と賞品を授与した。また、入選者以外の応募者全員及び表紙デザイン応募者全員に記念品を贈呈した。

(4) 優良卒業生選奨: 優良卒業生に対し、各学校の校長を通じ、本会会長及び公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰状の交付及び授与を行った。

○東京都産業教育振興会会長表彰

中学校	879 名	中等教育学校（前期課程）	10 名
高等学校	208 名	専修学校	66 名
高専・短大	14 名		
			計 1,177 名

○公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰

高等学校及び高等専門学校	計 113 名
--------------	---------

- (5) 後援事業：産業教育の普及向上に寄与する事業を実施する団体等に対して、本会の後援名義の使用を承認している。本年度は 8 団体、8 事業に対して後援名義の使用を承認した。（本誌 P 57）

6 産学交流事業

- (1) 産学懇談会（第 1 回）を 10 月 16 日（火）（午後 2 時～5 時）に二葉栄養専門学校、二葉ファッションアカデミー、二葉製菓学校を会場として行った。授業参観、施設見学の後、教育内容や産学連携等について話し合った。参加者は、会場校理事長・校長・教職員及び高等学校・専修学校の管理職・教職員、企業会員、教育庁指導部・都立学校教育部職員等 59 名であった。また、懇談会後、JR 吉祥寺駅近くで自由参加（30 名）による教育懇親会をもった。（本誌 P 58～59）
- (2) 産学懇談会（第 2 回）を 11 月 1 日（木）（午後 2 時～5 時）に都立第五商業高等学校を会場として行った。ビジネス科の授業、施設見学の後、教育内容や産学連携等について話し合った。参加者は、会場校校長・副校長・教職員及び産業界・公立高校・公立中学校・専修学校の管理職等、教育庁指導部・都立学校教育部職員等 49 名であった。また、懇談会後、JR 国立駅近くで自由参加（25 名）による教育懇親会をもった。（本誌 P 60～61）

7 産学連携事業

東京商工会議所及びあきる野商工会と連携して都立高校と企業の連携を推進した。

8 情報連絡事業

- (1) 会報「東京の産業と教育」を年 2 回、第 154 号を 7 月 17 日に、第 155 号を 12 月 1 日に発行し、全会員及び関係諸機関に配布した。
- (2) 会誌「東京の産業教育」第 56 号を 3 月上旬に発行し、全会員及び関係諸機関に配布する。
- (3) 生徒作文集「明日に生きる」第 29 号は入選作品 46 編を掲載して、3 月上旬に発行し、入選者及び全会員・関係諸機関に配布する。
- (4) 全国産業教育振興連絡協議会総会及び公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員会議が、5 月 24 日（木）に千代田区飯田橋の工業教育会館 6 階で開催された。本会より会長、副会長、事務局長、学校代表委員が出席した。
- (5) 文部科学省・山口県教育委員会・公益財団法人産業教育振興中央会他主催の第 28 回全国産業教育フェア山口大会、第 60 回全国産業教育振興大会（山口大会）が、10 月 20 日（土）～10 月 21 日（日）、山口県山口市内の会場を中心に開催され、本会から会長、事務局長、事務局員及び会員校 5 校が参加した。
- (6) 東京都産業教育振興会のホームページを月一回更新した。
- (7) 公益財団法人産業教育振興中央会が実施する「専門高校生徒の研究文・作文コンクール」、「専門高等学校教員の特別研究助成」に本会からの応募はなかった。また、同会主催の「教員海外産業教育事情研修派遣」に本会から 1 名が参加した。（本誌 P 32～33）

9 会員の増加運動の推進

今年度末までに産業界会員 2、学校会員 3（私立高等学校 2、公立中学校 1）が退会した。また、年間を通じて会員増加運動に取り組み、新たに産業界会員 4、学校会員 5（専修学校 2、公立中学校 3）が入会した。

平成29年度 決算

総収入額 ¥3,183,056
 総支出額 ¥2,496,402
 差引額 ¥686,654

[収入の部]

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	摘 要			
会 費	2,295,000	2,313,000	18,000	1 学校関係	円	校数・口数	1,533,000
				① 国公立中学校	2,000	426 校	852,000
				② 都立高校	全 6,000	53 校	318,000
					定 3,000	31 校	93,000
				③ 国私立高校	全 6,000	16 校	96,000
					通 3,000	2 校	6,000
				④ 高専・短大	3校 6,000	3 口	18,000
				⑤ 専修学校	24校 6,000	25 口	150,000
				2 産業界関係	円	口数	780,000
				① 企 業	49社 10,000	74 口	740,000
② 個 人	16人 2,000	20 口	40,000				
会誌広告料	165,000	275,000	110,000	「東京の産業教育」第55号広告費			
雑収入	294	3,350	3,056	銀行利子、都職信出資・配当金			
繰越金	591,706	591,706	0	前年度繰越			
合 計	3,052,000	3,183,056	131,056				

[支出の部]

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	差額	摘 要	
事務費		430,000	377,816	52,184		
項目	需用費	20,000	8,560	11,440	総会資料印刷、消耗品費等、資料管理費	
	役務費	370,000	369,256	744	配送費、郵便振込手数料、郵券等、連絡通信費	
	旅 費	40,000	0	40,000	全国産業教育フェア(秋田大会)	
会議費		70,000	68,968	1,032	理事会、総会、講演会、各種委員会	
事業費		2,374,000	1,984,618	389,382		
項目	振 興 奨励費	1,066,000	828,461	237,539	①教育功労者表彰	174,467
					②研究奨励助成	142,000
					③作文表彰等	393,942
					④永年会員表彰	0
					⑤表彰状印刷等	87,912
					⑥表彰状筆耕料	30,140
	情 報 連絡費	1,298,000	1,149,960	148,040	①会報発行(2回分)	190,944
					②会誌第55号発行	414,936
					③作文集第28号発行	362,880
					④HP更新費	178,200
⑤全産協参加費					3,000	
⑥中央会図書費					0	
⑦作文集・会誌合本費					0	
産学交流費	10,000	6,197	3,803	産学懇談会		
分担金		65,000	65,000	0	全国産業教育振興会連絡協議会	
予備費		113,000	0	113,000	緊急対応	
合 計		3,052,000	2,496,402	555,598		

(注)科目間の流用は、会長承認によって行うことができる。

平成30年度 予算

総収入額 ￥3,217,000

総支出額 ￥3,217,000

差引額 ￥0

[収入の部]

(単位：円)

科 目	本年度 予算額(A)	前年度 予算額(B)	増△減 (A-B)	摘 要
会 費	2,365,000	2,295,000	70,000	1 学校関係 円 校数・口数 1,569,000
				① 国公立中学校 2,000 426 校 852,000
				② 都立高校 全 6,000 53 校 318,000
				定 3,000 31 校 93,000
				③ 国私立高校 全 6,000 15 校 90,000
				通 3,000 2 校 6,000
				④ 高専・短大 6,000 3 校 18,000
				⑤ 専修 31 校 6,000 32 口 192,000
				2 産業界関係 円 口数 796,000
				① 企 51 社 10,000 76 口 760,000
				② 個 14 名 2,000 18 口 36,000
会誌広告料	165,000	165,000	0	
雑収入	346	294	52	預金利息等
繰越金	686,654	591,706	94,948	前年度繰越
合 計	3,217,000	3,052,000	165,000	

[支出の部]

(単位：円)

科 目	本年度 予算額 (A)	前年度 予算額 (B)	増△減 (A-B)	摘 要
事務費	480,000	430,000	50,000	
項 目	需用費	20,000	20,000	0 消耗品費等、資料管理費
	役務費	400,000	370,000	30,000 配送費、郵便振込手数料、郵券等、連絡通信費
	旅 費	60,000	40,000	20,000 全国産業教育フェア（山口大会）
会議費	80,000	70,000	10,000	理事会、総会、講演会、各種委員会
事業費	2,430,000	2,374,000	56,000	
項 目	振 興 奨励費	1,120,000	54,000	①教育功労者表彰 230,000
				②研究奨励助成 185,000
				③作文表彰等 450,000
				④永年会員表彰 50,000
				⑤表彰状印刷 160,000
				⑥表彰状筆耕料 45,000
	情 報 連絡費	1,300,000	2,000	①会報発行(2回分) 240,000
				②会誌第56号発行 450,000
				③作文集第29号発行 400,000
				④HP更新費 200,000
				⑤全産協参加費 6,000
				⑥中央会図書費 2,000
				⑦作文集・会誌合本費 2,000
	産学交流費	10,000	10,000	0 産学懇談会
分担金	65,000	65,000	0	全国産業教育振興会連絡協議会
予備費	162,000	113,000	49,000	緊急対応
合 計	3,217,000	3,052,000	165,000	

(注) 科目間の流用は、会長承認によって行うことができる。

平成 30 年度 東京都産業教育振興会 役員（敬称略・順不同）
（☆印：新任）

会 長	日本リスク・データ・バンク株式会社 顧問 （前・株式会社企業再生支援機構 代表取締役社長）	西 澤 宏 繁
副 会 長	株式会社カナック企画 相談役	金 子 昌 男
“	東京商工会議所理事・産業政策第二部長・オフィス環境部長	小 林 治 彦
“	☆ 東京都立蔵前工業高等学校長	渡 邊 隆
理 事 長	東京都教育委員会教育長	中 井 敬 三
常 任 理 事	☆ 東京都教育庁都立学校教育部長	江 藤 巧
“	東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長	星 政 典
理 事	☆ 公益社団法人経済同友会執行役	菅 原 晶 子
“	☆ 一般社団法人東京経営者協会事業局長兼人事・労働部長	山 鼻 恵 子
“	信川化学工業株式会社取締役社長	信 川 仁 道
“	株式会社日刊工業新聞社代表取締役社長	井 水 治 博
“	三和電気工業株式会社代表取締役会長	石 井 卓 爾
“	墨田区教育委員会教育長	加 藤 裕 之
“	江東区教育委員会教育長	岩 佐 哲 男
“	☆ 武蔵野市教育委員会教育長	竹 内 道 則
“	☆ 大田区教育委員会事務局学務課長	杉 山 良 樹
“	☆ 豊島区教育委員会事務局学務課長	木 山 弓 子
“	東京誠心調理師専門学校長	廣 瀬 道
“	学校法人小山学園理事長	山 本 匡
“	岩倉高等学校長	浅 井 千 英
“	安部学院高等学校長	安 部 元 彦
“	☆ 東京都立農産高等学校長	並 川 直 人
“	☆ 東京都立蔵前工業高等学校長（副会長兼任）	渡 邊 隆
“	東京都立第四商業高等学校長	高 石 公 一
“	東京都立忍岡高等学校長	岡 島 まどか
“	東京都立葛飾総合高等学校長	小 山 公 央
“	足立区立第七中学校長	佐 藤 秀 直
“	☆ 中央区立日本橋中学校長	平 松 功 治
“	☆ 東京都教育庁指導部長	宇 田 剛
“	☆ 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長	佐 藤 聖 一
“	☆ 東京都教育庁指導部主任指導主事（産業教育担当）	井 上 隆
“	東京都教育庁都立学校教育部ものづくり教育推進担当課長	小 川 謙 二
理事・事務局長	☆ 東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理（計画担当）	多 田 緑
常 任 監 事	東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理（管理担当）	甲 賀 一 紀
監 事	有限会社飯吉製作所代表取締役	飯 吉 修一呂
“	渋谷区立笹塚中学校長	柄 澤 茂 之

平成 30 年度 東京都産業教育振興会各委員会委員（敬称略・順不同）

企画推進委員会

東京都立農芸高等学校長	小堀紀明
東京都立練馬工業高等学校長	守屋文俊
東京都立赤羽商業高等学校長	山田和人
東京都立八王子拓真高等学校長	富川麗子
東京都立東久留米総合高等学校長	加藤瑞樹
東京実業高等学校長	知念義裕
安部学院高等学校長	安部元彦
マリールイズ美容専門学校顧問	江原美規子
東京都立産業技術高等専門学校副校長	渡辺和人
台東区立駒形中学校長	瀬川眞也
東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事	山本進一
東京都教育庁指導部義務教育指導課指導主事	鈴木太郎

作文選考委員会

東京都立瑞穂農芸高等学校長	小堀卓二
東京都立杉並工業高等学校長（高校・専修学校の部委員長）	高幹明
東京都立荒川商業高等学校長	長江誠
東京都立翔陽高等学校副校長	木田貴子
東京都立町田総合高等学校長	信岡新吾
日本工業大学附属駒場高等学校教諭	原田宏子
安部学院高等学校長	安部元彦
国際理容美容専門学校副校長	佐谷肇
東京都教育庁指導部高等学校教育指導課課長代理	宮路みち子
東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事	佐竹晶博
墨田区立竪川中学校長（中学校の部委員長）	織部明広
足立区立第十中学校長	早乙女雄一郎
中央区立日本橋中学校副校長	磯田耕司
小平市立小平第六中学校副校長	吉田功
江戸川区立松江第五中学校副校長	濱川一彦
足立区立江南中学校長	宮下みどり
町田市立真光寺中学校長	矢島加都美
荒川区立第五峽田小学校長	出井玲子
小平市立小平第五中学校副校長	深井明美
稲城市立稲城第二中学校副校長	跡邊昭枝
東京都教育庁指導部義務教育指導課統括指導主事	吉川泰弘
東京都教育庁指導部義務教育指導課指導主事	鈴木太郎

東京都産業教育振興会会則

第 1 章 総 則

第 1 条 この会は、東京都産業教育振興会という事務所を東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課（東京都新宿区西新宿 2-8-1）内におく。

第 2 条 この会は、産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校などの産業教育の改善進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

第 3 条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産業教育振興運動の推進に関すること。
- (2) 産業教育の調査研究に関すること。
- (3) 産業教育の普及理解に関すること。
- (4) 産業教育、就職問題などに関する懇談会、講演会、研究会などの開催並びにこれらについての資料の頒布、情報の連絡に関すること。
- (5) 産業教育振興に関し関係機関への建議に関すること。
- (6) 関係行政機関の施策に協力すること。
- (7) 産業教育に関する教職員の研究奨励に関すること。
- (8) 産業教育に関する生徒の就学並びに学習の奨励に関すること。
- (9) その他本会の目的を達成するのに必要なこと。

第 2 章 会 員

第 4 条 本会は次の会員をもって組織する。

- (1) 団体会員 会社、工場、本都内における学校およびこれが振興を目的とした団体を代表するもので本会の趣旨に賛同したもの。
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同したもの。
- (3) 名誉会員 産業教育又は本会に功績があった者で会長が理事会の議を経て推薦したもの。

第 3 章 役員及び職員

第 5 条 この会に会長 1 名、副会長 3 名、理事 25 名以上 35 名以内及び監事 3 名をおく。

第 6 条 会長、副会長は理事会で選出する。会長は会務を総理し、本会を代表する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代る。

第 7 条 理事は東京都教育委員会教育長、東京都教育庁都立学校教育部長、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長の職にある者のほか、総会で選出する。

2. 理事長は東京都教育委員会教育長の、常任理事は東京都教育庁都立学校教育部長及び東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長の職にある理事をもって充てる。
3. 理事長は会務を掌理するとともに理事会を代表し、常任理事は日常の会務を執行する。
4. 理事は理事会を組織する。
5. 理事会は理事長が招集し重要な会務を処理する。

第 8 条 監事は東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理（管理担当）の職にある者のほか、総会で選出する。

2. 監事のうち 1 名は常任監事とし、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課課長代理（管理担当）の職にある監事をもって充てる。
3. 監事は会計を監査し、総会に報告する。

第9条 この会の役員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

第10条 この会に顧問・参与をおくことができる。

2. 顧問は会長の諮問に応じ、参与は理事会、総会に出席して意見をのべることができる。

第11条 この会の事務を処理するために事務局をおく。事務局には事務局長、書記その他の必要な職員をおくことができる。

2. 事務局の職員は理事長が任免する。

3. 事務局長は日常の事務を総括処理し、書記その他の職員は日常の事務を処理する。

4. 職員は有給とすることができる。

第4章 総 会

第12条 総会は年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは臨時招集することができる。

2. 総会は会長を議長とし、事業方針、予算決算その他重要な会務を審議する。

第13条 総会の決議は出席者の過半数によって定める。

第5章 部会分会

第14条 この会には部会又は分会をおくことができる。部会又は分会に関する規定は理事会の議を経て会長が定める。

第6章 会 計

第15条 この会の事業執行に要する費用は会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第16条 会費は次の通りとする。

(1) 団体会員

ア 産業界会員 1口 年額1万円

イ 学 校 会 員

○高等学校全日制 1口 年額6千円

○高等専門学校 同

○短期大学 同

○専修学校 同

○高等学校定時制・通信制 1口 年額3千円

○中学校 1口 年額2千円

(2) 個人会員 1口 年額2千円

ただし、総会の決議により臨時会費を徴収することができる。

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第7章 支 部

第18条 この会に支部をおくことができる。

第8章 会則の変更及び解散

第19条 この会の会則の変更及び解散は総会の決議を経なければならない。

第9章 付 則

第20条 本会則実施に必要な細則は会長が理事会の議を経て定める。

昭和30年5月20日制定

以下の総会で一部改正

昭和46年度、52年度、58年度、平成18年度、20年度、22年度、27年度、28年度

産 業 界 会 員 名 簿

50 音順

	企業会員名	所在地	過去5年間の採用実績	企業の概要・特色
1	(株)明石スクールユニフォームカンパニー	中央区	専修卒 四大卒	富士ヨット詰襟学生服及び別注学校制服・体育着・実習服を製造している学生服メーカーです。学校オリジナル制服としては50校超の都立高校制服を製造しています。また、デサント体育着も好評をいただいております。
2	あきる野商工会	あきる野市	短大卒 四大卒	商工会は、地域の事業者が業種に関わりなく会員となって、お互いの事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を行う団体です。
3	(株)秋月電子通商	世田谷区	四大卒	電子部品（主としてコンピュータパーツ）、及び制御コンピュータ用応用機器製品の販売、電子工作用各種製品開発セット、製作、直接販売。世界各国の最新機器の日本への紹介。
4	浅地事務所	港区	—	経営相談、コンサルティング、社外役員の紹介及び仲介他。
5	(有)飯吉製作所	葛飾区	—	金属プレス加工業を昭和24年創業、昭和37年会社設立後、永年培った技術を活用し、アルミ押し出し型材のプレス加工金型の設計製作を始め、各種プレス金型分野に進出、傍ら自社ブランドのキャスターを開発、製造販売を始め、現在に至る。
6	(株)エイコー	葛飾区	高校卒	昭和35年にビルメンテナンス業を創業。平成13年、同業他社に先駆けて「ISO9001」を取得。現在、ビルメンテナンスのみに留まらず総合管理業として、躍進しております。
7	エス・イー・シーエレベーター(株)	台東区	高校卒 専門学校卒 短大卒 四大卒	エレベーター・エスカレーターの保守点検、新設・リニューアル工事・LED・サイネージ・太陽光事業等を行っております。
8	エンゼルフーズ(株)	北区	短大卒 四大卒 大学院	1965年創業、「永遠に未完成の給食づくり」を企業理念として、未来を担う子供たちの健康と幸せのためのサポートをさせて頂いております。幼稚園給食のリーディングカンパニーとして日本一の生産食数を誇っており、東京、神奈川、埼玉、千葉の一都三県において、一日5万食を提供しております。
9	(株)カナック企画	葛飾区	高校卒 四大卒 大学院	当社は、カーオーディオやカーナビゲーションなどカーAV(Audio Visual)機器の取付キットビジネスの最前線を常に開拓するリーディングメーカーです。ISO9001・14001・22301を取得して品質を重視し、環境に配慮した商品の開発を行っております。
10	亀有信用金庫	葛飾区	四大卒	信用金庫法に基づく金融業。葛飾区、足立区、三郷市、八潮市を中心に23店舗を構え、お客様との信用・信頼を第一に地域のコミュニティバンクとして活躍しています。
11	(株)川邑研究所	目黒区	専修卒 四大卒	固体被膜潤滑剤の研究・開発・製造・販売。
12	(株)キクチ	品川区	高校卒 専修卒 高専卒 四大卒	ビルディングオートメーションシステムのメンテナンスサービス。設備管理サービス。電気計装工事。内装・補修工事。省エネソリューションビジネス。
13	(株)キトウ	千代田区	四大卒	中学校技術・家庭科および美術科・工芸科用教材・教具および機械・工具の専門店。工作機械、工作台等のメンテナンスサービスも充実させています。
14	(株)きらぼし銀行	港区	四大卒	きらぼし銀行は、2018年5月に東京都民銀行、八千代銀行、新銀行東京の3行が合併し、新たなスタートを切りました。「首都圏における中小企業と個人のお客様のための金融グループとして、総合金融サービスを通じて、地域社会の発展に貢献します。」という経営理念を掲げ、首都圏においてお客様から真に愛される地域No.1の都市型地銀グループを目指します。
15	恵雅堂出版(株)	新宿区	高校卒 短大卒 四大卒	卒業アルバム及び一般書籍の出版。
16	(株)小葉印刷所	中央区	—	創業90年の印刷会社。学会誌、書籍の編集・印刷に強み。近年、エディトリアルデザインやWeb用のデータ作成業務に力を入れている。
17	(株)興銀不動産開発	葛飾区	四大卒	平成2年創業以来27年、地元根を下ろし不動産に精通したスタッフが信用第一をモットーに営業活動しております。尚若い力を注入して活気ある会社運営を目指します。
18	国光施設工業(株)	大田区	専修卒	創立100周年を目指し、顧客の施設（電気・計装・空調・通信・太陽光発電）を計画段階から建設、メンテ及び施設の取壊しまで長期に渡り担当するエンジニアリング集団です。

	企業会員名	所在地	過去5年間の採用実績	企業の概要・特色
19	三和電気計器(株)	千代田区	高校卒	1941 年創業、従業員 70 名の現場用電子計測器の専門メーカーです。高品質のアナログテスタ、デジタルマルチメータ、クランプメータ、絶縁抵抗計などを製造し、日本国内はもとより世界 74 ヶ国以上に輸出し、SANWA ブランド製品として高い信頼を得ています。
20	三和電気工業(株)	中野区	高校卒 専修卒 四大卒 大学院卒	1947 年に電気通信部品メーカーとして発足。光コネクタのパイオニアメーカーとして情報化の発展に寄与しているだけでなく、近年は通信分野以外（新幹線等）で光トランシーバが好評を博しております。今後も存在感のある企業として世界中に製品を提供し続けていきます。
21	実教出版(株)	千代田区	四大卒	高等学校用教科書・教材類・専門図書等の出版・販売および不動産賃貸業を展開。情報・実業科目に強み。情報教育・情報処理検定試験等にも注力している。1941 年創業、従業員 150 名。
22	(株)昭和理化	豊島区	高校卒	消防用設備（自動火災報知設備、消火設備、避難設備）、弱電設備（インターホン、ナースコール、テレビ共聴、放送、映像、監視用テレビカメラ、防犯）の施工、保守。多様化社会の昨今、需要多く多岐にわたる技術及び法対応に自信を持って対応致しております。
23	城北礦油(株)	北区	—	免震構造の 13 階建の賃貸住宅を経営（部屋数 56 室）1 階はコンビニエンスストア。
24	(株)鈴木塗装工務店	足立区	高校卒 専修卒 短大卒 四大卒	全国主要都市に支店・営業所を有し、ビル・マンション・工場等のリニューアル工事を多岐に亘り施工しております。また、安全・環境・美観対策に効果的な工法を積極的に取り入れた施工を行い、ISO9001：2008 認証取得により品質管理を徹底しております。
25	青和信用組合	葛飾区	四大卒	「限定地域主義」の方針のもと、葛飾区の八町、江戸川区の二町、足立区の五町に居住される皆様と、地域内で事業を営まれる中小企業、並びにそこに勤務される方々を対象に営業しております。
26	千住金属工業(株)	足立区	高校卒 高専卒 短大卒 四大卒 大学院卒	1938 年創業以来、エレクトロニクス、自動車など各種産業分野になくはならない、はんだ材料と自動はんだ付け装置やすべり軸受けを提供してきました。また、社会のニーズに応えるため、国内に 17 箇所、海外に 25 箇所以上の拠点を置き、グローバルな視点で事業を展開しています。創業理念である先進技術への挑戦を続け、次世代先端分野に相応しい新領域への研究開発・製品化の取り組みを一層強化していきます。
27	第一科学(株)	文京区	高校卒	高校、大学、官公庁（都内）への理科機器、コンピュータ、教育用機材の販売。
28	(株)第一成和事務所	中央区	四大卒	1957 年創業以来保険代理店として、お客様に適切な保険の提供を通して「安心と安全」な生活と経営の実現に貢献することを目指しています。皆様に安心してキャリア形成いただけるよう「インターンシップ・ボランティア等体験活動保険」を提供させていただいております。
29	(株)竹尾	千代田区	四大卒 大学院卒	1899 年の創業以来、一般印刷用紙、特殊印刷用紙（ファインペーパー）の開発、販売を通して「情報の伝達」「環境の保護」「文化の向上」等の社会貢献に寄与しています。「ファインペーパーの竹尾」と全国に知れ渡り、約 320 銘柄、8,500 種の紙を取り扱い、市場ニーズにあった製品の提供を続けています。
30	(株)チバダイス	葛飾区	高校卒 高専卒 専修卒 四大卒	プラスチック歯車の金型や金属の歯車を製作。自社歯車の開発や、研究所ではトライボロジーの研究も行っています。売上げの 3 割は海外との取引です。
31	(株)ツバサ・翼学院グループ	葛飾区	短大卒 四大卒 大学院卒	学習障がい、不登校、非行歴のある子など約 400 名の塾生が在籍（青砥駅前校、高砂校、水元校、青砥西口）、当塾から都立高、私立中高、大学へと巣立っていきます。児童発達支援・放課後等デイサービスつばさクラブを併設して生活訓練や、社会との関わりに関する訓練も行っています。また第一薬科大学付属高校学習センターとして高校卒業のサポートを行っています。「学校でさじをなげた子を何とかしてくれる機関」として文部科学省や各地域の教育委員会からの視察、著書やメディアからの取材も多数あります。第 7 回日本でいちばん大切にしたい会社実行委員会特別賞、平成 28 年東京都経営革新奨励賞受賞。
32	鉄道機器(株)	中央区	高校卒 高専卒 四大卒	大正 3 年創業。昭和 62 年の国鉄民営化までは日本国有鉄道の指定工場として鉄道分岐器を専門に製作し、民営化後は JR 各社をはじめ私鉄各社、各都市交通局等向け分岐器の設計・製作・販売を全国的に展開してきました。近時は特に北陸新幹線、北海道新幹線用の高速分岐器を納入致しました。

	企業会員名	所在地	過去5年間の採用実績	企業の概要・特色
33	東京ガス(株)	港区	高校卒 高専卒 四大卒	東京ガスグループは、1885年の創立以来、130年余にわたり、首都圏を中心とした地域への都市ガス供給を通じて、お客さまの豊かな暮らしや社会の発展を支えてまいりました。2017年には電力小売り事業にも参入し「豊かで潤いのある暮らし、活力に溢れ競争力のある産業、環境に優しい安心できる社会」の実現に貢献してまいります。
34	東京商工会議所	千代田区	四大卒 大学院卒	東京商工会議所は東京23区内の会員（商工業者）で構成される民間の総合経済団体です。1878年に設立され、商工業の総合的な発達と社会一般の福祉の増進を目的に、経営支援活動、政策活動、地域振興活動の3つを柱として活動しています。
35	東京書籍(株)	北区	四大卒 大学院卒	1909(明治42)年創業。「教育と文化を通じて人づくり」を企業理念とし、新しい時代に挑戦する個性的、創造的な人材の育成を目指す。小・中・高校教科書発行部数は業界首位。学習教材・指導用教材・学習参考書も発行。デジタル教科書などのデジタルコンテンツの開発・販売、教育総合ポータルサイト運営などのインターネットサービス、学力・体力テストなどの各種評価事業、一般書籍・辞典等の出版に加え、日本語検定関連業務も行っている。
36	東京スマイル農業協同組合	葛飾区	高校卒 四大卒	東京スマイル農業協同組合（JA 東京スマイル）は平成13年、江東三区にある足立農業協同組合、葛飾農業協同組合、江戸川区農業協同組合の3農協が合併し誕生しました。当組合は「地域社会への貢献」と「健全経営」を目指し、お客様のニーズに応えるべく、経営体制の構築を図っており、地域の農業を活性化させることを使命に、営農指導をはじめ、信用（金融）事業、共済（保険）事業、購買事業、販売事業（直売所）、宅地等供給事業、遺言信託事業、利用（葬儀）事業など、さまざまな事業を展開しています。
37	公益社団法人 東京都専修学校 各種学校協会	渋谷区	—	東京都内の専修学校各種学校を代表する唯一の団体です。会員校の連携、協力のもと専修・各種学校教育の改善発展に貢献し、職業教育の振興普及を図ることを目的としています。1961年に設立され2012年に公益法人認定を受けました。会員校数は344校（2018年11月現在）
38	(有)東京プリンテック	世田谷区	—	“信頼を紙上に示す”をモットーに、お客様のご要望にきめ細かく対応することを心がけております。名刺・封筒・カタログ・冊子まで、便利な街の印刷屋さんを目指しています。
39	(株)日刊工業新聞社	中央区	高校卒 専修卒 短大卒 四大卒 大学院卒	「モノづくり立国」「技術立国」「中小企業振興」を理念とするわが国唯一の産業総合紙。創刊は1915年(大正4)、2015年に創刊100周年を迎えた。新・産業革命をもたらすIoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)、ロボット、ビッグデータの取材に力を入れる。国際ロボット展をはじめとするイベント事業も大きく展開する。
40	日本広告(株)	豊島区	高校卒 専修卒 四大卒	昭和20年創業。以来、電柱広告、交通広告をはじめとする屋外広告物の販売代理店として、永年にわたり地域の病院、質店、各種企業、商店等、幅広い業種の皆様の宣伝、誘導案内のお手伝いをしてきた会社です。
41	日本自動ドア(株)	中野区	高校卒 専修卒 高専卒 短大卒 四大卒	日本自動ドアは、人々の暮らしの快適さと利便性の向上を目的とし、高品質の自動ドアエンジンと、迅速で信頼性の高いメンテナンスサービスを提供しています。
42	信川化学工業(株)	葛飾区	—	超大型射出成形機を多数設備し、プラスチック製品を製造する。中型・大型・超大型のプラスチック射出成形品には、JA 機器・建築・土木・工業品・自動車・家電・日用品雑貨等幅広い分野の製品がある。射出成形機2,700t、2,200t、1,600t × 2、1,200t、850t × 4、650t × 2 他計21台。クレーン20t、10t 他。
43	(株)箸勝本店	千代田区	—	明治43年創業の割箸専門店です。国内、海外へ業務用から家庭用、粗品用を含め300種類以上の特徴あるお箸を揃えております。昭和25年より宮内庁に白木のお箸を納め始め、今も園遊会など各種行事に納入しております。
44	(株)ハチオウ	墨田区	四大卒 大学院卒	産業廃棄物処理業として多品種の廃液や化学薬品の特殊な廃棄物の処理を行っています。これらの廃棄物処理は化学的知識や専門性を必要とします。都内では処理業者の数が少なく、各種研究機関や大学、民間企業の工場より評価・受注を頂いております。
45	日野自動車(株)	日野市	中学卒	「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を社会的使命として掲げ、企業活動と地球環境保全との調和を図るとともに、世界各地域の経済発展に貢献すべく、安全かつ効率のよい輸送を担うトラック・バスの開発・製造・販売・サービスに努めております。

	企業会員名	所在地	過去5年間の採用実績	企業の概要・特色
46	(株) Five Rings	港区	—	資産形成コンサルタント業 ①人生計画書の作成サポート（人生計画実現に向けての資産計画、公的制度活用、教育情報の提供）②資産形成コンサルティング（事業計画策定、経費削減プラン、事業承継、M&A、各専門家のご紹介）③リスクマネジメント（効果的な生命保険・損害保険の選択、活用アドバイス）④資金調達サポート（融資における必要書類の作成アドバイス、ポイント説明）⑤セミナー・研修会（営業力、目標設定、マネープラン、副業支援、不労所得）
47	ベストワールド(株)	千代田区	四大卒	海外視察・研修旅行をお世話して50年。各教職員派遣をはじめ、業界別視察旅行、中高生対象の英語研修・ホームステイ、企業の社員旅行等を多数主催しております。また、オーダーメイド旅行も承ります。
48	明和製紙原料(株)	千代田区	—	東京都23区を中心に、個人情報や企業情報などの機密情報（紙媒体）を完全に抹消（溶解処理）するサービス
49	山崎教育システム(株)	東村山市	専修卒 四大卒	全国中学校、高等学校オリジナル実習教材、教育用ソフトウェア企画、開発、販売（全国代理店500社）。
50	ヤマ産業(株)	文京区	—	教育備品を販売して50年。学校より信用を得て、安定している。
51	(株)読売新聞東京本社	千代田区	四大卒 大学院卒	「読売新聞」は1874年（明治7年）11月の創刊。全国紙として成長し、1994年に発行1000万部を達成した。発行部数は世界一。2011年に「読売 KODOMO 新聞」、2014年に「読売中高生新聞」を創刊した。
52	涼和総合法律事務所 弁護士 飯田 豊浩	港区	—	2003年に弁護士登録（第一東京弁護士会）し、16年目を迎えました。2011年以降、自治体の教育委員会顧問として学校や教育委員会からの様々なご相談に対応すると共に、企業からのご依頼（契約書作成、債権回収、労務等）、個人からのご依頼（遺言・相続、離婚、不動産取引等）に幅広く対応しています。

学 校 会 員 名 簿

50 音順

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
--	-----	-----	----	------------------------	----------

私立高校

1	愛国高等学校	江戸川区	全	普通科 (160) 商業科 (80) 家政科 (80) 衛生看護科 (40) 衛生看護専攻科 (40)	昭和 13 年創立以来、「親切正直」の校訓の下で女子教育を行っている。普通科は A (一般教養)・B (進学) の 2 コースが、商業科は「会計」・「情報処理」の 2 コースがあり、どちらも公認資格をできる限り取得させる。卒業時に、家政科は調理師資格を、衛生看護科は准看護師受験資格を、衛生看護専攻科 (上級 2 年課程) は看護師受験資格を取得する。上級学校には、上記衛生看護専攻科の他に、大学 (人間文化学部)・短期大学 (家政科・栄養士資格)・保育専門学校 (幼児教育科幼稚園教諭免許・保育士資格) がある。
2	安部学院 高等学校	北区	全	商業科 (200)	1940 年 (昭和 15 年) に創立して以来、一貫して「商業科のみの女子高校」として歩み続け、今年、満 78 年を迎えました。在校生には、「5 つの挨拶」「資格取得」に力を入れて指導しています。2 年次よりコース制になり、簿記 1 級の取得を目指す「会計コース」と、パソコン等の実務的な授業を多く履修する「ビジネスコース」の 2 コースに分かれて授業を行っています。卒業後の進路は、就職希望者よりも進学希望者が多く占めています。
3	岩倉高等学校	台東区	全	普通科 (330) S 特コース (30) 特進コース (60) L 特コース (60) 総進コース (180) 運輸科 (120)	我が国初の鉄道学校として明治 30 年に創立。多くの卒業生が鉄道・運輸業界で活躍している。平成 26 年度の入学生から「男女共学化」、「普通科・運輸科の 2 科システム」を実施し、学校の変革を進めている。普通科には S 特・特進・L 特・総進の 4 コースを設置し、進学教育に注力している。電子黒板を全ホームルーム教室に導入するなど、充実した環境の中で、特色ある教育内容や様々な進路指導を通じて、生徒の夢を具現化するカリキュラムで学力の向上に取り組んでいる。
4	NHK 学園 高等学校	国立市	通	普通科 (3475)	昭和 38 年 (1963 年) にわが国で初めての広域通信制高等学校として開校しました。学習に放送 (NHK 高校講座) を全面的に取り入れ、どこでも学べる学校として多様な生徒への学びを提供しています。不登校傾向の生徒に向けた登校回数の少ないコースから、週 3 日登校のコースまで生徒の個に応じた学び方を用意しています。
5	大森学園 高等学校	大田区	全	普通科 (240) 国立コース (40) 選抜コース (80) 総進コース (80) 英語コース (40) 工業科 (120) 機械技術コース 電気技術コース 情報技術コース	昭和 14 年、大森地区の中小機械工場主により大森工業徒弟学校を創立。平成 17 年、学校名を大森工業高校から大森学園高校に変更。同時に普通科を設置。平成 19 年度より男女共学化。平成 31 年、創立 80 周年を迎える。 普通科は 4 コース。国立コースは、国公立大学への大学進学を目指すことに特化したカリキュラムで学ぶ。選抜コースは、GMACH などの難関私立大学への現役合格を目指す。総進コースは日東駒専などの有名私立大学への現役合格を目指す。選抜コース・総進コースのカリキュラムは同じだが、総進コースは基礎的な内容からしっかり学習する。平成 30 年度に設置された英語コースでは、英語の授業が週に 10 時間。総合学習では「国際人」を育成する授業を行う。 実習などの授業で次世代を担う人材の育成を目的とした工業科は、1 年次には各分野の基礎を勉強し、2 年次から機械技術・電気技術・情報技術の 3 コースに分かれて専門知識を身につける。就職や進学に有利な資格にも挑戦し、就職の内定率は 100%。
6	科学技術学園 高等学校	世田谷区	定 通	普通科 (160) 普通科 (2,750) 電気科 (900) 機械科 (600)	昭和 39 年に広域通信制工業高等学校として創立し、昭和 50 年普通科設置、昭和 52 年現校名に変更する。昭和 53 年昼間定時制課程を設置し、単位制総合高等学校として、様々な生徒のニーズに対応できる教育環境を整えている。 通信制課程では、企業内訓練校を中心とした技能連携コース、と個人を対象とした単位制コースがあり、単位制コースは、登校日数を選んで登校する「通学型クラス」、インターネットでスクーリングを受ける「e ラーニングコース」があり、生徒個々人のライフスタイルに合わせた学習環境を選べるコースを設置している。 昼間定時制課程は (男子のみ)、生徒が積極的に学習に取り組むよう、ICT 機器を導入した参加型授業を実践している。また、2～3 年次には総合選択コース制を導入し生徒の多様化に対応している。平成 31 年度より、「情報クラス」を新設する。
7	蒲田女子 高等学校	大田区	全	普通科： 幼児教育コース (80) キャリアコース (170)	【創立】漢学者・教育者である学祖簡野道明の「子どもの教育にとって最も大切なのは母親であり、その母親となる女性の教育こそ教育の根本である」・「人間生活を律する根本の筋金は道徳なり」との教育理念に基づき、昭和 16 年に夫人の信衛によって蒲田高等女学校が創立された。 【2 コース制】併設する蒲田保育専門学校・ふぞく幼稚園・ふぞく保育園のバックアップのもと、実践的な教育環境をもつ『幼児教育コース』と、多彩なカリキュラム選択で、希望する進路を柔軟にサポートする『キャリアコース』の 2 コース制を展開し、日本文化を尊重しながら、時代の変化に主体的に取り組み、社会に貢献する女性の育成に努めている。
8	京華商業 高等学校	文京区	全	商業科 (150)	生徒一人ひとりの個性を伸ばすオンリーワン教育を推進。資格検定試験合格にむけたきめこまかい指導を行っている。また、はやくからインターンシップをとり入れるなど、キャリア教育にも力を入れている。
9	昭和第一学園 高等学校	立川市	全	普通科 (456) 特別選抜コース (16) 選抜進学コース (120) 総合進学コース (320) 工学科 (120)	1940 (昭和 15) 年昭和第一工業学校として創立。1989 (平成元) 年より昭和第一学園高等学校と改称し、男女共学、普通科・工学科の総合学園となる。2018 (平成 30) 年 4 月より普通科に新たなコースを設置、グローバル化に対応できる人材の育成を目指す。工学科は 2017 (平成 29) 年度よりコースを統合。他分野を総合的に学びつつ進路希望に合わせて履修科目を選択できる。高大専連携により大学等の実習機材でデジタルなもののづくりを学ぶ。進学支援センターによる学習支援、キャリアカウンセラーによる相談、資格取得支援により「確かな学力と豊かな人間性に支えられた人間力の育成」を目指す。
10	昭和鉄道 高等学校	豊島区	全	鉄道科 (215)	校名に「鉄道」を冠した、日本で唯一の高校である。昭和 3 年 (1928 年) 創立、以来一貫して、鉄道・交通を中心とする産業教育をすすめて、現在まで 19,000 名以上の卒業生を鉄道界を中心に送り出している。社会情勢に鑑み、平成 16 年 (2004 年) に男女共学とした。鉄道科のみを設置している。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
11	大成高等学校	三鷹市	全	普通科： 特別進学コース（75） 文理進学コース（290） 情報進学コース（40）	校名の由来である「大器晩成」を教育理念とし、生徒の能力が大きく開花するように、学力や人間力を身につけさせます。特進コースはもちろん文理コースでの進学実績も向上しています。また、情報コースでは全員が情報処理検定 1 級に合格することをめざして専門技術と理論の習得に力を入れています。
12	中央学院大学 中央高等学校	江東区	全	普通科（50） 商業科（50）	創立以来 110 年を超える歴史と伝統の中で、建学の精神の下「倫理観」を持った誠実な人間の育成を指導理念として、人格教育を実施しています。生徒一人ひとりの興味・関心・能力を見極め、秘めた可能性を引き出すことに力を注いだ教育活動に励んでいます。さらに、平成 29 年度から ICT（タブレット）を活用した先進的な教育環境を整えます。進学も中央学院大学への優先入学とともに、幅広い進路に配慮した指導に特色があります。
13	東京実業 高等学校	大田区	全	機械科（135） 電気科： 電気コース（45） ゲーム IT コース（45） 普通科： ビジネスコース（180） 文理コース（90）	全科男女共学。週 5 日制。総合学園高校として各科、各コースの生徒は目的を持って学校生活を送ります。自立できる人間を育成するために、3 年間で各種の資格取得に力を注ぎ、進路の決定に役立てます。 また、転科試験で学校生活を見直す機会を持ち、国際理解教育の一環として、米国コロラド州ボルダー地区の公立高校との間に交換留学制度があります。 電気科ゲーム IT コースは平成 22 年度より、文理コースと共に土曜日は特別授業。
14	日本工業大学 駒場高等学校	目黒区	全	普通科： 特進コース（40） 理数特進コース（40） 総合進学コース（190） 工学科： 理数工学科（90） 創造工学科（70） 機械コース・建築 コース・電子情報 システムコース	生徒一人ひとりの希望進路の実現を目指す普通科（3 コース・共学）と多様な進路選択ができる工学科（理数工学科・共学、創造工学科・男子）をもつ創立 111 年の学園です。創造工学科は機械・建築・電子情報システムの 3 コースを括り募集します。入学後一年間普通教科のほかに工学の学科を総合的に学習して 2 年進学段階でコースを選択します。
15	八王子実践 高等学校	八王子市	全	普通科： 特進コース J 特進（20） 特進（60） 文理コース 文理選抜（80） 文理進学（140） 普通コース（180）	建学の精神は「自重・自愛・自制・自立」、そして伝統的教育理念である「実践」を根幹として「知育・徳育・体育」の調和のとれた全人教育を目標に 90 年の歴史を歩んでいます。普通科は特進コース、文理コース、普通コースの 3 コースを設け、進学や就職など、多様な進路選択ができるよう学習指導を行っています。調理科は募集を停止しております。
16	日野工業 高等学園	日野市	通	(60)	日野自動車株式会社にある、「モノづくり」のリーダーの育成を目指す企業内高校です。授業、実習、クラブ活動、様々な学校行事があります。知識・技能だけでなく、心の育成にも重点をおき、心技体のバランスのとれた人材を育成し、卒業後は各職場で活躍しています。
17	村田女子 高等学校	文京区	全	普通科（80） 商業科（82）	夢を叶え素敵な未来を拓くために、目的を持って現役進学を目指す普通科と現代社会に即した知識と技術を磨き、社会で活躍するステキな女性を目指す商業科。 村田は二科五コースで生徒一人ひとりのキャリアデザインを支援しています。その柱になるのが「資格取得」教育。中学までは気がつかなかった自分の可能性を、「検定試験」への挑戦で引き出し、自信につなげていきます。

都立高校

▽農業に関する学科

1	都立園芸 高等学校	世田谷区	全	園芸科（70） 食品科（35） 動物科（35）	1908 年（明治 41 年）に創立し 110 周年を迎える。全国農業系高校の中心校である。100 年前に日本からの桜寄贈のお礼に米国から頂いた「百年ハナミズキ」が我が国で唯一現存しており、平成 27 年 4 月にはケネディ米国大使、農林水産副大臣、都教育長が来校され記念式典を行った。さらに、三代将軍徳川家光公遺愛の松の盆栽など歴史的財産が校内随所にある。園芸科、食品科、動物科があり生徒の多様な進路に応えている。定時制園芸科では大人を対象とした園芸技術専修生制度もあり、夜間 2 年間の専門学習で卒業ができる。
			定	園芸科（30）	
2	都立農業 高等学校	府中市	全	都市園芸科（35） 緑地計画科（35） 食品科学科（35） 服飾科（35） 食物科（35）	明治 42 年（1909 年）に創立された多摩地区で長い歴史と伝統のある専門高校である。全日制課程は、創立以来 109 年間、常に社会の変化に対応した先進的な農業と家庭に関する専門教育を通じて、個性豊かで創造力あふれ、豊かな感性と思いやりの心をもって、自ら学び考え行動できる、社会に貢献する人材を育成してきた。農業に関する学科の都市園芸科、緑地計画科、食品科学科では、充実した実習施設を活用して実践力を育成する農業教育を推進している。また、家庭に関する学科の服飾科、食物科（卒業と同時に調理師免許が取得できる）では、都立高校唯一の学科としての誇りをもち、次代のファッションクリエイターや私たちの食生活の充実に貢献できる調理師を育成している。多くの卒業生がそれぞれの専門分野で活躍していることも本校の強みである。
			定	食品化学科（30）	定時制課程は、教育目標である「他者への思いやりをもって、未来を切り拓く人間の育成」を達成するため、農業科及び普通科としての特色ある教育活動を展開し、きめの細かい指導を通じて生徒の進路希望の実現を目指している。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
3	都立農芸 高等学校	杉並区	全	園芸科学科 (35) 食品科学科 (70) 緑地環境科 (35)	創立 1900 年 (明治 33 年) に創立された都立農業系専門高校の中で一番歴史と伝統のある学校です。全日制に園芸科学科、食品科学科、緑地環境科の 3 学科 4 学級、定時制に農芸科 1 学科を設置しています。都心の住宅地の真真中に位置し、緑に囲まれた校舎、実習棟や農場など合わせて広い敷地があります。最新の施設や設備が導入され、教育活動の充実を図っています。都庁前広場の花壇作り、地元阿佐ヶ谷駅前の花壇作り、地域貢献活動の推進として、保育園、小学校等の児童との農場体験活動を地域社会との連携を積極的に行っています。また、「環境教育実践宣言校」として、都市及び自然環境の創造とゴミの減量・節電に日々取り組み、環境にやさしい農業高校を目指しています。なお、都立高校唯一の馬術部を設置し馬術競技の練習に励んでいます。
			定	農芸科 (30)	
4	都立農産 高等学校	葛飾区	全	園芸デザイン科 (70) 食品科 (70)	東京都東部にある唯一の農業高校で、「食と緑と農を創造する学校」として地域に根ざした教育活動が行われている。全日制では、2 学科 4 類型を設置している。園芸デザイン科では、草花や野菜の栽培、バイオテクノロジー、フラワーデザイン、造園など、食品科では食品の原材料の栽培から加工・流通、食品化学実験、食品デザインまで幅広く関連分野を体験・体感しながら学んでいる。 定時制は、農産科として園芸系と食品系の両方を学ぶことができる農業高校として、生徒は落ち着いた環境の中で生き生きと学習や部活動に取り組んでいる。全日制・定時制ともに、キャリア教育の充実や農業の 6 次産業化を踏まえた実践的な経営学習、学校農業クラブ活動の充実、FFJ 検定の実施、アグリマイスター顕彰制度への取り組みなどをとおして自己の可能性を伸長させるとともに、農業関連分野を中心とした生徒の第一志望の実現を図る教育活動を展開している。
			定	農産科 (30)	
5	都立瑞穂農芸 高等学校	西多摩郡 瑞穂町	全	畜産科学科 (35) 園芸科学科 (35) 食品科 (35) 生活デザイン科 (70)	「生命 (いのち) に学ぶ学校」として設置する全日制 4 学科、定時制 1 学科のすべてで「生命」に係りながら学習している。「生命 (いのち) に学び夢を叶える～ Learn about life and realize your dreams～」をキャッチフレーズとし全日制では「わかる」「できる」「つかう」の 3 ステップで、定時制では「知る」「わかる」「できる」「つかう」の 4 ステップで学習をすすめている。都内唯一の畜産科学科では、大動物の飼育・管理が学習できる。豊かな自然環境、恵まれた施設・設備の下、充実した専門科目の学習に取り組める。日本獣医生命科学大学及び秋草学園短期大学と連携協定を結び大学の施設を使用しての学習が体験できる。さらに、キャリア教育の一環として地域と連携した教育活動を推進し、望ましい職業観や豊かな社会性を育て、進学から就職まで幅広い進路希望に対応している。 定時制は規模が小さいが、きめ細かな指導が行われ、園芸、食品、畜産の幅広い分野について学習でき、大変落ち着いた学習環境である。
			定	併合科 (普通・農業) (30)	

▽工業に関する学科

6	都立足立工業 高等学校	足立区	全	総合技術科 (175)	本校は、昭和 38 年に開校した工業高等学校で、平成 9 年に学科改編し総合技術科となった。平成 30 年度より教育課程を見直し、機械加工コース・生産技術コース・電気システムコース・制御システムコース・情報コミュニケーションコースの 5 コースを 2 年生から選択します。2 年生全員のインターンシップでは足立区内の企業限定で実施し、地域密着と地域連携を推進している。施設・設備拠点校に指定され、先端設備が充実している。
7	都立荒川工業 高等学校	荒川区	全	電気科 (70) 電子科 (35) 情報技術科 (70)	本校は、都立の高等学校の中で、唯一電気系の学科のみで構成される工業高等学校で、ものづくりと資格取得を特色としている。将来の電気系の技術者・技能者として、特に産業社会を支える人材の育成を目指し、ものづくりに関する技術・技能、社会人としての常識やマナーを確実に身に付ける取組を行っている。資格取得では、電気工事士をはじめとして、工事担任者、特殊無線技士等の国家資格取得を目指し、早朝や放課後に補習や講習が行われている。キャリア教育では、様々な取り組み、個別指導の充実を図り、就職希望者の内定率は、例年ほぼ 100% である。平成 30 年度から、「学力向上研究校 (校内寺子屋事業)」及び安全教育推進校 (災害領域) の指定を受け、教育内容の一層の充実に取り組んでいる。
			定	電気・電子科 (30)	
8	都立葛西工業 高等学校	江戸川区	全	機械科 (35) 電子科 (35) 建築科 (70) デュアルシステム科 (35)	昭和 38 年に開校した本校は、東京都教育委員会より東京版デュアルシステム科設置の指定を受け平成 30 年度より新しくなりました。機械科・電子科・建築科・デュアルシステム科の 4 科 5 クラスの学校になりました。 ①地域産業会と連携した授業を行っています。②施設が充実しており、設備拠点校実習を行っています。③地元の「ねぶた祭」をとおして、小中学校と連携しています。④防災教育として地域の消防関係と連携しています。また、幼稚園の避難訓練をサポート等、様々な機関と連携し地域貢献をとおした、工業人・職業人の育成を目指しています。
9	都立北豊島工業 高等学校	板橋区	全	総合技術科 (175)	全日制課程は大正 9 年に創立され、平成 32 年に 100 周年を迎える。社会に有用な人材育成を行い、約 2 万名の卒業生を社会に送り出している。機械・電気系の総合技術科として工業に関する技術・技能を広く学び、社会に貢献出来る人材育成に取組、電気工事士、危険物取扱者、工事担任者などの社会で役立つ資格取得に力を入れ、確かな進路実現を図り、就職決定 100% を保持している。東京都教育委員会より、デュアルシステム推進校として指定を受け、企業と高校が連携した新しい職業教育システムであるデュアルシステムを取り入れた教育課程を編成して、日本のものづくりの後継者の育成を目指している。また、工業実習の設備拠点校としての指定を受け、施設設備を整え、近隣の工業高校と連携し、ものづくりの技術・技能の習得と継承に力を入れている。 定時制課程は機械科の単科であり、各学年一学級 30 人定員で、ものづくりの加工技術・技能を習得し、確かな進路実現を目指し、人材育成に取り組んでいる。
			定	機械科 (30)	

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
10	都立蔵前工業 高等学校	台東区	全	機械科 (70) 建築科 (35) 電気科 (35) 設備工業科 (35)	創立 90 年を超える伝統に裏打ちされた教育活動により、多くの卒業生が産業界で活躍し、日本の工業界をリードしている。 ○全日制 東京都教育委員会より、「ものづくり人材育成教育プログラム特定分野推進校」指定を受け、都立工業高校を牽引する役割を担い、スペシャリストの育成を目指したもののづくり人材育成教育を実践している。さらに、「パワーアップハイスクール指定校」として、生徒の体力向上や心身の健康の保持増進、部活動の活性化を図っている。進路指導では、就職希望者は、高度な技術・技能と資格取得にの活性化を図っている。進路指導では、就職希望者は、高度な技術・技能と資格取得により企業で即戦力となる人材、進学希望者は、理工系大学へ進学する学力を確実に身に付ける指導を実践している。 ○定時制 都内の定時制課程で唯一「建築と設備工業」の専門を学べる。学修方法によっては、3 年間で卒業も可能。学外単位の履修も弾力的に認定し、学ぶ側に立った教育活動を展開している。
11	都立工芸 高等学校	文京区	全	マシクラフト科 (35) アートクラフト科 (35) インテリア科 (35) デザイン科 (35) グラフィックアーツ科 (35)	本校は、100 年を超える伝統と実績をもつ都内で唯一の工芸・デザイン系の専門高校です。Only One のものづくりを通して個性と創造力を伸ばし、心豊かな人間性のある生徒を育てています。 開校以来 2 万人を超える卒業生の中には、人間国宝の方・文化勲章受章者も多く、デザイナー、ディレクター、作家、エンジニアなど社会で幅広く活躍しています。 また、在校生の活躍もめざましく、高校生ものづくりコンテスト全国大会での優勝や大学生を対象としたコンペで大賞を受賞するなど各種の競技で常に上位入賞を果たし、ものづくり・デザイン等における生徒の実力、教育実践は全国のトップクラスで内外から高く評価されています。 卒業後の進路は、進学の割合が多く美術系の国公私立大学を中心に幅広い分野へ進学しています。
12	都立小金井工業 高等学校	小金井市	定	機械科 (30) 電気科・電子科 (30)	平成 22 年 3 月に全日制課程が閉課程となり、平成 22 年度から定時制単独校になる。施設・設備が充実していて、多摩地区唯一の定時制工業高校である。校舎の改築・改修工事が進み、新校舎が平成 23 年 8 月に完成した。平成 23 年 9 月から座学の授業は新校舎で、実習の授業などは改修した新しい実験・実習棟で行っている。
13	都立杉並工業 高等学校	杉並区	全	機械科 (70) 電子科 (70) 理工環境科 (35)	本校は、昭和 38 年に開校し、教育目標として(1)勤労と責任を重んじる誠実な人をつくる、(2) 個性を伸ばし、自主的にして協調性のある人をつくる、(3) 豊かな教養を備えた地球環境に配慮できる技術者をつくる、ことを掲げています。東京都 No.1 の資格取得を目指して朝講習などや期末考査後に様々な講習会を行い、生徒を全面的に応援しています。また、部活動を通じて、顧問や友人同士の絆を深める取組みや近隣の小中学校生に対してのものづくり体験の機会を提供するなど、地域との連携を通じて多くのことを学ばせています。
14	都立墨田工業 高等学校	江東区	全	機械科 (35) 自動車科 (35) 電気科 (70) 建築科 (35)	全日制は、4 学科をもつ工業の専門高校として、自治・勤労・敬愛を校訓に掲げ、技術力を身につけた社会に役立つ人材の育成を行っている。資格取得や検定合格など実践的な教育に取り組み、進路希望達成率 100%を維持している。創立 119 年を迎える歴史と伝統があり、多くの卒業生が産業界をはじめ各方面で活躍している。 定時制においても全日制と同じく進路希望達成率 100%を実現しており、生徒一人一人に応じた実践的教育に取り組んでいる。
15	都立総工科 高等学校	世田谷区	全	機械・自動車科 (70) 電気・情報デザイン科 (70) 建築・都市工学科 (70)	平成 18 年 4 月に世田谷工業高校と小石川工業高校を発展的に統合して開校した。全日制では、理工系大学進学に対応した教育課程を編成するとともに、約 40 科目の自由選択科目を設定することで、さまざまな進路希望に対応している。海外修学旅行も含めた国際理解教育の推進と、部活動の振興を図っている。定時制では、資格取得を中心に、2 年次から自動車、電気・メカトロ、建築コースの 3 コースが選択できる教育課程を編成している。また、高等学校卒業程度認定試験、技能審査及び都立砂川高校通信制課程併修等の学校外における学修により、3 年間での卒業が可能な三修制を実施している。
16	都立田無工業 高等学校	西東京市	全	機械科 (70) 建築科 (70) 都市工学科 (35)	本校は、機械科、建築科、都市工学科の三科からなる工業高校である。都市工学科は、全国でも数少ない学科であり、建築科は多摩地区の工業高校では唯一本校に設置されている。「地域との連携」や「資格取得」に重点を置いた教育を推進しており、どの学科も地域に根差した技術者の育成を目標としている。また、デュアルシステムを導入し、三年間を通してキャリア教育を推進している。
17	都立多摩工業 高等学校	福生市	全	機械科 (70) 電気科 (35) 環境化学 (35) デュアルシステム科 (35)	本校は、都立工業高校モデル校として、平成 30 年度より機械・電気・環境科学の 3 科すべてを学べるデュアルシステム科を開設した。地域企業の求める人材の育成につながり、産業界から評価されている。」都立で唯一の「環境省認定エコアクション 21」認証校であり、環境科学科は都内唯一の学科である。 各科とも資格取得に向けて積極的に指導が実践され成果を出している。多くの部活動で本校が会場校になるなど、活発に活動し大きな成果をあげている。
18	都立中野工業 高等学校	中野区	全	キャリア技術科 (175)	平成 30 年度より工業高校として 2 校目のエンカレッジスクールとしてスタートしました。可能性はありながら力を発揮しきれずにいる生徒が、3 年間を通して、社会人として必要な基礎・基本を身に付けるとともに、ものづくりを通して自己の在り方生き方を見つめ、社会人として自立していく力を培うために自らの可能性を信じてチャレンジする学校です。 定時制課程では 1 学年後半から、機械類型、食品工業類型のいずれかを選択し、専門性を深めています。
			定	総合技術科 (30)	

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
19	都立練馬工業 高等学校	練馬区	全	キャリア技術科 (175)	平成 18 年度から、生徒の「やる気」を応援し頑張りを励ます学校として、工業高校初のエンカレッジスクール「キャリア技術科」をスタートさせました。基礎の基礎から学び直すことができ、工業分野の幅広い知識・技術を体験的に学びながら適性を見つけ、それを将来の進路選択に生かせる学校です。就業体験や資格取得にも力を入れ、3 年生では 6 系列(機械加工技術、オートメカニク技術、設備技術、コンピュータ技術、デザイン・DTP 技術、インテリア技術)から選択して、より専門的な学習を行います。
20	都立府中工業 高等学校	府中市	全	機械科 (35) 電気科 (70) 情報技術科 (35) 工業技術科 (35)	「ものづくり人材育成プログラム」の指定を受け旋盤技能士、電気工事士などの各種資格取得に向けた指導に積極的に取り組んでいる。 - インターハイ出場の陸上競技部、全国大会出場のパソコン部をはじめ、硬式野球部、バスケットボール部、軽音楽部など活発に活動し、実績を上げている。
21	都立本所工業 高等学校	葛飾区	定	総合技術科 (30)	- 総合技術科として、一学年では工業の基礎的・基本的な技術を学び、二学年からは、機械・電気・電子の各類型に分かれて、専門知識や技術を学習する。 - 生徒主体の学校行事を通して、「やる気・根気・本気」を引き出し、日々の授業では、少人数指導の特色を生かし、きめ細かい・わかりやすい指導を実践している。 「面倒見の良い学校」として、基礎学力向上や技能・資格取得の指導を充実させることにより、生徒一人ひとりの進路実現を図っている。
22	都立町田工業 高等学校	町田市	全	総合情報科 (175)	本校は、充実した施設・設備、きめ細かな指導体制など優れた学習環境を備えた都立で唯一の「総合情報科」の工業高校です。「情報デザイン」、「アプリケーション」、「情報システム」、「電気システム」、「機械システム」の 5 つの系列があり、1 学年では全員が同じ内容 (5 系列すべてに関する工業の基礎科目) を学習し、それぞれの興味・関心、進路希望に基づき 1 つの系列を選択します。2・3 学年では系列別のクラスに分かれて専門性を深めるとともに多彩な選択科目で自分に適した学習を進め、「進路実現」、「総合的な考える力をつけて卒業」を目指しています。

▽工業に関する学科 (単位制)

23	都立六郷工科 高等学校	大田区	全	プロダクト工学科 (70) オートモビル工学科 (35) システム工学科 (35) デザイン工学科 (35) デュアルシステム科 (35)	平成 16 年 4 月に開校した、都立高校で初めての単位制・二期制の工業系高校である。東京都初の東京版デュアルシステムを持ち、夜間定時制課程も設置されている。全日制課程には、機械系のプロダクト工学科、自動車 3 級整備士資格取得可能なオートモビル工学科、電気電子情報系のシステム工学科、コンピューターグラフィックスとプロダクトデザインが学べるデザイン工学科の 4 科がある。各科ともに、一年次から「工業技術基礎」を中心に工業分野の基礎・基本を学べる。普通科目も 1 学年と 2 学年の英語・数学を習熟度別クラス編成にしたり、進学に必要な自由選択科目を用意している。デュアルシステム科は、将来のものづくりを担う人材育成のために設置された全国で唯一のデュアルシステム専門の科である。地域の企業と学校で連携して生徒に技術指導する。企業での長期就業体験を最大 20 単位卒業の単位として認めている。平成 30 年度から在京外国人入学枠をデュアルシステム科とオートモビル工学科に各 5 名設置して、城南地域ものづくり人材の確保に繋げていく。定時制には、単位制と 3 修制を取り入れた生産工学科と普通科の 2 科がある。
			定	普通科 (30) 生産工学科 (30)	

▽科学技術科

24	都立科学技術 高等学校	江東区	全	科学技術科 (210)	平成 13 年に都立高校で初めて「科学技術科」を設置した新しいタイプの進学型専門高校です。開校以来、科学技術教育を通じて、創造性、問題解決能力、コミュニケーション能力を養い、将来の科学技術者・研究者として工学系、理学系、農学系、薬学系、医療系などの分野で活躍できる人材の育成を目指しています。材料・流体・力学系、電子・情報系、化学・バイオ系などの科学技術の基礎的な知識や基本的な技能に関する幅広い学習と、理系大学進学に必要な数学、英語、理科などの普通教科の学習、自ら深く考え他者と対話しながらまとめ外部に発表する力を身に付ける特色ある教育活動に力を入れています。
25	都立多摩科学 技術高等学校	小金井市	全	科学技術科 (210)	理系大学進学を前提とした進学型専門高校です。将来、理学、工学、薬学、医療など様々な分野で科学技術者として活躍することを目指し、科学への視野を広め、基礎力と基礎学力を高める。インフォメーションテクノロジー、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、エコテクノロジーなど先端科学技術の基礎に関する幅広い学習と、大学入試に備えた数、英、理を中心とした普通教科学習に力を入れています。

▽商業に関する学科

26	都立赤羽商業 高等学校	北区	全	募集停止	商業の専門高校として 55 年間、多くのビジネス社会の発展に寄与する人材を輩出してまいりました。本校は 2020 年 3 月をもって閉校いたします。本校教職員一同、在学している生徒全員が就職や進学などの進路実現を図り、ビジネス社会において立派な社会人として活躍できるような人材を輩出すべく、全力で教育活動に取り組んでまいります。
27	都立足立 高等学校	足立区	定	普通科 (60) 商業科 (30)	学級数 14、在籍生徒数約 250 名の大規模な夜間定時制課程で、商業科は 4 学級 (各学年 1 学級) ある。学校規模を生かし定時制単独の文化祭やスポーツ大会など、数多くの学校行事が行われている。運動部を中心に部活動も盛んであり、定通の全国大会にも出場している。定時制専用の情報処理教室は平成 26 年度に更新した。コンピュータ会計の最新ソフトを導入し、コンピュータ会計の資格取得の指導を行っている。
28	都立荒川商業 高等学校	足立区	全	総合ビジネス科 (210)	平成 18 年度より文部科学省「目指せスペシャリスト」スーパー専門高校に指定 (3 年間) され、特色ある教育活動を展開している。地元商店会の PR フラグのデザインを考案 (年 4 回更新) したり、生徒のデザインによるラッピング都電 (外装塗装) を、平成 18 年より 22 年 3 月まで通常運行させるなど地域に根ざした教育活動が高く評価されている。生徒商業研究発表大会・全国産業教育フェアにも参加。平成 21 年度創立 50 周年を迎えた。
			定	募集停止	

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
29	都立五日市 高等学校	あきる野 市	全	普通科： 「ことばと情報」の コース（80） 商業科（70）	本校は四季折々に変化する山並みに囲まれた静かな五日市に位置しています。全日制普通科は平成 17 年度より「ことばと情報コース」に改編しました。このコースではコミュニケーション能力の修得を柱とし 3 年間で「ことばの力」を身に付けます。商業科では 2 年次に「簿記コース」と「情報コース」に分かれ、これからの社会に対応した知識・能力・資格の修得を目指します。平成 29 年度に続き、平成 30 年度も「都立高校生の社会的・職業的自立支援事業」と「学力向上研究校」の指定を受け、中途退学の未然防止や基礎学力の定着などに取り組んでいます。入学者選抜では、普通科及び商業科において各 1 名、女子バスケットボール部の文化・スポーツ特別推薦を実施しています。なお、定時制課程は平成 31 年度入学者選抜から普通科のみの募集となりました。
30	都立葛飾商業 高等学校	葛飾区	全	ビジネス科（210）	全日制は、平成 23 年に創立 50 周年を迎え、地域に根ざした専門高校として、キャリア教育を推進し、生徒一人ひとりの進路実現に取り組んでいる。また、健全育成に努めるとともに、資格取得指導と実学のビジネス教育の充実を図り、社会に貢献できる人材の育成を目指している。23～25 年度言語能力向上推進校、26～27 年度規範意識向上推進モデル校、29～31 年度アクティブ・ラーニング推進校の指定を受けて、あらゆる機会を通して生徒の資質向上と学校生活の充実に取り組んでいる。なお、30 年度入学生から従来の商業科と情報処理科を発展的に統合し、ビジネス科に改編した。定時制は、マーケティング部はもとより、バスケット、バレー、芸術部門の部活動が盛んで、生徒の活躍が学校全体の活力になっている。
			定	普通科（30） 商業科（30）	
31	都立江東商業 高等学校	江東区	全	ビジネス科（175）	ビジネス三言語（IT、会計、英語）に力点を置き、実践的な商業教育を核として教育活動に取り組んでいる。同時に、社会人としての必須のマナーを身につけた生徒の指導を行っている。さらに、クラブ活動の振興を積極的に図り、学んで楽しい学校作りを目指している。
32	都立芝商業 高等学校	港区	全	ビジネス科（210）	社会で活躍することを前提に目標をもって学ぶ東京都の商業高校の拠点校です。実社会で活躍するために経済社会を知り、進路に応じたスキルを身に付けるため、1 年生全員インターンシップや竹芝地区まちづくり参画等の企業や地域との連携を取り入れた実践的・体験的学びを充実しています。多くの資格取得と共に社会人としてのマナー指導にも定評があります。ビジネスと観光の拠点、JR 浜松町駅・都営地下鉄大門駅・ゆりかもめ竹芝駅徒歩 5 分の、東京都都市再生ステップアッププロジェクト竹芝地区に位置する、ビジネス学習には最適な環境にある都心の伝統校です。
33	都立第一商業 高等学校	渋谷区	全	ビジネス科（210）	学校創立 100 年を迎える商業の伝統校である。東京都の商業高校のリーダーとして、生徒から「第一商業に入学してよかった」、地域から「第一商業があってよかった」、職員から「第一商業に勤務して良かった」と言われる学校を目指している。大学進学・企業就職の両方に対応した教育課程と進路指導が充実している。進学では、商業科目等での学びの成果として取得した高度な資格等を活用し、指定校推薦や公募推薦等で多くの大学に現役合格している。部活動では、ソフトボール部や女子バレー部、簿記部、軽音楽部などが盛んであり、地域連携では、学校開放事業、地域の行事への参加、公開講座や出前授業等「地域に学び、地域に貢献する学校」として高い評価を得ている。
34	都立第三商業 高等学校	江東区	全	ビジネス科（210）	全日制課程、定時制課程ともに、多くの卒業生がわが国の実業界や経済界の中枢で活躍しています。まさに校歌に謳われるように「日本の富を担う」学校です。「生徒一人ひとりが光り輝く学校「SUN 商」というコンセプトに基づき、生徒の思いや願いを実現するため、次の Mission Statement（ミッション・ステイトメント：使命宣言）を約束します。 ①充実した商業科目の学習により、将来に役立つ資格取得を応援します。 ②習熟度別による丁寧な指導により、国語・数学・英語の基礎学力を向上させます。 ③卒業後の進路実現 100%を目指します。 ④地域と連携し、地域から愛される学校を目指します。
			定	商業科（30）	
35	都立第四商業 高等学校	練馬区	全	ビジネス科（210）	一マナーの四商、資格の四商、実学の四商、社会人基礎力を養成する学校—昭和 15 年の開設から今日に至るまで、78 年の伝統と歴史の中で一貫して産業界で活躍する多くの有為な人材を育成してきました。 平成 30 年度より商業科と情報処理科が統合されビジネス科となりましたが、情報処理科の学びについても選択科目で学べます。大学や企業等外部機関と連携した調査・研究・販売・商品開発等の実践的な実学のビジネス教育と IT パスポート試験や各種検定合格など着実に力をつけています。 部活動も盛んで、アーチェリー部は関東大会出場、他にも硬式野球部、サッカー部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、女子ソフトボール、吹奏楽部なども学校として力を入れています。
36	都立第五商業 高等学校	国立市	全	ビジネス科（210）	全日制課程は、創立 77 年を迎えた多摩地区唯一の伝統ある商業高校です。平成 30 年度から都教育委員会の施策による商業科からビジネス科への改編にあたり、教育課程を変更し、7 時限 45 分授業をスタートしました。これまで取り組んできた高度資格指導に加えて、高大連携や地域連携等の充実を図り、新しいビジネス教育を推進します。また、大学進学指導と都立高校屈指の就職実績についてもさらに磨きをかけていきます。 定時制課程は、「基礎・基本の学習を徹底」「楽しい行事」「部活動がさかん」「夢が実現する進路」「充実した施設設備」を特色とする伝統校です。平成 28 年度から標準服を制定しました。パソコン部が全商ワープロ全国大会に 4 年連続出場しています。
			定	商業科（30）	

▽ビジネスコミュニケーション科

37	都立千早 高等学校	豊島区	全	ビジネスコミュニケーション科（210）	- 英語とビジネス教育に重点をおいた進学型専門高校。 「使える英語」を目指して「多読と発表」を授業に取り入れ、会話もイングリッシュキャンプ（1 年）、海外修学旅行（2 年）と行事で実践。 - 新しいビジネス教育分野に NPO/NGO を学ぶ学校設定科目として「コミュニティデザイン」を設置。ビジネスで社会を学び大学卒業後を見据えた進学を特色とする。
----	--------------	-----	---	---------------------	--

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
38	都立大田桜台 高等学校	大田区	全	ビジネスコミュニケーション科 (210)	「使える英語」教育と「役立つビジネス」教育を学校教育の 2 本柱とした進学型専門高校です。13,000 冊以上の英語図書を活用した「多読・多聴」の授業や、1 年生英語合宿「アメリカン・キャンプ」、国際交流活動を取り入れた 2 年生の「キャリア・アップ修学旅行」などを通して、「使える英語」を楽しく学びます。また、「キャリア・デザイン」「東京の経済」「プレゼンテーション」等のビジネス科の特色ある授業や、各種コンテストへの出場、企業と連携したビジネス研究などを通して、「役立つビジネス」を社会から学びます。さらに、ブックトーク・フェスティバル、百人一首大会、読書力新聞の発行などを実施して、生徒の言語活動を推進しています。

▽家庭に関する学科

39	都立忍岡 高等学校	台東区	全	普通科 (160) 生活科学科 (70)	平成 18 年度に、全日制・単位制、普通科と生活科学科の併置校として開校した。学科の目標は、普通科「大学進学希望の実現」、生活科学科「将来のプロフェッショナルとして必要な資質・能力の育成、大学進学希望の実現」である。単位制を活用した多様な選択科目を設置するとともに、習熟度別授業、少人数授業による基礎的・基本的な学力と向上に努めている。また、大学・専門学校と連携した専門性の高い授業も実施すると共に、茶道、華道、将棋などの「日本の伝統文化」を自由選択科目として第 7 限に設置している。
----	--------------	-----	---	-------------------------	---

▽福祉に関する学科

40	都立野津田 高等学校	町田市	全	福祉科 (35)	平成 8 年度より普通科看護福祉コースとしてスタートし、平成 18 年度から学科改編をおこない、東京都として初の福祉科を設置した。介護福祉士の国家試験の受験資格が得られる唯一の都立高校である。
----	---------------	-----	---	----------	--

▽国際関係に関する学科

41	都立大島海洋 国際高等学校	大島町	全	海洋国際科 (80)	「海を通して世界を知る」というコンセプトに基づき、体験的な国際教育・海洋教育により、21 世紀の課題を発見・探求するとともに、これに貢献する高い志と国際化社会に対応する優れたコミュニケーション能力、良識、学力、逞しさをもつ国際人を育成します。2 年生からは「国際系」と「海洋系」に分かれ、前者は国際的な視野を持ち 4 年制大学を目指し、後者は海洋系大学進学向けに海洋のスペシャリストを目指します。また、都立高校唯一の実習船大島丸による航海学習を行い、寄宿舎においては自律的な生活習慣を育て、学習サイクルと「宅習 3 時間」による学習習慣により、生徒の進路実現を図ります。
----	------------------	-----	---	------------	---

▽併合科

42	都立大島 高等学校	大島町	全	普通科 (80) 併合科 (農林・家政) (35)	併合科の農林と家政では、専門科目の基礎から応用まで発達段階に応じた実習を多く取り入れて実践力を身に付けます。農林では産学公連携を拡大して、野菜・畜産・草花・森林分野の地域産業振興を重視して学びます。島の特産であるツバキに関しては、世界水準の学校格園 (平成 28 年 2 月 26 日に ICS 優秀つばき園認定) での研究も可能です。家政はスペシャリストの育成に向けて、技能オリンピックメダリストの招聘において、教科書にはない専門技術、知識を習得できるようにしています。その他、グローバル化や地域社会貢献に向けた体験的活動や奉仕活動もあり、恵まれた大島の自然環境においてジオパーク等の調査、地元産業の研究などの世界水準のブレ研究を可能にしています。
			定	普通科 (30)	
43	都立八丈 高等学校	八丈町	全	普通科 (80) 併合科 (園芸・家政) (35)	八丈島唯一の高等学校として、地域のニーズから左記の各科を設置している。敷地面積は約 63,000 m ² を有する。全日制は習熟度別学習や少人数制を導入し、生徒の学力に応じた授業を展開している (昨年度進路実績 96%)。部活動が大変盛んで、生徒の約 80% が所属している。定時制は三修制を取り入れるなど、生徒の要望に柔軟に対応している。島のほぼ中央に位置し、学校内外、花と緑に囲まれた素晴らしい環境にあり、羽田空港から空路約 50 分、1 日 3 便就航。大変至便な学校である。
			定	普通科 (30)	
44	都立三宅 高等学校	三宅村	全	普通科 (40) 併合科 (農業・家政) (35)	併合科は、農業科または家政科の専門科目を中心に学び、食の生産や加工、生活の改善などに積極的に取り組む能力を身につけさせる学習を行っている。少人数の長所を生かし、生徒一人ひとりの個性・能力を伸ばす指導を実践している。

▽産業科

45	都立橋 高等学校	墨田区	全	産業科 (210)	本校は、都立向島工業高校と都立向島商業高校を発展的に統合し、平成 19 年 4 月に開校しました。生産から流通・消費までを総合的かつ実践的に学ばせる、わが国初の産業科高校です。今日の高度に発展した産業社会においては、専門的なスキルが求められる一方で、工業や商業という産業が融合する中に、新たなニーズや可能性があると考えています。従来の工業、商業という枠を超えた幅広い専門教育を展開することで、多様化・複雑化する産業社会に対応して活躍する人材の育成を目指しています。
			定	産業科 (60)	
46	都立八王子桑志 高等学校	八王子市	全	産業科 ：デザイン分野 (70) ：クラフト分野 (35) ：システム情報分野 (35) ：ビジネス情報分野 (70)	本校は IT 特区 & 学園都市八王子に開校、産業界や地域社会との連携を進展させます。国家試験をはじめ高度な資格取得や検定合格で自信をつけ将来を切り開き、複眼的に考える力と専門性を身につけ各界において活躍する人材を育て、広く社会から信頼される学校を目指します。特色は、桑高ブランド指導計画「千の夢計画」をもって時代の要請に応える「未来の産業人」の育成です。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
--	-----	-----	----	------------------------	----------

▽情報科（単位制）

47	都立新宿山吹 高等学校	新宿区	定	普通科（100） 情報科（65）	各自が興味・関心・進路等に基づき科目を選び、幅広く、深く、学習するので、基本的に一人一人時間割が異なります（単位制）。定時制（普通科・情報科）と通信制（普通科）があり、どちらも、努力次第で3年間で卒業ができます（三修制）。定時制は、朝から夜まで、四つの部に分かれます（4部制）。情報科は、都唯一の「情報」の専門学科です。29年度からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）に指定されました。通信制は、自宅レポート作成を行い、土曜日はスクーリングで本校に登校し授業を受けます。教員相互の授業見学を全教員で行い授業力高め、夏期講習等も行っています。毎年、国公立大や、早慶上理大・GMARCH等の難関私大に現役で40名以上が合格しています。
			通	普通科（50）	

▽総合学科

48	都立青梅総合 高等学校	青梅市	全	総合学科（240）	平成 18 年旧都立農林高等学校跡地に、全・定併置の総合学科高校として開校した。豊かな自然に恵まれ、都立高校随一の広大な校地、大規模改修を行った新校舎、充実した施設・設備を活用して食・農・環境等の様々な体験活動を通して学ぶ特色ある総合学科高校である。全日制課程は文科・理科、国際・文化、生命・環境、食品・生活、人間・健康の5系列を、定時制課程は生命・自然、生活・福祉の2系列を設けている。
			定	総合学科（90）	
49	都立葛飾総合 高等学校	葛飾区	全	総合学科（240）	平成 19 年度に東京東部地区に開校した全日制総合学科高校。平成 29 年度入学生から、国際コミュニケーション、スポーツ福祉、生活アート、サイエンス・テクノロジーの4系列を配置している。ゼミナールと同様の講座を開設して課題研究に取組ませ、卒業生全員に2万字の論文作成を課している。生徒の興味関心に応じた幅広い選択科目から「自分だけの時間割」を作成させる指導など系統的なキャリア教育により、社会で有用となる基礎的汎用的能力を育成し、生徒個々の進路実現を目指している。
50	都立杉並総合 高等学校	杉並区	全	総合学科（240）	平成 16 年 4 月に、東京都で3番目の総合学科高校として開校。学校のキャッチフレーズは、「志を世界に繋ごう 自己実現・国際人・生涯学習」。国際理解教育に特に力を注いでおり、第二外国語の必修化（1年次で中国語かハングル）、台湾修学旅行、姉妹校交流（オーストラリアのフォートストリート高校、台湾の内思高級職業高等学校、韓国の美林女子情報科学高等学校）、年間5回程度の海外訪問団受け入れ、年間5名程度の留学生の受け入れ、交換留学（オーストラリアとフランス）等の実施、トビタテ留学ジャパンで海外に派遣、次世代リーダー育成道場で毎年2人程度が1年間の海外留学をしている。個人で留学する生徒は年々増えている「人間・社会、科学・環境、メディア・文化、ビジネス、国際コミュニケーション」の5系列を持つ。
51	都立世田谷総合 高等学校	世田谷区	全	総合学科（240）	○平成 20 年 4 月開校。 ○幅広い6系列（社会・教養、環境・サイエンス、国際・文化理解、情報デザイン、ライフデザイン、ものづくり）に魅力ある様々な選択科目を配置し、一人ひとりにきめ細かく対応した時間割を作成。 ○生活マナー（身だしなみ、頭髮等）を重視し、自主・自律の態度を育成するために、ノーチャイム、ノー放送を展開。男女ともに制服を決め、毎日校門指導を実施。女子制服には、パンツスタイルも採用。 ○進路実現をサポートするために、「産業社会と人間」の授業の他、キャリア教育を重視。
52	都立つばさ総合 高等学校	大田区	全	総合学科（240）	平成 14 年に新規開校した都立2校目の総合学科高校である。美術・デザイン系列、科学・技術系列、国際・コミュニケーション系列、スポーツ・健康系列、生活・福祉系列の5系列を配備し、生徒が自身の適性・能力・興味・関心・進路希望等に応じて独自の時間割を編成し学習を進め、大学進学を中心とした希望進路を実現している。ISO14001（国際環境認証）を取得し、環境教育に力を入れ、平成 19 年度「環境大臣賞」、平成 21 年度「文部科学大臣賞」、平成 27 年度「米国環境保護局 EPA 表彰盾」を受賞している。平成 29 年度に、環境省主催・環境教育実践力強化研修の会場となり、平成 30 年度には、東京都教育委員会オリムピック・パラリンピック教育・環境部門アワードを受賞している。豊かな施設・設備の下、部活動も盛んであるとともに、様々な地域連携活動を展開し、地域に愛され親しまれている学校である。
53	都立晴海総合 高等学校	中央区	全	総合学科（280）	東京都の総合学科高校のパイオニア校として平成 8 年に開校。近代的で充実した校舎・設備を持ち、「産業社会と人間」の工夫やキャリア教育の充実をベースに、情報システム、国際ビジネス、語学コミュニケーション、芸術・文化、自然科学、社会・経済の6系列に多様な選択科目を設置し、大学進学を視野に入れた生徒の進路実現を図れる学校である。「青い海 潮風の中 自分探しの旅に出よう!」のキャッチフレーズのとおり、「自分だけの時間割」を作成しながら夢の実現方法を学んでいる。
54	都立東久留米 総合高等学校	東久留米 市	全	総合学科（240）	平成 19 年度開校、全日制・定時制併置の総合学科高校 全日制では、「25 歳の自分創り」をスローガンに、生徒の夢の実現に向けキャリア教育の充実を図っている。国際・人文社会、自然科学探求、スポーツ、芸術・表現、看護・保育の5系列を設置。 定時制では、教養、情報・ビジネスの2系列を設置するとともに、三修制を実施。
			定	総合学科（60）	
55	都立若葉総合 高等学校	稲城市	全	総合学科（240）	平成 17 年度に開校した、多摩地区最初の総合学科高等学校。自らを「進路指導充実校」と名づけ、多彩な教育活動により生徒の意欲と力を伸ばし、進路実現を目指す。人間探究・芸術表現・伝統継承・情報交流の4系列を持つ。教育目標のコンセプト “TO BE AMBITIOUS, ACTIVE, AND ATTRACTIVE” ※大志を抱き（AMBITIOUS）、生き生きと活動し（ACTIVE）、 魅力あふれた（ATTRACTIVE）若者を育てる学校

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
56	都立町田総合 高等学校	町田市	全	総合学科 (240)	○平成 22 年度 4 月開校、全日制総合学科高等学校。 ○社会での生き方を視野に捉えた「キャリア教育」を教育活動の根幹とした学校。 ○校訓「創」; 「自分創り」に取組み、「社会創り」の基礎を身に付け、「未来創り」に備える。 ○基本的な学力を養うとともに、生徒一人ひとりが自己実現のための科目を自ら選択する。自分で創る自分自身のための時間割。 ○「暮らし」「ひと」「まち」「自然」の 4 つの系列・自らを磨く「日本文化」の授業・社会と連携し、体験を重視した教育活動・自主・自立・自律の部活動。
57	都立王子総合 高等学校	北区	全	総合学科 (240)	平成 23 年度開校、全日制総合学科高校 ○“Design your Dream” (未来を自分で決める場所) をキャッチフレーズとしている。自己の進路への自覚を深め、自ら夢を描き、その実現に向けて意欲的に計画し、実行する行動力と態度を身に付けます。 ○「国際・ビジネス」「文化・芸術」「メディア・ネットワーク」「サイエンス・テクノロジー」「スポーツ・健康」の 5 つの系列があります。

▽総合学科 (チャレンジスクール)

58	都立大江戸 高等学校	江東区	定	総合学科 (180)	平成 16 年 4 月開校の三部制総合学科 (単位制、定時制) 高校。「伝統・文化」「情報・ビジネス」「生活・福祉」の三系列があり、地域に根ざした特色ある教育活動を行います。体験学習や実習、行事などを重視し、少人数の授業で、丁寧な指導を行っています。「チャレンジする人間」「創造的な人間」「信頼される人間」の教育目標のもと、様々な専門家の支援を受け、一人ひとりの自立を支えています。
59	都立桐ヶ丘 高等学校	北区	定	総合学科 (180)	平成 12 年度に開校した、最初のチャレンジスクール (総合学科、単位制、昼夜間開講三部制の定時制) です。『夢・挑戦・感動』を校訓に「福祉教養」「情報ビジネス」「アート・デザイン」の 3 系列で①多様な教科・科目を設置した総合学科②基礎・基本の重視③単位認定の弾力化④体験学習の重視⑤充実した相談体制など、特色ある教育活動を展開しています。
60	都立世田谷泉 高等学校	世田谷区	定	総合学科 (180)	「学ぶ時間帯」を選べる三部制、「学ぶ計画」を選べる単位制、「学ぶ科目」を選べる総合学科のチャレンジスクールといわれる定時制の学校です。「製作・技術」「生活・福祉」「創作・表現」の三系列があり、たくさんの選択科目や体験学習を用意しています。
61	都立稔ヶ丘 高等学校	中野区	定	総合学科 (240)	平成 19 年 4 月に開校したチャレンジスクール (三部制、定時制、総合学科、単位制) で、各学年 7 学級です。校服 (制服) があり静かな学習環境です。行動心理学に基づいた授業「コーピング」ではコミュニケーション能力の向上を図るなど、「強い (つよい) 心」「自立した未来」を目標に、多くの選択科目や少人数授業、体験学習を展開しています。
62	都立六本木 高等学校	港区	定	総合学科 (180)	平成 17 年 4 月に開校したチャレンジスクール。小中学校において不登校を経験した生徒、高校を中退した生徒、これまでの教育の中では十分に力を発揮できなかった生徒が自分の夢に向かってチャレンジしています。教育目標は“見つけて 磨いて未来を拓く”です。基礎力を身に付けさせる普通科目と 3 つの系列に属する特色のある学校設定科目で生徒の見つけて磨く力をサポートしています。丁寧な進路指導により生徒の未来を拓く力を伸ばし、進路実現を図っています。

▽普通教育を主とする学科 (単位制)

63	都立浅草 高等学校	台東区	定	普通科 (240)	平成 18 年 4 月開校。生徒のライフスタイルに応じた柔軟な教育課程を持つ、昼夜間三部制、普通科の単位制高校である。9 階建て全館冷暖房完備のオフィスビルディングタイプの校舎と地下に年間フル稼働の温水プールを持つ。学び直しから大学受験まで対応するカリキュラムと保育体験や介護体験のできる「体験学習」などを特色とする。
----	--------------	-----	---	-----------	---

国立高校

1	東京工業大学 附属 科学技術 高等学校	港区	全	科学・技術科 (推薦 60、一般 140)	科学技術における基礎学力の充実に重点を置き、高大連携の強化により、先端的な科学技術を注視しながら、より高度な教育に対応できる多面的素養を身に付けることが出来る授業を展開している。2 年次から、材料科学・環境科学・バイオ技術、情報・コンピュータサイエンス、システムデザイン・ロボット、エレクトロニクス・エネルギー・通信、立体造形・デジタルデザインの 5 分野に分かれる。
---	------------------------------	----	---	--------------------------	--

高等専門学校

1	都立産業技術 高等専門学校	品川区 荒川区	全	ものづくり工学科 (320) 創造工学専攻 (32)	平成 18 年に都立工業高等専門学校 (工業高専) と都立航空工業高等専門学校 (航空高専) の再編統合を行い、本科の“ものづくり工学科”に 8 つの工学コースを設置し、更にもうに専攻科を設置した東京都立産業技術高等専門学校を開校しました。平成 20 年には公立大学法人首都大学東京の一員となり、文字どおり都が設置した高等教育機関として再スタートを切りました。平成 28 年から首都東京の課題解決に貢献するため、新たに「情報セキュリティ技術者育成プログラム」と「航空技術者育成プログラム」をスタートさせています。
---	------------------	------------	---	-------------------------------	--

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
--	-----	-----	----	------------------------	----------

専修学校

1	愛国学園保育 専門学校	江戸川区	昼	幼児教育科 (50) 介護福祉士専攻科 (募集停止中)	本校は、昭和 44 年に設立された伝統のある専門学校である。幼児教育科は、卒業と同時に保育士資格、幼稚園教諭 2 種免許状が取得できる。学生は、完備された学園において、斯界の権威ある教授に囲まれ、楽しく熱心に勉強している。就職についてみると、幼児教育科は毎年ほぼ 100% の就職率となっており、幼稚園や保育所などに就職している。卒業生は勤務先から、専門に精通しており、明るく元気で、礼儀正しく、真面目で就職後もよく成長するという評価を得ている。
2	青山製図 専門学校	渋谷区	昼	建築工学科 (30) 建築設計デザイン科 (60) 住宅設計デザイン科 (30) 建築インテリア工学科 (30) 商空間デザイン科 (30) 建築インテリアデザイン科 (40) 建築設計研究科 (80)	昭和 52 年に設立以来、設計・製図・デザイン・CAD の技術者を輩出している。現在、建築・インテリア系の 9 学科を設置。実践的な授業を展開し、産業界のニーズに沿った即戦力となる技術者、国際性豊かな幅広い知識を持った常識ある社会人の育成を目指している。
			夜	建築科 (50) インテリア工学科 (30)	
3	御茶の水美術 専門学校	千代田区	昼	デザインアート科 3 年制 (100) 高度デザインアート科 4 年制 (15)	ゼロからはじめてプロになる。 「産学連携」「官学連携」課題をクリエイティブの力で解決する実践重視の美術専門学校。御茶の水美術専門学校 (OCHABI) は、全学科が文部科学省より「職業実践専門課程」の認定を受けており、その必修科目である「産官学連携授業」では、学生それぞれのクリエイティビティー（創造性）を活かしつつ、実際に企業や行政機関の関係者とコミュニケーションを繰り返す事で、ビジネススキルを育んでいきます。
			夜	デザインアートコース (30)	
4	香川調理製菓 専門学校	豊島区	昼	調理マイスター科 (40) 調理師科 (120) 製菓科 (120)	女子栄養大学・女子栄養大学短期大学部を併設する香川調理製菓専門学校は 1959 年、調理師学校として東京都で最初に認可を受けた伝統校です。校内には、一般のお客様を対象とした営業店を設置し実際の現場で実際のお客様を対象に仕事を学ぶという独自のカリキュラムに取り入れている。調理マイスター科は職業実践専門課程の認定を受けました。
5	窪田理容美容 専門学校	中野区	昼	美容学科 (200)	昭和 25 年開校以来、「忍耐・創造・独立」を校訓に、理容師・美容師となるための専門知識、技術を習得させる事を縦軸、人としてマナーや接客方法などのサービス業従事者としての心構えを習得させる事を横軸とし教育を行なっています。
			夜	美容学科トライチェンジコース (40)	
			昼	理容学科 (40) テクニカルスタイリスト科ビューティ コース (40) テクニカルスタイリスト科アーティスト コース (40)	
			通	美容学科 (160) 理容学科 (40)	
6	国際デュアル ビジネス専門 学校 (新校名) 国際観光専門 学校 (旧校名)	台東区	昼	国際観光学科 (80) 国際ホテル学科 (160)	「人間教育」「実践教育」「国際人教育」の 3 つの教育理念を掲げ、観光・ホテル・医療分野への業界人の育成に取り組んでいる。専門知識と一般教養を育むカリキュラムに加え、座学と企業実習を組み合わせ、日本版デュアルシステムを取り入れている。平成 28 年に国際ホテル学科について「職業実践専門課程」の認定を受けた。知識と業界経験豊かな職業人の育成を目指している。
7	国際理容美容 専門学校	荒川区	昼	職業実践専門課程⇒ 理容科 (80) 美容科 (160) ビジネス美容科 (80) 【修業年限 2 年】 専門課程⇒ ビューティアーティスト科 (40) 【修業年限 2 年】 高等課程⇒美容高等科 (60) 【修業年限 3 年】	専門的な知識・技術と共に、心からお客様に尽くす為に自らを磨き続けることのできる人間を育てる、「箕」の教育を目標としている。また、生活文化の向上による顧客の多様なニーズに応え、今後の時代の変化に対応できる人材および業界の向上と発展を担う人間性と教養豊かな資質の高い職業人の育成を目指している。
			通	理容科 (40)、美容科 (80) 【修業年限 3 年】	
8	新東京歯科 技工士学校	大田区	昼	歯科技工士科 I 部 (90) 歯科技術予備教育科 (35)	新東京歯科技工士学校は、1980 年開校以来、厚生労働省指定養成所として歯科医療の国家資格「歯科技工士」を取得した専門職を養成してきました。また、企業や医療関連団体と連携した教育が特長であることから、文部科学省から職業実践専門課程として認定され、職業人教育を通じて社会に貢献することをミッションとしています。
			夜	歯科技工士科 II 部 (35)	

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
9	中央工学校	北区	昼	建築学科、建築工学科、 建築設計科、木造建築科、 建築設備設計科、建築室 内設計科 (330) インテリアデザイン科、 エンターテインメント科 (35) 土木建設科、造園デザ イン科、測量科、地理空間 情報科 (190) 機械学科、機械設計科、 3D-CAD 科 (40)	中央工学校は 1909 年(明治 42 年)に創設し、2019 年 10 月 21 日に創立 110 周年を迎える。 伝統と歴史を誇る専門学校で、社会に送り出した卒業生は 10 万 5,000 人を超え日本の国 づくりをリードしています。教育理念を『厳しい実務教育』『人間涵養教育』『誇りのあ る中央工学校』とし、時代の変化やニーズに対応した教育内容と実習施設・設備を完備 し、本格派の技術者を育成しています。学習面においては、クラス担任制できめ細やか な指導を行い、教師陣も技術革新の時代にふさわしい内容で備えています。学生寮など も充実しており、地方からの進学者にも安心して学べる環境となっています。資格につ いても建築系の全ての学科で卒業と同時に 2 級建築士の受験資格、土木・測量系学科で は国家資格の測量士補が卒業と同時に無試験取得できる学科などプロフェッショナルに なるためのカリキュラムを整えており、また、資格取得のバックアップ体制も整えてい ます。就職指導においては、全国に広がった卒業生とのネットワークを活かしてクラス 担任と就職指導の担当職員が連携を取り、学生の希望職種に就職できるようにしっかりと サポートしています。毎年ほとんどの学生が自分の目指す職業に内定を決めています。 『中央工学校＝就職に強い学校』の評判は広く社会に認められています。
			夜	建築科 (75) 土木測量科 (30)	
10	東京 IT 会計 専門学校	墨田区	昼	会計士学科 (2 年・27) 税理士学科 (2 年・40) 情報処理科 (2 年・40) IT ビジネス学科 (2 年・40) 情報メディア学科 (2 年・40)	本校の最大の特徴は、大学生でも現役合格がむずかしい公認会計士試験・税理士試験や 高度情報処理試験に高校卒業生対象の専門課程から毎年多くの現役合格者を輩出して いることです。その理由は、開学からずっと実施している楽しく学んで実力が身につく 「ゼミ学習」にあります。
11	東京エアトラベル・ ホテル専門学校	小金井市	昼	エアライン科 (60) エアポートサービス科 (30) 英語キャリア科 (30) ホテル科 (60) ブライダル科 (60) ビジネスマナー・秘書科 (20) ファッションビジネス科 (10) 観光旅行科 (30) 鉄道交通科 (40) 研究科 (20) 大学併修学科 (20)	昭和 48 年の設立と同時にスイス航空日本人スチュワーデス第一期生の採用と教育を実 施。以来、エアライン、ホテル、観光、ブライダル、鉄道の各分野に優秀な人材を送り 出している。少人数制で仕事に直結した豊富な実習やインターンシップ実習での現場を 体験、ことば遣いや礼儀作法などのホスピタリティ教育、英語の他にも近年需要が高まっ ている中国語や韓国語などの語学教育など充実したカリキュラムで、社会で通用する品 格のある人材を育成。こうした教育内容が評価され、現在は、アジアナスタッフサービ ス(株)や中国東方航空の採用指定校となっています。また、中央大学、産業能率大学、 日本大学、姫路大学、星槎大学との 4 年制大学通信教育課程と連携した W スクールシ ステムにより、「専門士」と「学士」の両方の学位の取得も可能。
12	専門学校東京工科 自動車大学校	中野区	昼	1 級自動車整備科 (4 年・50 名) 自動車整備科 (2 年・100 名) エンジンメンテナンス科 (2 年・80 名)	日本の基幹産業である自動車業界のメーカー・ディーラー・モータースポーツ等様々な 職種に対応した特徴ある学科を設置するクルマとバイクの自動車大学校です。一級・二 級自動車整備士資格をはじめ多種資格取得にも対応できるカリキュラムと安心して学べ る独自の授業システムにより「解る・出来る・取れる」教育をしております。二級課程 は短大卒と同等の専門士、一級課程は四大卒と同等の高度専門士の称号が付与され、大 学院入学資格も与えられます。企業からの信頼も厚く、就職は毎年ほぼ 100% を達成。 平成 26 年度より「職業実践専門課程」の文部科学省大臣認定を受けている学校です。
13	東京工学院 専門学校	小金井市	昼	コンサート・イベント科 (60)、音響芸術科 (40)、 ミュージック科 (20)、放 送芸術科 (30)、声優・ 演劇科 (40)、ゲームクリ エーター科 (40)、CG ク リエーター科 (30)、Web デザイン科 (30)、マンガ 科 (40)、アニメーション 科 (30)、グラフィックデ ザイン科 (30)、スポーツ ビジネス科 (60)、幼児教 育学科 (40)、こども学科 (40)、教育専攻科 (40)、 公務員科 (30)、建築学 科 (40)、インテリアデザ イン科 (20)、情報シス テム科 (40)、電気電子学 科 (40)、航空学科 (20)、 法律情報科 (30)、経営 情報科 (30)、大学併修 学科 (40)、研究科 (20)	昭和 34 年、文部省認定唯一のテレビ専門学校「名城大学付属東京テレビ高等技術学校」 として創立。オックスフォード大学をはじめとする海外大学との提携や一流企業の現場 でのインターンシップ体験、各業界で活躍している講師陣による徹底指導など、時代の ニーズに応える高度な専門性や広い視野を持つ人材を 50 年以上社会に送りだしている。 25 学科 60 コースもの多彩な専門分野から構成される総合学院であり、各専門分野の知 識や技能を修得するのみならず、他の専門分野との学科間、コース間を越えた学びも可 能。それぞれの専門分野が協力して成り立っている社会という形を学校内に再現するこ とで、学生たちにとっては貴重な経験となっている。一つのキャンパスで様々な専門分 野を学ぶ学生同士が交流できることで、新たな価値観に触れ視野を広げ、コミュニケー ション能力を鍛えられるのも特長の一つ。各学科は少人数制なので、学生一人ひとりの 個性や適性に合わせた丁寧な指導を実施。また、中央大学、産業能率大学、日本大学、 姫路大学、星槎大学との 4 年制大学通信教育課程と連携した W スクールシステムにより、 「専門士」と「学士」の両方の学位の取得も可能。ビジネスの最先端で求められる力を 身につけたスペシャリストの育成を目指している。
14	東京誠心調理師 専門学校	大田区	専門	調理師科 2 年制 (120) シェフパティシエ科 2 年制 (40) 調理師科 1 年制 (40) [調理技術・福祉調理]	1970 年創立。2007 年 8 月京急蒲田駅西口すぐそばに HACCP や ISO22000 に適用した、 全く新しいコンセプトの基、新校舎が完成。調理師科 2 年制には、学内レストランにて、 一般の方々を対象に専門学校生レストランを運営。メニュー開発から運営までをトータ ルに学ぶことができます。この他、毎年 2 月に開催されている全国調理技術コンクール では、数々の大賞を受賞しており、技術教育についてもその質の高さを誇っています。 2012 年からは、週 3 日制の夜間部 2 年制を開校。社会人や大学生の方々にも入学し易い 学科を設立。
			高等	調理師科夜間部 2 年制 (40)	
15	東京デザインテク ノロジーセンター 専門学校	新宿区	昼	スーパー IT 科 (80) IT・デザイン科 (80)	本校は、業界が必要とする人材育成を産学協同教育によって行っています。学科は、IT を核としたエンジニア、クリエイター、デザイナーの育成カリキュラムで構成されてい ます。資格取得にも力を入れ国家資格、ベンダー資格、業界資格の取得に取り組んでい ます。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
16	東京美容 専門学校	新宿区	昼	美容総合科ヘアスタイリ ストコース (80)(専門課程) 美容総合科トータルビュー ティーコース (40)(専門課程) エステティック科 (16)(専門課程) メイク・ネイル科 (40)(専門課程)	本校は 1947 年の創立以来、「堅実な学風、先進の技術」という建学の精神を大切に 70 年の歴史を重ねてまいりました。現理事長、田中みさ子は、約 80 店舗のヘア & ブライダルサロングループを率い、国内外の美容業界において活躍しています。また、海外のコスメティックスメーカーとも提携し、教育システムにおいても多くのサポートを受けてきました。こうした伝統を踏まえ、常に「時代と共にある美のスペシャリスト、時代を超える美しさ」を模索しながら、ハートフルな美容師育成に専心し、そのために必要な施設、カリキュラムを充実させております。
			通	美容通信科 (通信)(80) エステティック通信講座(16)	
17	東京法律 専門学校	墨田区	昼	法律学科 (4 年・40) 法律学科 (2 年・77) 法律ビジネス学科(2 年・40) 法律社会学科(2 年・40) 行政学科 (1 年・36) 法律社会学科(1 年・36)	1983 年日本の専門学校で最初の公務員学科をつくった伝統が今も充分に発揮されています。最大の特徴である「ゼミ学習」は、学生同士がお互いに教えあうことにより、楽しい雰囲気の中で理解がすすみます。さらにはコミュニケーション能力、表現力、リーダーシップ能力も身につきます。
18	東京 YMCA 医療福祉 専門学校	国立市	昼	社会福祉専門課程 介護福祉科 (2 年)(80) 医療専門課程 作業療法学科(3 年)(30)	世界の YMCA に共通の精神である「平和で優しい社会の実現に貢献する」に基づいて、学校法人東京 YMCA によって 1996 年に設立されました。学生一人ひとりに合わせた指導で「人に向き合い、人を支える専門家」として豊かな人間性を持つスペシャリストを養成し業界に送り出しています。
19	日本ウェルネス スポーツ専門学校	練馬区	昼	アスレティックトレーナー科 (40) 健康スポーツ科 (40) ライフプロモーション科 (37) ウェルネス IT 科 A (4 月入学)(30) ウェルネス IT 科 B (10 月入学)(30)	日本ウェルネススポーツ専門学校は、1998 年(平成 10 年)4 月に開校された体育スポーツ・健康づくり及び、情報技術に関する知識・技能を修得するための専門教育を行い、その分野における指導並びに社会活動に対応し得る人材を育成する専門学校です。本校はオリンピック出場、世界選手権優勝、国際大会優勝等、数々の実績を残しているスポーツ専門学校の名門です。競技スポーツを中心としたアスリート (硬式野球・サッカー・陸上など多数のスポーツ) の他、スポーツトレーナー (トップアスリート、スポーツクラブ、学生のトレーナー)、スポーツインストラクター、幼児体育指導者のスペシャリストを養成します。学校主導の徹底した就職支援による高い就職率と、たくさんの専門資格を取得できることが特色です。本校グループでは、スポーツ業界初の「専門学校・大学連携の内部推薦制度」が誕生しました。本校の卒業生は内部推薦により、「日本ウェルネススポーツ大学」の 3 年次に進級できます。3 年次進級の際、本校での取得単位が大学の単位として読替えされるので、進級後無理なく 2 年間で大学を卒業できます。また、日本ウェルネススポーツ大学では「保健体育教員免許」の取得が可能です。本校卒業後、大学にて学位を取得し、職業に直結した実践力を深めたい方には、この内部推薦制度はお勧めです。
			夜	アスリート研究科 (40)	
20	日本工学院 専門学校	大田区	昼	放送芸術科 (120)、声優・ 演劇科 (120)、演劇ス タッフ科 (80)、マンガ・ アニメーション科四年 制 (40)、マンガ・アニ メーション科 (200)、 ゲームクリエイター科 四年制 (120)、ゲーム クリエイター科 (120)、 CG 映像科 (80)、グ ラフィックデザイン科 (40)、Web クリエイター 科 (40)、インテリアデ ザイン科 (40)、プロダ クトデザイン科 (40)、 ミュージックアーティ スト科 (80)、コンサー ト・イベント科 (320)、 音響芸術科 (120)、ダ ンスパフォーマンス科 (80)、IT スペシャリス ト科 (80)、情報処理科 (160)、パソコン・ネッ トワーク科 (40)、情報 ビジネス科 (40)、電子・ 電気科 (120)、環境・バ イオ科 (40)、建築学科 (40)、建築設計科 (80)、 機械設計科 (40)	本校は、1947 年の創立以来、「理想的教育は理想的環境にあり」という教育理念のもと、「若者の持つ夢を、技術という生きる力に育み、豊かな未来創造に寄与する」をミッションとし、最先端の学習環境と各分野の第一線で活躍するプロの講師陣が、実践的で質の高い専門教育を行っております。これまでに多くの卒業生を社会に送り出し、それぞれが各分野の第一線で活躍していることが、本校の教育の何よりもの実績と自負しております。 多彩なスペシャリストを育てるカレッジ制 長い歴史のなかで培ってきた総合専門学校としてのノウハウと、グレードの高い専門教育を実現するために、カレッジ制を導入。総合専門学校のメリットはそのままに、これまでの学科を発展させ、より専門性を追求する学習環境を実現。「総合性」+「専門性」のカレッジ制専門学校として生まれ変わりました。 「クリエイターズ」「デザイン」「ミュージック」「IT」「テクノロジー」「医療・保育」の 6 つのカレッジは、専門領域を深く掘り下げながら相互に関わりあい、連携することで新たなスペシャリスト教育の創造を実現しています。 より充実した教育を提供する 「教育設計図」本校では、就職難の時代に対応し学校の本質である学生への教育をより充実させるべく、長年積み上げてきた教育ノウハウを結集・体系化した「教育設計図」を確立いたしました。これは、「すべての学生に就労に必要なスキルを身につけさせること」を目的とした、全く新しい教育カリキュラムです。すべての学生にこの「教育設計図」に基づいた「専門力」教育を行うとともに、社会人として必要不可欠となる「人間力」の育成にも力を入れ、学生全員が就職・デビューを叶えることができるよう徹底サポートしております。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
21	日本工学院 八王子専門学校	八王子市	昼	放送芸術科 (80)、声優・演劇科 (80)、マンガ・アニメーション科四年制 (40)、マンガ・アニメーション科 (120)、ゲームクリエイター科四年制 (80)、ゲームクリエイター科 (80)、CG 映像科 (80)、グラフィックデザイン科 (40)、Web クリエイター科 (40)、インテリアデザイン科 (40)、プロダクトデザイン科 (40)、ミュージックアーティスト科 (80)、コンサート・イベント科 (120)、音響芸術科 (40)、IT スペシャリスト科 (40)、情報処理科 (160)、パソコン・ネットワーク科 (40)、情報ビジネス科 (40)、ロボット科 (40)、電子・電気科 (120)、一級自動車整備科 (25)、自動車整備科 (100)、応用生物学科 (40)、建築学科 (80)、建築設計科 (120)、土木・造園科 (40)、機械設計科 (40)、スポーツトレーナー科三年制 (40)、スポーツトレーナー科 (40)、スポーツ健康学科三年制 (40)、スポーツ健康学科 (80)、医療事務科 (40)、鍼灸科 (30)、柔道整復科 (60)、こども学科 (80)、診療情報管理士専攻科 (40) 平成 31 年度実績	本校は、1947 年に東京都大田区西蒲田に創立した創美学園を起源とし、1987 年に八王子市に開校しました。「理想的教育は理想的環境にあり」という教育理念のもと、約 38 万㎡の広大な敷地に最先端の学習・研究施設を機能的にレイアウト。充実した学習環境と各分野の第一線で活躍するプロの講師陣が、実践的で質の高い専門教育を行っております。これまでに多くの卒業生を社会に送り出し、それぞれが各分野の第一線で活躍していることが、本校の教育の何よりもの実績と自負しております。 多彩なスペシャリストを育てるカレッジ制 長い歴史のなかで培ってきた総合専門学校としてのノウハウと、グレードの高い専門教育を実現するため、カレッジ制を導入。総合専門学校のメリットはそのままに、これまでの学科を発展させ、より専門性を追求する学習環境を実現。「総合性」+「専門性」のカレッジ制専門学校として生まれ変わりました。「クリエイターズ」「デザイン」「ミュージック」「IT」「テクノロジー」「医療・保育」「スポーツ」の 7 つのカレッジは、専門領域を深く掘り下げながら相互に関わりあい、連携することで新たなスペシャリスト教育の創造を実現しています。 より充実した教育を提供する「教育設計図」 本校では、就職難の時代に対応し学校の本質である学生への教育をより充実させるべく、長年積み上げてきた教育ノウハウを結集・体系化した「教育設計図」を確立いたしました。これは、“すべての学生に就労に必要なスキルを身につけさせること”を目的とした、全く新しい教育カリキュラムです。すべての学生にこの「教育設計図」に基づいた「専門力」教育を行うとともに、社会人として必要不可欠となる「人間力」の育成にも力を入れ、学生全員が就職・デビューを叶えることができるよう徹底サポートしております。
22	専門学校 日本スクール オブビジネス	杉並区	昼	鉄道・トラベル学科 (2 年・68) ビジネス総合学科 (2 年・28) スポーツ学科 (2 年・40)	本学の特色である「ゼミ学習」では、学生同士がお互いにおしえあうことにより学習意欲がわき、楽しい雰囲気の中で理解がすすみ、さらにはコミュニケーション能力、表現力、リーダーシップ能力も身につきます。資格を取って知識と技術、実習をとおして実践力を養っていきます。
23	日本電子 専門学校	新宿区	昼 夜	コンピュータグラフィックス科 (160)、コンピュータグラフィックス研究科 (40)、CG 映像製作科 (40)、ゲーム制作研究科 (150)、ゲーム制作研究科 (120)、ゲーム企画科 (80)、アニメーション科 (80)、アニメーション研究科 (40)、Web デザイン科 (80)、グラフィックデザイン科 (80)、A I システム科 (40)、ケータイ・アプリケーション科 (40)、ネットワークセキュリティ科 (80)、情報処理科 (120)、情報システム開発科 (80)、高度情報処理科 (80)、電子応用工学科 (40)、電気工学科 (50)、高度電気工学科 (30)、電気工事技術科 (50) ネットワークセキュリティ科 (40)、情報処理科 (40)、電気工学科 (50)、電気工事科 (50)	「電子技術を核とした創造性豊かな技術者の育成を通して世界に貢献する」という建学の精神により、現在は「最先端の技術をいち早く実学として取り込み、個性を生かせる教育環境の中で、国際社会に貢献することのできる感性豊かなスペシャリストを育成する」を教育理念として掲げ、独自の教育システムを構築している。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
24	日本動物 専門学校	杉並区	昼	動物管理学科 (2年・160)	動物に関する知識と就職に役立つ幅広いビジネス知識を習得し、動物たちとふれあいがら、実践力を身につけます。インターンシップでは、実際の現場で実践することにより、より一層成長することができます。「ゼミ学習」により楽しく学びながら実力をアップしていきます。
25	二葉栄養 専門学校	武蔵野市	昼	管理栄養士学科 (40) 栄養士科 (120) 調理師科 (76) 調理実践科 (76)	学校法人古屋学園は1937年に開校し、ファッション、調理、栄養、製菓分野に数多くの職業人を輩出してまいりました。2002年に東日本地区の専門学校では1番目に管理栄養士学科を設置しました。2015年には管理栄養士学科と栄養士科が、2017年には調理実践科が『職業実践専門課程』として認定され、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するために企業などと連携し実習や実技の授業を重視した学園として文部科学省より認可を受けました。今後も、社会に役立つ人間性豊かな専門家の養成をめざし、社会のニーズに応えられる幅広い教養・コミュニケーション能力・豊かな技量を身につけた実践的な栄養士・管理栄養士・調理師を養成いたします。
26	二葉ファッション アカデミー	武蔵野市	昼 高等 夜	ファッション総合学科(100) ファッション専攻科 (10) ファッションデザイン科(40) ファッション本科 (40) ファッション技術科 (40)	1937年の創立以来、ファッションデザイナーの森英恵先生をはじめとする、多くのファッションスペシャリストを産業界に送り出してきました。「涵養の精神と職業人としての自立」という建学の理念のもと、学内ブランドを有し、「東京コレクション」に参加する等、常に産業界と連携した教育活動を展開しています。
27	マリールイズ 美容専門学校	新宿区	昼 通	美容本科 (40) 美容通信科 (40)	108年を迎えるマリールイズ美容専門学校は、「日本の美容の歴史は、常にマリールイズと共にありました。」歴史を踏まえ「1に人格・2に技術」を教育の根幹に捉え、「1学年40人」少人数による指導の下で、一人ひとりの学生と向き合い「美容のプロ」を本気で育てたいと日々授業に取り組んでいます。その結果、美容師免許合格率100%の実績を積み重ね、未来の「夢実現」に卒業生を輩出しています。求人情数も約1000社・就職について手厚くサポートします。授業内容は、入学後の6カ月間はカットやメイクの美容の基礎を学び、その後は、自らの個性を重視し、希望する「将来像」に合わせたセレクトできる授業を行っており、専門知識と技術を学ぶことができます。インターンシップを重視し、複数のサロンを経験します。さらに、卒業後の希望に合わせ、(株)美容マリールイズ企業連携、卒業生の経営するサロン提携等を結び、職業人として実習を通して、実践的なカリキュラムを編成、特色化を図っています。
28	町田・デザイン 専門学校	町田市	昼 通	建築デザイン科 (60)、 インテリアデザイン科 (40)、雑貨・プロダク トデザイン科 (40)、グ ラフィックデザイン科 (40)、イラストレーシ ョン科 (40)、Web・CG アニメーション科 (35)、 まんが科 (40)、コミッ クイラスト科 (60) 二級建築士受験科 (30)、 建築デザイン科 (20)	創立38年の総合デザイン系専門学校です。4学群（建築学群・ビジュアル学群・コミック学群・ライフ学群）・8学科38専攻で、3年制2学科（グラフィックデザイン科、Web・CGアニメーション科）2年制6学科で編成されています。独自のステップアップ方式とpeer.Cを特徴にした就職内定率95.8%、デビュー率66.6%の「就職・デビューに強い」デザインの専門学校です。 東京都初の通信制の学科を設置しています。最短2年で二級建築士の受験資格を取得する二級建築士受験科と二級建築士の受験資格と専門士を同時に取得する3年制の建築デザイン科を設置しています。両学科とも、eラーニングを使用しながら「いつでも、どこでも」学習が可能で、学費も昼間学科の1/3程度で学ぶことができます。
29	武蔵野東 高等専修学校	武蔵野市	昼	総合キャリア学科 (75)	「理想」～世のために役立ち、人々に必要とされる社会人となる～を校訓に、将来の職業生活に直接役立つ専門的な知識・技術を学ぶとともに人間的成長を図る。また、一般教養科目も強化し、スポーツ大会、林間学習、学園祭などの体験学習を重視している。
30	専門学校 読売自動車 大学校	江東区	昼	1級整備学科 (4年・40名) 自動車整備学科 (2年・240名)	読売新聞社が1970年に創設、読売グループ各企業がバックアップ。読売新聞社独自の奨学金制度も充実し、安心して学べる体制で、二級国家試験も就職も、毎年ほぼ100%の実績を残しています。読売式教育メソッドに基づいた教育を行い、自動車エンジニアとしての技術力だけでなく「人間力」の育成に力を注いでいます。両学科とも「職業実践専門課程」認定校であり、企業連携を重視した教育体制です。さらに、1級整備学科は「高度専門士」の称号を付与され、大学院入学資格を与えられ、大学院進学者も輩出しています。
31	読売理工医療 福祉専門学校	港区	昼 夜	放送映像学科 (2年制: 60)、TVディレクター 学科 (2年制:40)、建 築学科 (2年制:40)、 建築士専攻科 (1年制: 10)、電気電子学科 (2 年制:40)、クロスメディ ア情報学科 (2年制: 40)、臨床工学科 (3年 制:40)、介護福祉学科 (2年制:40)、ケアキャ リ養成科 (1年制:30) 建築科 (2年制:40) 臨床工学専攻科 (2年制:40)	読売新聞社により1970年に創設、工業・医療・福祉の3分野に昼間部と夜間部を併せ11学科を設置しています。今年で49年目を迎え27,000名を越える卒業生を社会に送り出しています。 2020年には現在の港区芝より文京区小石川の新校舎に移転します。

	学校名	所在地	課程	平成 31 年度募集 学科及び募集人数	学校の概要・特色
32	早稲田速記 医療福祉専門学校	豊島区	昼	医療秘書科 (120)、医療 マネジメント科 (120)、 診療情報管理専攻科 (30)、医師事務技術専攻 科 (30)、くすり・調剤 事務科 (40)、介護福祉 科 (30)、看護科 (35)、キャ プションライター養成科 (20)	1935 年に創立し、1972 年に日本で初めて医療秘書科をスタートさせました。いつも時 代の先を読み、社会の変化に対応するスペシャリストを育てています。専門的な学びの ほかに、マナーやコミュニケーション能力などの社会性を身につけることで、長く社会 で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。正職員就職率が高いことも本校の特徴の 一つです。

短期大学

1	愛国学園 短期大学	江戸川区	全	家政科： 生活デザイン専攻 (50) 食物栄養専攻 (50)	「経済的に独立し、家庭の幸福の源泉となれる女性の育成」の建学の精神の下、豊かな教 養とともに、生活デザイン専攻では、家政学の幅広い知識と技術を身につけ、目指す将 来に応じた実践力を養います。同専攻では中学校教諭二種免許（家庭）、医療事務管理 士をはじめ、医・食・住・介護・福祉に関わる様々な資格が取得可能です。また、食物 栄養専攻では、栄養士として、食・栄養の専門知識と技術に加え、思考力、実践力と問 題解決力を養います。栄養士資格とともに、栄養教諭二種免許やフードスペシャリスト の資格も取得できます。両専攻ともに卒業と同時に社会福祉主事任用資格が取得できま す。また、所定の単位を取得することによりフードコーディネーター 3 級の資格を取得 できます。他にも秘書技能、簿記、アロマセラピーなど様々な検定資格取得の支援科目や、 アスリートフードマイスター 3 級、介護職員初任者研修終了資格を得るための講座も設 けられています。
2	東京家政大学 短期大学部	板橋区	全	保育科 (120) 栄養科 (80)	本学の学びには、社会で活躍するための即戦力となる専門知識と技術の習得、資格取得 に加えて人間性を高め、視野を広める教養教育が備わっている。保育科は保育士、幼稚 園教諭二種の資格・免許が取得でき、90%が専門職に進路を決定。公立の保育士合格者 多数。栄養科は栄養士、中学校教諭二種（家庭）、栄養教諭二種の免許、フードスペシャ リスト（受験資格）が取得でき、栄養士には約 40%、その他食品関連企業を中心に一般 企業に進路を決定。

平成 30 年度 会 員 中 学 校

公立中学校

	学校数		学校数		学校数		学校数		学校数
千代田区	2	江東区	23	杉並区	23	江戸川区	33	狛江市	4
中央区	4	品川区	9	豊島区	8	武蔵野市	6	東大和市	5
港区	10	目黒区	9	北区	12	青梅市	10	羽村市	3
新宿区	10	大田区	28	荒川区	10	府中市	11	三宅村	1
文京区	10	世田谷区	29	練馬区	34	調布市	8	新島村	2
台東区	7	渋谷区	8	足立区	35	町田市	1	神津島村	1
墨田区	10	中野区	10	葛飾区	24	国分寺市	5		

合 計 405

区立中等教育学校
千代田区立九段中等教育学校
区立義務教育学校
品川区立日野学園
品川区立伊藤学園
品川区立八潮学園
品川区立荏原平塚学園
品川区立品川学園
品川区立豊葉の杜学園
江東区立有明西学園

都立中学校
東京都立白鷗高等学校附属中学校
東京都立両国高等学校附属中学校
東京都立武蔵高等学校附属中学校
東京都立富士高等学校附属中学校
東京都立大泉高等学校附属中学校
都立中等教育学校
東京都立小石川中等教育学校
東京都立桜修館中等教育学校
東京都立立川国際中等教育学校
東京都立南多摩中等教育学校
東京都立三鷹中等教育学校

私立中学校
愛国中学校
鷗友学園女子中学校
恵泉女学園中学校
武蔵野東中学校
国立大学法人
筑波大学附属中学校

個 人 会 員

- 堀居 英治
- 齋藤 武捷
- 倉持 俊義
- 梶谷 正義
- 内川 武雄
- 中村 浩
- 松井 章朗
- 花野 耕一
- 富岡 逸郎
- 曾根 敏邦
- 森 健
- 福島 正幸
- 佐々木健一
- 手打 和明

本会への入会のご案内

本会は、「産業界、教育界および教育行政当局が連携し相互に連絡協調して、本都における国公私立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校などの産業教育の改善をはかり、産業経済の発展に寄与する」等を目的としています。

産業教育に関心のある企業・学校・個人で入会希望の方または新会員をご紹介いただける方は、本会事務局までご連絡ください。

(連絡先) 〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

東京都産業教育振興会事務局

TEL 03(5320)6729 FAX 03(5388)1727

編集後記

平成の30年間が間もなく終わり、新しい時代を迎えることになりました。時を同じくして、中学校、高等学校の学習指導要領が改訂され、新しい教育が始まります。一方、産業を取り巻く環境は大きく変化しており、情報化やグローバル化の進展に加え、担い手の不足と高齢化が重くのしかかっています。このような時に、産業を担う人材の育成はどうあるべきかを模索するため、本年度は特集テーマを「新しい時代の産業を担う人材育成—各校・各学科の取組—」とし、新しい時代に対応した産業教育に積極的に取り組んでいる会員校の実践事例を紹介いたしました。

産業界と教育界、教育行政が連携して産業を担う人材を育成していくことは、今後ますます重要となります。産業教育の充実・発展のために本誌が幾許かの参考になればと願っております。

御多用にも拘わらず、玉稿を御執筆いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後も本会への更なる御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス <http://www.tosanshin.org/>

表紙デザイン（平成24年度本誌第50号記念表紙デザインコンクール最優秀作品）
製作者 川口彩花さん（東京都立工芸高等学校 グラフィックアーツ科）

東京の産業教育 第56号

発行 平成31年（2019年）3月1日 発行

東京都産業教育振興会

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

TEL 03(5320)6729 FAX 03(5388)1727

印刷 株式会社小葉印刷所

再生紙を使用しています

広 告 目 次

1	日本ウェルネススポーツ専門学校	表表紙内側
2	窪田理容美容専門学校	102
3	株式会社第一成和事務所	103
4	東京YMCA医療福祉専門学校	104
5	マリールイズ美容専門学校	105
6	株式会社明石スクールユニフォームカンパニー	106
7	早稲田速記医療福祉専門学校	107
8	エンゼルフーズ株式会社	108
9	東京美容専門学校	109
10	ヤマ産業株式会社	110
11	愛国中学校・高等学校	111
12	中央工学校	112
13	ベストワールド株式会社	113
14	東京商工会議所	114
15	株式会社小薬印刷所	115
16	株式会社ハチオウ	116
17	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	裏表紙内側
18	株式会社カナック企画	裏表紙



学 科

美容学科

〔昼間2年〕

美容学科

〔夜間3年〕

トライチェンジコース

理容学科

〔昼間2年〕

- ・本科コース
- ・認定エステティシャン取得コース

テクニカルスタイリスト科

〔昼間1年〕

- ・ビューティーコース
- ・アーティストコース

通信美容学科

〔3年〕

通信理容学科

〔3年〕

美容ダブルライセンス科

〔1年6ヶ月〕

(理容修得者)

理容ダブルライセンス科

〔1年6ヶ月〕

(美容修得者)

特 色

- ・挨拶、マナーに徹底した人間教育
- ・自力進学可能なトライチェンジコース
- ・窪田独自の奨学基金制度

試 験

推薦入試 特別推薦入試 一般入試

取 得 資 格

美容師、理容師

窪田独自の奨学金制度

窪田特別奨学基金

上限 100 万円を無利子で貸与、返済期間も最長 10 年



確かな技術
を養う教育
豊かな人間性
を育む環境

学校法人 窪田学園 厚生労働大臣指定

職業実践専門課程 認定校

東京都知事認可



窪田理容美容専門学校

理事長 窪田 多美子

校長 中村 雅江

〒164-8585

東京都中野区中野 4-11-1

TEL :03-3386-6789

Mail : kbc@kubota.ac.jp

インターンシップ・ボランティア等体験活動保険

キャリア教育
補償制度

職場体験・就業体験・奉仕活動中の賠償事故・ケガに対応

低額の保険料で
高い補償

賠償責任保険
→250円
(年間)

傷害保険
→30円から
(1日あたり)

対象となる活動

学校が教育活動の一環とするキャリア教育（職場体験等）、インターンシップ（就業体験等）、ボランティア（奉仕活動）

詳しくは産業教育振興中央会
ホームページをご参照ください。

<http://www.sansinchuoukai.or.jp>

※2008年度の制度改定により、対象となる活動を勤労観、職業観育成のための上記の活動に限定しておりますのでご注意ください。

補償の対象者

学校教育法に定める小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校（盲、聾、養護学校）、高等専門学校の児童・生徒・学生（専攻科生徒・学生を含みます。）

保険金のお支払い事例

賠償責任保険

ボランティア活動 (奉仕活動) 	インターンシップ (就業体験) 	介護体験等 
--	--	--

傷害保険

①ボランティア活動に 参加する途中で自動 車にはねられた。 	②インターンシップ 体験中にケガをした。 	③介護体験中にケガ をした。 
--	---	---

活動内容 (場所)	事故内容	賠償金額	活動内容 (場所)	事故内容	賠償金額 (治療日数)
職場体験活動 (インターンシップ先)	農作業の実習中にローダー 操作を誤り牛舎を破損。	306,600円	就業体験活動 (インターンシップ先)	精肉加工コーナーで肉を 切っていた時に誤って指を 切る。	32,000円 (通院16日)
就業体験往復途上 (帰宅途上)	自転車で帰宅中に十字路で 出会い頭に衝突し、他人に ケガを負わせる。	838,720円	就業体験往復途上 (帰宅途上)	自転車で帰宅中、見通しの 悪い下り坂で車と正面衝突 し負傷。	18,000円 (入院3日・ 通院3日)
ボランティア活動中 (ボランティア先)	除草作業中に誤ってガラス 窓を破損。	42,000円	ボランティア活動中 (ボランティア先)	草むしりをしていたところ、 ミツバチに指を刺された。	2,000円 (通院1日)

※実際のお支払いはご加入の内容やおケガの状態により異なります。



東京 Y M C A 医療福祉専門学校

厚生労働大臣指定 介護福祉士養成施設・作業療法士養成施設 職業実践専門課程認定校

介護福祉科

昼間部 2年制・男女80名

卒業時、介護福祉士国家試験受験資格取得

作業療法学科

昼間部 3年制・男女30名

卒業時、作業療法士国家試験受験資格取得



「互いに愛し合いなさい」これが私たちのカレッジスピリットです。

生きるために他人の手を必要とする人々を、直接支える介護福祉士・作業療法士には、専門知識や技術だけでなく、常に笑顔と優しさを持って人と接することができる豊かな人間性が求められています。人間愛に基づいた本物の医療・福祉を実践できるスペシャリストになっていただきたいと、私たちは心から願っています。

一人ひとりを大切に育てる個別指導、ぜひ皆さんの目を見て、本校の雰囲気を感じてください。

〒186-0003 東京都国立市富士見台 2-35-11

TEL : 042-577-5521 FAX : 042-577-5506

email: ifs@tokyo.ymca.ac.jp URL: <http://tokyo.ymca.ac.jp/ifs/>



得意分野、専門分野のある美容のスペシャリストをめざして



100 年以上も前から世界に通用する美容師を育ててきました。

マリールイズは、ワンランク上のプロを育てる少人数制にこだわっています。

本校の始まりは 1912 年（明治 45 年）。

創立者マリールイズは世界文化の中心地パリより、

日本で初めて西洋美容の髪型であるマルセルウェーブ、

フェイシャルエステ及び化粧品製造技術等を携えて20年ぶりに帰国します。

当時の宮家皇族 14 家に出入りし、

パリのお洒落を紹介。

ヨーロッパ風俗・西洋化の流れは

マリールイズから始まりました。

「日本近代美容の母」と謳われる

由縁です。

当時働くことを必要とした女性の

ために、

手に職をと美容学校の前身となった美容講習所を日比谷

に立ち上げます。

その教育理念は「一に人格、二に技術」。



「学校見学&体験入学」随時受付中！ ※詳しくは電話又はホームページにてお問い合わせください。



学校法人 マリールイズ学園 厚生労働大臣指定

マリールイズ美容専門学校

<お問い合わせ>

TEL:03-3357-8015

www.marie-louise.ac.jp



AKASHI
School Uniform
Company



倉敷発 日本製



JAPANESE CRAFTSMANSHIP

倉敷・児島は、江戸後期より続く伝統的な繊維産地であり、今では学生服製造の中心的拠点となっています。
日本独自の制服文化を未来に継承していくため、わたしたちは「倉敷発日本製」を合言葉に国内生産にこだわり続け、これからも日本製の上質さを究めてまいります。

体操着って、
青春着。

仲間がいる。思い出がある。



株式会社 明石スクールユニフォームカンパニー

東京支店／〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町5-5

TEL:03-5695-5300(代) FAX:03-5695-5301 URL:www.akashi-suc.jp

明石 S.U.C.

検索

 DESCENTE

変わり続ける社会からずっと必要とされる“あなた”を

早稲田速記医療福祉専門学校



SOKKI



医療秘書科

医療マネジメント科

診療情報管理専攻科

医師事務技術専攻科

くすり・調剤事務科

介護福祉科

看護科

キャプションライター養成科

早稲田速記医療福祉専門学校

東京都豊島区高田3-11-17 JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場」駅徒歩1分

☎0120-567-222（受付時間 月～金 9:00～17:00） E-mail:w-sokki@kawaguchi-g.ac.jp

エンゼルフーズ株式会社



www.angel-foods.com

経営理念

全ての日本人の健康のために

未来を担う子供たちの健康と健やかな成長と幸せのために

一つでも多くの子供たちの笑顔を集める。

健全な食生活の奨励

永遠に未完成の給食づくり

プロダクトアウトの発想からマーケットインの発想へ

～幼稚園給食のパイオニア～ 首都圏を中心に一日 5 万食を提供

エンゼルフーズ株式会社

〒114-0003 東京都北区豊島 8-1-1

TEL:03-3927-1123 FAX:03-3927-1126 URL:www.angel-foods.com

あらゆる美の感性を磨く。
それは喜びと感動のはじまり。

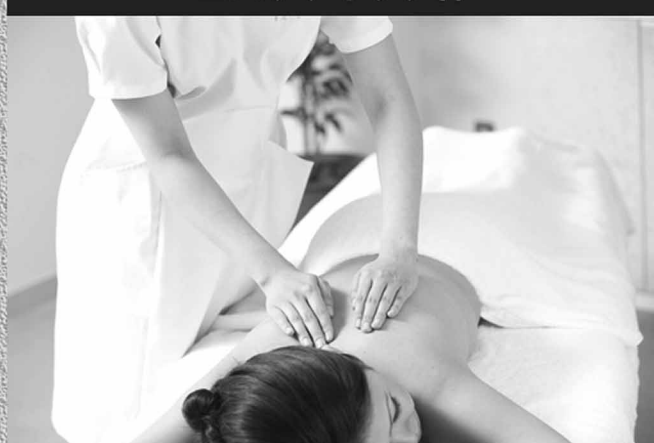
美容総合科 ヘアスタイリストコース



美容総合科 トータルビューティーコース



エステティック科



メイク・ネイル科



美容通信科

エステティック通信講座

体験入学

体験実習(選べる2コース)&個別説明
土・日は毎週開催
午前の部:10時~12時30分(先着4名)
午後の部:14時~16時30分(先着4名)

ご予約はコチラ

☎0120-344276
<http://www.tahb.ac.jp/nyugaku/taiken.html>

カット&スタイリングコース・フェイシャル&ネイルアートコース
※希望のコースと土曜日が日曜日の午前か午後をお選びください。



携帯QRコード
からお申込み

tahb*

Tokyo Academy of Hairdressing & Beauty

学校法人 田中芸術学園
東京美容専門学校

教育備品総合商社

ヤマ産業株式会社

学びの場づくりの一翼をになって、
教育現場からのきびしい要求にお応えします。

■ スチール・木製家具

■ 各種特別教室

■ 黒板・スクリーン

■ 学校用品

■ 室内装飾

■ 図書館設備

■ 視聴覚設備

■ OA事務機器



〒112-0015

東京都文京区目白台3-26-8

TEL：03(3941)7258

FAX：03(3943)3826



学校法人 愛国学園

愛国中学校 募集人員

60名

愛国高等学校 募集人員

普通科 160名

(一般教養コース・進学コース)

商業科 80名

(会計コース・情報処理コース)

家政科 80名

卒業と同時に無試験で

調理師免許取得

衛生看護科 40名

准看護師試験受験資格取得

資格試験 100%合格実績

創立81年

伝統ある中高一貫女子教育

愛国中学校・愛国高等学校

TEL.03-3658-4111 FAX.03-5668-1717

〒133-8585 東京都江戸川区西小岩5-7-1

中学校 <http://www.aikokugakuen.ac.jp/junior-high/>

高等学校 <http://www.aikokugakuen.ac.jp/senior-high/>

京成小岩駅下車徒歩3分・JR小岩駅北口下車徒歩10分・北総線新柴又駅下車徒歩13分・JR金町駅よりバス12分

優先入学できる上級併設学校

愛国学園大学 人間文化学部



仕事や生活に直結する
専門的知識や技能を修得

取得できる資格

- 認定心理士
- 上級秘書士
- 上級情報処理士
- 社会福祉主事任用資格
- など

愛国学園短期大学 (生活デザイン専攻・食物栄養専攻)



食と健康に関係する
広範囲な知識を修得

取得できる資格

- 栄養士免許
- 医療事務管理士
- など

愛国学園保育専門学校 幼児教育科 (2年制)



人間性豊かな保育士、
幼稚園教諭へ

取得できる資格

- 幼稚園教諭二種免許
- 保育士

愛国高等学校衛生看護専攻科 (全日制2年過程)



看護師として必要な知識、
技術を修得する

取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格
- ※衛生看護専攻科受験資格
- 高等学校卒業かつ
- 准看護師資格所有

愛国学園は皆さんの夢を応援しています

Feel Next Stage

Since 1909

中央工学校

110年を超える伝統と実績！
あなたの夢《未来》を勝ち取る！



2019 年春 ついに新校舎完成！

次世代へ自信をもって引き継いでいける
建物にすることで、これまで以上に確かな
技術者を輩出できるキャンパスへと進
化させていきます。



建築・木造・設備

- 建築学科 (4年) ■建築設備設計科 (2年)
- 建築工学科 (3年) ■建築室内設計科 (2年)
- 建築設計科 (2年) ■夜間 建築科 (2年)
- 木造建築科 (2年)

《建築関連学科》

— 平成 30 年 1 級建築士試験 専門学校トップの合格者数 —
平成 30 年 1 級建築士試験「設計製図の試験」学校別合格者一覧が
発表され、専門学校では連続トップの成績を収めました。
(平成 30 年 12 月 20 日、公益財団法人建築技術教育普及センター発表)



室内・インテリア・家具

- 建築室内設計科 (2年)
- インテリアデザイン科 (3年)

《インテリア関連学科》

住空間・商業空間のインテリアデザインから、施工方法まで学び、
さらに家具デザイン・家具制作技術などを身につけた、インテリア
デザイナーを目指します。



舞台美術・イベント設営

- エンターテインメント設営科 (2年)

《エンターテインメント設営科》

TVや野外ステージなどの設営に必要な設計技術(舞台造形・空間装
飾デザインなど)から、仮設足場を計画し、イベント設営物の制作・
設営技術まで習得します。



土木・測量・造園

- 土木建設科 (2年) ■造園デザイン科(2年)
- 測量科 (1年) ■夜間 土木測量科 (2年)
- 地理空間情報科(1年)
- 《測量士補取得者対象》

《土木・測量関連学科》 ※造園デザイン科を除く

Point 1	Point 2	Point 3
卒業と同時に測量士補 を無試験取得※	2年の実務で測量士 を無試験取得※	地理空間情報科を卒業する と測量士を無試験取得



機械・CAD

- 機械設計科 (2年)
- 3D—CAD科 (2年)

《機械・CAD関連学科》

身の回りの工業製品などの、設計技術を作品制作を通して、習得
します。また、最先端のCAD技術を短期間に習得できます。

■〒114-8543 東京都北区王子本町一丁目 26-17
■TEL: 03-3905-1511 (入学相談室) ☎0120-79-1511
■PC: <http://chuoko.ac.jp> (携帯からもアクセス可)
■Mail: info@chuoko.ac.jp



オフィシャルサイトに
アクセスできます。
(資料請求や学校説明会・
体験入学の申込可能)



当社は 1969 年創業以来、旅行業を営み、本年 2019 年で 50 周年を迎える事になりました。

顧みますと、無事今日を迎えることが出来ましたのは、社員一同の弛まぬ刻苦精励によることはもとよりですが、何と申しまして創業以来、数限りない多くの方々から絶大なるご支援とご愛顧を賜り、今日に至っております。

おかげさまで創業以来、借入金は皆無で、常に好成績を維持して参り、各方面から、当業界の中でも、特に優れた健全な経営であると賛辞を賜っております。

旅行業に携わる私共としまして多くの方々と一緒に、旅のお供が出来ましたことは、何物にも代え難い感動であります。

社訓は下記三条項であります、これは創業時の精神であります。

- 世のお役に立つ
 - 顧客の喜びをわが喜びとする
 - 顧客との出会いを尊び、ご縁を大切にする
- 昨今の厳しい環境と予測も困難な変化の渦中に在っては、創業の精神を想起し、向上発展を志すことこそ、最も肝要であると確信いたしております。これを機に、心を一新して、社業発展に邁進の覚悟であります。

【主な業務内容】

1. 海外旅行業務

- 海外団体旅行の企画、主催、諸手配、添乗
- ホームステイによる英語研修、海外留学の企画
- 海外業界視察、研修、親善旅行等の企画、主催、並びに業界訪問の予約業務等

- 修学旅行・国内旅行

- ジャパンフェスティバル

2. IATA 公認代理店業務

- IATA 加盟の航空各社の航空機の予約と発券

3. 海外オペレーター業務

4. 旅行附随業務

- 旅行傷害保険代理店
- 海外旅行用品の販売
- 海外イベント、フェスティバル、国際見本市等の情報収集並びに手配

5. 国内旅行

- 国内旅行全般の斡旋並びに手配

6. 輸入販売業務



東商グランドホール
580㎡ 椅子席の場合最大500名

[3時間パック] 437,400円(税込)
午前 9時～12時 / 夜間 18時～21時

東京商工会議所 ホール／会議室

2019年1月8日OPEN!

■ Room A1

195㎡ スクール形式 64名 / 口の字形式 36名

[3時間以内] 129,600円(税込)

■ Room A2

85㎡ スクール形式 24名 / 口の字形式 20名

[3時間以内] 58,320円(税込)

■ Room A1-A2 (連結)

280㎡ スクール形式 104名 / 口の字形式 52名

[3時間以内] 187,920円(税込)

申込
受付中

駅直結の好立地！ 皇居外苑を一望できる眺望！
会議映像を別会議室へ同時配信可能！

最新の設備を兼ね備えた大ホールと8室の会議室を同フロアに配置
社内会議から、セミナー・講演会、株主総会まで用途に合わせてご利用いただけます。

東京商工会議所 本部事務所 (丸の内二重橋ビル)



- JR
・JR「東京駅」京葉線コンコースより徒歩3分
・「有楽町駅」国際フォーラム口より徒歩5分
・「東京駅」丸の内南口より徒歩7分
※ビル直結の地下通路をご利用頂けます。
- 地下鉄
・千代田線「二重橋前駅」
・日比谷線「日比谷駅」
・都営三田線「日比谷駅」
・有楽町線「有楽町駅」
・丸の内線「東京駅」
※ビル直結の地下コンコースをご利用頂けます。

お問合せ
お申込み

東京商工会議所 オフィス環境部 カンファレンスルーム事務局

Tel 03-3283-7680 平日 9:00～17:00

E-mail kaigishitsu@tokyo-cci.or.jp

<https://www.tokyo-cci.or.jp/kaigishitsu/>

丸の内二重橋ビルディング

印刷とともに90年

学会誌、社内報、教科書・教材、研究年報、講演会録、
同窓会報、自費出版、少部数印刷等 ※学会誌事務局代行も承っております。

90年にわたり培ってきた信用が当社の
財産です。安心してお問合せ下さい。



Since 1930



Small but Excellent

株會 小藥印刷所
式社

〒104-0042 東京都中央区入船2-7-4
TEL (03) 3551-1222 FAX (03) 3551-3447

E-Mail kogusuri@blue.ocn.ne.jp

化学系廃棄物の専門業者として、
御社をサポートします。



化学物質・廃棄物対策

Q. 施設の移転、担当者の異動で
不要となった薬品が大量にあるが、

A. 専門スタッフが廃棄に必要な作業をサポートします！



御社のリスクを解決します！
お困りごとを
ぜひご相談下さい！

- 化学薬品の処理
- 実験・分析廃液の処理
- 工業廃液の処理
- 特殊廃棄物の処理

業界トップランナーの証
東京都第三者認証

《産廃エキスパート》

- 収集運搬
- 中間処理
- 専門性（感染性廃棄物）

2010年2月
認定取得



化学物質と安全につきあい、
責任を持って管理し、
最後は環境にやさしく処理する必要があります。
化学物質や薬品による事故の影響は
現場だけにとどまらず、
環境に深刻なダメージを与えることは
言うまでもありません。

ケミカル廃棄物の総合アドバイザー

✿ HACHIOH ✿

八櫻

株式会社 ハチオウ

<http://www.8080.co.jp>

TEL: 03-3625-8077

中学生職場体験、高校生・高専生インターンシップ受入れ中！

仕事のやりがいって やってみなくちゃわからない。

やってみなくちゃ・その1

クルマの調査実習

実際の車両を使い、カーナビの取り付け・取り外しや、クルマの電気回路の調査などを行います。



やってみなくちゃ・その2

3D CAD 実習

開発担当者が利用している最新の3D CADソフトを使い、好きなクルマを立体的にデザインします。



やってみなくちゃ・その3

経理業務実習

売上伝票や発注伝票等の伝票整理や集計表・精算書等の書類作成を行います。



次世代の育成に力を注ぎます。

社会貢献活動の一環として毎年地域中学校、高等学校、高専及び大学の実習受け入れを行い、次世代技術者の育成に力を注いでいます。インターンシップをご希望の学校がございましたらお問い合わせください。

☎ 03-5660-1234

